

分 野 別

**地域まちづくり会議及びかごしままちづくり
会議における意見等の検討状況一覧表
(平成18年度第1回～平成18年度第5回)**

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
防 災	1	1801	吉田	自主防災組織を結成しているが、自分達でも防災訓練を行いたいので、指導をお願いしたい。	市民局	自主防災組織の訓練は、防災・防火訓練は、消防局（各分遣隊）で行っている。避難訓練については、各地域の希望により、該当地域の避難所班長が外向いている。安心安全課では、自主防災組織のリーダー研修も行っているのでご参加いただきたい。 ----- ※新市まちづくり計画 1安心健康都市／（1）防災／①防災／19ページ	1
	2	1801	吉田	緊急時に、防災行政無線からキーンという耳を突き刺すような高い音流れる。調査してもらいたい。	市民局	緊急時の放送については、戸別受信機の音量が最大で流れるようになっている。通常時の放送では気にならない程度の音でも最大音量のためキーンという不快な音になると思われる。火災や自然災害発生時などの緊急放送時のみであるので、ご理解いただきたい。 ----- ※新市まちづくり計画 1安心健康都市／（1）防災／①防災／19ページ	3
	3	1802	吉田	道路に、開発現場（土取場）から雨が降るたびにシラスが流れ出ている。雨が降るときに調査して、指導してもらいたい。	建設局	当該開発行為に対する指導については、合併と同時に「鹿児島市開発行為、建築等における災害の防止に関する条例」に基づき引き継がれたものであり、届出者に対しては、これまでも大雨により流出した土砂の除去等を指導した経緯がある。今後も、状況を把握し、必要に応じて防災上必要な措置を講じるよう指導してまいりたい。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
防 災	4	1802	吉田	防災行政無線を各校区公民館活動を充実するために放送できる設備は設置できないのか。	市民局	防災行政無線については、今年度庁内検討委員会を設置し、新市域における全体整備計画を策定することになっている。その中で設置箇所や運用方法等についても検討してまいりたい。 ※合併協定項目 36. 防災・防犯関係事業の取扱い/ 1 防災行政無線 既存の防災行政無線については、合併時に引継ぎ、運用するものとする。ただし、設置目的等を踏まえ、更新時に見直しを行うこととする。 (既存集落の新築家屋への設置については、更新時まで現行どおりとする。)	2
	5	1802	吉田	台風時は、住民の申し出で避難所を設置するようになっているが、行政が早めに設置し、避難指示を住民へ出してほしい。	市民局	自主避難をされる場合には、事前に市へ連絡していただいているが、行政の判断で避難準備、避難勧告及び避難指示等の広報を実施する際には、それに合わせて市指定の避難所を開設している。 なお、自主避難される際には、おおむね1時間程前に地域福祉課へご連絡下さるよう、ご協力をお願いしたい。	1
	6	1802	吉田	道路上に被さった樹木の茂っている場所があるが、台風時など倒木の恐れがあるので、事前に伐採してほしい。	建設局	当該道路沿線の私有地箇所の樹木等については、所有者が管理することが基本であり、道路交通等に支障のある場合は、所有者に対して伐採等の対応方を要請してまいりたい。	4
	7	1802	吉田	避難場所が開設されても、避難場所までが地域的に遠い。先日の大雨のとき竜ヶ水地区に避難勧告が出て市営バスが臨時運行されていたが、吉田地域にも同様の対応をしてほしい。	市民局	竜ヶ水地区は、過去に大規模な土砂災害が発生した危険か所であることや、地区内で唯一の道路である国道10号線は、連続雨量200mmで通行止めになるという特殊な事情があることから、避難バスを運行しているので、ご理解いただきたい。	3

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
防 災	8	1802	吉田	平成16年3月に作成された吉田町防災マップに、山腹崩壊危険地域や急傾斜地域危険箇所、避難場所等詳しく掲載されていたが、合併後新たに鹿児島市の防災マップが作成されるのか。また、作成される時は、わかりやすく、活用しやすいように見直していただき、各家庭へ配付してほしい。	市民局	現在の鹿児島市の防災マップは平成12年1月に作成したものである。その後、市町村合併により市域が大きく拡大されたことなどから、平成18年度中に防犯・防災の手引きや、災害にあったときの支援制度を含めた、市全域を網羅する防災マップを作成し、市内全世帯に配布する予定である。	1
	9	1802	吉田	吉田地域では町内会で河川清掃作業を実施している。豪雨や台風時に災害が起きないように河川の土砂堆積と葦の除去について、土木事務所に直接依頼したが除去してもらっていないので、是非市から県へ要望していただきたい。	建設局	各自治会等の川払いや河川の清掃等については、今後も作業が安全に行えるような対応を県に要請していきたい。また、河川に堆積した土砂等の除去については、県に要望してまいりたい。	4
	10	1802	吉田	吉田地域では町内会で河川清掃作業を実施しているが、河川へ降りる場所が少なく、清掃作業時に苦慮している。また、子供等が転落した場合は降りて助けることも出来ないので、降りる場所を何箇所か設置していただくよう是非市から県へ要望していただきたい。	建設局	河川管理者である県に、河川への昇降路（階段等）の設置について要請してまいりたい。	4
	11	1803	吉田	旧町時代は台風や豪雨などの後、役場職員に担当地区が決められ、各公民館長、町内会長と協力して、被害状況を調査していたが、現在は、どのような体制で、被害状況を把握しているのか、各公民館長、町内会長と連携していただきたい。	市民局	被害調査については、消防局をはじめ、各担当部局で調査を実施している。市民局では、安心安全課で被害状況のとりまとめを行っているところである。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
防 災	12	1803	吉田	旧町時代は台風や豪雨などの後、役場職員に担当地区が決められ、各公民館長、町内会長と協力して、被害状況を調査していたが、現在は、どのような体制で、被害状況を把握しているのか、各公民館長、町内会長と連携していただきたい。	健康福祉局	小災害見舞金の支給など災害時の援助に必要な調査については、住民等からの消防局への通報に基づき、支所の保健福祉課職員が直ちに災害現場へ外向き、調査を行っている。 ※合併協定項目 (24) 地域福祉事業/7小災害救助 合併時に鹿児島市の制度に統合する。	5
	13	1803	吉田	旧町時代は台風や豪雨などの後、役場職員に担当地区が決められ、各公民館長、町内会長と協力して、被害状況を調査していたが、現在は、どのような体制で、被害状況を把握しているのか、各公民館長、町内会長と連携していただきたい。	消防局	台風や豪雨などによる被害調査については、 ①災害対策本部が設置された場合は、原則として市職員による被害調査班において被害調査を行う。 ②①以外の被害調査は、消防職員が災害や被害の状況を把握する目的で被害調査を行っている。 なお、地域における防火・防災指導などの機会を通じて、風水害による被害状況の調査の体制などについても説明する。	1
	14	1803	吉田	平成5年災害では被害箇所を行政に復旧してもらったが、現在も危険な箇所があるので、豪雨や台風の後など復旧現場も見ていただきたい。	建設局	急傾斜地の保全については、本来、土地の所有者・管理者等において、土地の維持管理を行っていただき、急傾斜地の崩壊が生じないよう努めていただくことが原則である。急傾斜地の崩壊を防ぐ工事等については、個別に相談いただきたいと考えている。 道路については、随時、道路調査を行っており、その際は、危険な箇所も含め見回っているため、今後も継続してまいりたい。	1
	15	1803	吉田	平成5年災害では被害箇所を行政に復旧してもらったが、現在も危険な箇所があるので、豪雨や台風の後など復旧現場も見ていただきたい。	経済局	災害復旧箇所のその後の点検については、豪雨や台風通過後に、平成5年の災害や過去の災害地区も現場調査を行っているところであり、今後も同様に対応していくこととしている。	5

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
防 災	16	1804	吉田	先日、10日間防災行政無線が使えず非常に困ったので、防災行政無線が故障したときは早急に修理してもらいたい。	市民局	今回の故障については、町内会長さん方に大変ご迷惑をお掛けした。 防災行政無線が故障した場合には、すぐメーカーと連絡をとり対応しているが、故障の度合いによっては本社送りになるなど時間を要する場合などあるので、ご理解いただきたい。	1
	17	1803	桜島	方崎の恐竜公園近くの崩壊している法面は、民有地ということだが、とても個人で対処できるようなものでなく、付近には住宅もあり非常に危険なので、県など関係機関への要請も含めて早急に対処してほしい。	経済局	崩壊している法面の直下保全対象は県道であることから、治山事業の実施は困難であると思われるが、県に調査を依頼する。 ※新市まちづくり計画 5にぎわいと活力あふれるまち／(4)農林水産業②森林・林業／54ページ	2
	18	1803	桜島	方崎の恐竜公園近くの崩壊している法面は、民有地ということだが、とても個人で対処できるようなものでなく、付近には住宅もあり非常に危険なので、県など関係機関への要請も含めて早急に対処してほしい。	建設局	当該法面については、県土木事務所において、法面の擁壁上のストーンガードの復旧をすることであり、すみやかに実行されるようお願いしたところである。	4

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
防 災	19	1804	桜島	合併前は、防災行政無線を利用して火災の状況や行事など様々な情報提供がなされ、住民の利便に供していたが、現在は防災行政無線での放送が制限されている。防災行政無線を有効活用して各種の情報提供を行ってほしい。	市民局	防災行政無線での情報提供については、支所管内全般に係るもので、かつ、公共的なものに限り放送することとしているところである。現在も各担当課から放送依頼があれば放送を行っているところである。 ----- ※合併協定項目 (36) 防災・防犯関係事業／(1) 防災行政無線 既存の防災行政無線については、合併時に引継ぎ、運用するものとする。ただし、設置目的等を踏まえ、更新時に見直しを行うこととする。(既存集落の新築家屋等への設置については、更新時まで現行どおりとする。)	1
	20	1804	桜島	合併前は、防災行政無線を利用して火災の状況や行事など様々な情報提供がなされ、住民の利便に供していたが、現在は防災行政無線での放送が制限されている。防災行政無線を有効活用して各種の情報提供を行ってほしい。	消防局	火災等の発生を消防団員に指令する際、防災行政無線を活用しているところである。 なお、鎮火等の情報については「安心ネットワーク119」や「テレドーム」で案内を行っているので活用していただきたい。	3
	21	1801	喜入	喜入地域は石油基地を抱えている。毎年、同基地にかかる防災訓練を実施しているようであるが、住民も一緒にあった避難訓練を行う考えはないのか。	市民局	昨年においては、住民に防災行政無線等による避難の広報を行い、併せて小学生に訓練を見学させたところである。今後は、関係機関と連携をとり、住民の参加できる訓練についても検討してまいりたい。	2
	22	1801	松元	防災行政無線は、可能な限り防災面を主に活用する必要がある。	市民局	防災行政無線は災害時の情報伝達手段として活用されているが、これまでの経過を踏まえ、公共的な情報でかつ支所管内全体に係る情報に限り放送しているところである。 ----- ※新市まちづくり計画／(1) 防災／①防災 19ページ	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
防 災	23	1803	郡山	合併後、郡山地域の20の自治会が28に再編され、新たに自主防災組織を組織した11の自治会は、鹿児島市の補助を受けて防災資機材の整備を行った。しかしあとの17の自治会は、合併以前に既に自主防災組織が組織されていたということで補助を受けられず、資機材が未整備である。阪神淡路大震災や宮城沖地震の際も自主防災組織が大きな役割を果たしており、その重要性は明らかである。自主防災組織がその機能を発揮するためには、資機材の整備が不可欠であるので、既存の組織も是非、補助対象としていただきたい。	市民局	自主防災組織資機材整備補助については、自主防災組織の結成を促進する観点から結成の際に1回限り補助金を交付しているものである。従って、合併時にすでに結成されていた旧5町の自主防災組織については、資機材の整備の有無にかかわらず補助対象とはしていないところであるが、今回の郡山地域のように組織の再編などにより新たに自主防災組織が結成された場合は補助対象としたところである。なお、指摘を踏まえ、今後、旧5町における自主防災組織の実態や資機材整備の状況について調査してまいりたい。 ----- ※合併協定項目 (36) 防災・防犯関係事業／3 自主防災組織への補助事業／合併する年度の翌年度に鹿児島市の制度を適用し、統合する。合併する年度は現行どおりとする。	2
	24	1804	桜島	各地域の高齢者のみの世帯や独居老人の情報は、民生委員が把握しているようだが、災害が発生した際、地域住民が相互に助け合い避難する体制を整えるためにも必要不可欠な情報であり、地域公民館長（町内会長）にもこれらの情報を提供してほしい。	市民局	「安心安全まちづくり条例」に基づき、自力では迅速な避難行動ができない高齢者や障害者などの災害時要援護者が、災害時における支援を地域の中で受けられ、安心安全に暮らすことができるように「災害時要援護者避難支援プラン」を策定したところであり、現在、災害時要援護者台帳の整備を進めているところである。支援を受けるために必要な個人情報を提供することに同意した方については、地域の中で、避難支援者を選定していただき、それらの情報を町内会長などに提供し、災害時等の支援体制を整えていただくために活用していただこうと考えているところである。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
防 災	25	1804	桜島	毎年1月に防災訓練が行われるが、災害時に独居老人など災害弱者を救う手立てをしっかりと確立してほしい。	市民局	「安心安全まちづくり条例」に基づき、自力では迅速な避難行動ができない高齢者や障害者などの災害時要援護者が、災害時における支援を地域の中で受けられ、安心安全に暮らすことができるように「災害時要援護者避難支援プラン」を策定し、災害時要援護者の登録調査を平成19年1月から開始したところである。 なお、毎年1月に実施している、桜島火山爆発総合防災訓練においては、平成18年度は「災害時要援護者を支援する」をサブテーマとし、関係機関が一体となって要援護者の搬送訓練等を実施したところである。	1
	26	1804	桜島	「安心ネットワーク119」のほか、携帯電話は防災情報等の伝達手段として非常に重要な役割を果たすので、桜島全域で携帯電話が使用できる環境を整えてほしい。	市民局	携帯電話については、桜島島内でも機種によって電波の受信状況に差があり、特に、白浜地区から黒神地区におきまして電波の状態が悪いようである。桜島の防災上重要なことであるので、現在、携帯電話については、それぞれの企業の採算性の問題もあるが、桜島地域の防災上の重要性も考慮し、先般、鹿児島市から大手3社に対して桜島地域におけるサービスエリアの拡大について文書でお願いしているところである。	4
消 防	27	1802	喜入	火災報知器の設置が義務化されるが設置費用が1万円程度かかる。火災の被害に遭うのは高齢者が多いので高齢者に対して助成できないか。	消防局	消防局では、火災報知機の高齢者宅等への設置における助成のあり方として、高齢者福祉対策の面から設置する場合の方法などの助言や取り付けの手伝いなど、地域の自主防火組織である防火協力会による隣保共助の支援体制の確保に努めているところである。	5

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
消 防	28	1801	吉田	合併後、新たに消防団員となった人たちに制服が支給されていない。早急に支給してもらいたい。	消防局	新入団員については、入団時に制服等を貸与しているところであるが、今年度は新入団員が多く一部貸与が遅れている。現在早急に制服等を貸与できるよう事務を進めているところである。	1
	29	1802	吉田	旧吉田町時代は、蒲生・始良から出動し、東佐多町・西佐多町は、迅速な対応がなされていた。現在、吉田分遣隊から出動すると、合併前に比べ対応が遅いので、出動体制の改善を図ってほしい。	消防局	同地区の火災や救急等の出動体制については、鹿児島市全域と同様、災害現場及び救急現場直近の消防車両等が出動する計画になっている。また隣接の始良郡西部消防組合と消防及び救急業務相互応援協定を締結しており、災害等の状況に応じて円滑な応援要請を行う体制を整えている。	1
	30	1805	喜入	消防分遣隊について現在は支所の近くにあるが、消防車が動きやすいよう国道沿いに移転するような構想はないか。	消防局	喜入分遣隊は昭和51年に建設され老朽化が進んでいるとともに、大型車両の配置や高規格救急車の導入などから車庫も手狭になっている。このようなことから、同分遣隊の整備について新市まちづくり計画にも盛り込み、消防拠点としての適地や建て替えの時期等について検討中である。 ----- 新市まちづくり計画 1安心健康都市 / (2)消防 / 20ページ	1
	31	1804	郡山	防災無線で火災発生の放送が流れるが、もっと具体的な場所を流していただけないものか。	消防局	火災等の情報を防災無線で流しているのは、消防団員に指令するためにこれを活用しているものである。火災発生箇所の正確な把握が困難な場合もあり、誤報等によりかえって混乱を招く恐れや個人情報の問題等もあり、〇〇町〇〇付近というような表現で行っているところがあるので、ご理解いただきたい。	3

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
消 防	32	1801	松元	地域のバランスを考慮して防火水槽を設置して行く必要がある。	消防局	防火水槽の設置については、主に郊外地で建物の戸数、道路状況、又周囲の消火栓、河川などの消防水利の配置状況等を勘案し、耐震性防火水槽を計画的に設置しており、今後においてもこれらの条件を踏まえて設置することとしている。 ※新市まちづくり計画／（2）消防／①消防 20ページ	1
	33	1801	松元	火災予防に対して、一人住まい、老人世帯への啓発を地域と行政が一体となり取組む必要がある。	消防局	これまで地域における火災予防体制を高めるため、町内会単位による地域防火協力を育成し、初期消火や119番通報、又適切な避難の方法などの防火思想の普及啓発に努めている。 松元地域においても合併後において、地域一体となった高齢者等にかかる火災予防にも配慮し防火協会の育成指導に努め、現在12団体が結成され、松元分遣隊や地域消防団とも連携しながら地域の火災予防活動に努めていただいている。 今後においては、さらに防火協会未結成の地域に対する育成指導を進めるとともに、防火協会などと連携して住宅用火災警報器等の設置指導など高齢者に対する火災予防対策を進めることとしている。 ※新市まちづくり計画／（2）消防／①消防 20ページ	1
	34	1801	松元	総合病院が遠い松元地域においては、救急救命士の配置を図る必要がある。	消防局	現在、鹿児島市では8台の高規格救急車を配置しており、1台につき4人の救急救命士を配置している。毎年、計画的に救急救命士の養成に取り組んでいるが、今後とも救急救命士の養成状況や救急の需要を踏まえて段階的に高規格化、救急救命士の配置を進めていきたい。 ※新市まちづくり計画／（2）消防／①消防 20ページ	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
消 防	35	1802	郡山	消防分遣隊が設置され3ヶ月が経過したが、消防分団との連携はどのような形でなされているのか。また、分団の活動は合併前と比べて防犯・防災等の戸別訪問・声掛け活動などの面で後退したように感じるが、何か変わった面があるのか。	消防局	郡山分遣隊と郡山地区の6消防分団は、連携して郡山地域で放水訓練や水防訓練など地域の状況に応じた訓練を実施している。 また各消防分団では、春と秋の火災予防期間中に、地域内の防火広報や各戸に防火チラシのを配布している。さらに毎月9日の市民防火の日には防火広報を行っている。 今後も分遣隊と各消防分団は、連携を取りながら地域に密着した訓練及び火災予防を推進していくこととしている。	1
	36	1803	郡山	郡山地域の各消防分団は団員の確保に苦慮しており、分遣隊も設置されたことを踏まえて、定数の緩和を図ってもいいのではないか。	消防局	郡山地区の消防団の定数については、合併後、消防団組織等に関する検討委員会で郡山支所分団を廃止することも踏まえ検討し、また、郡山地区の消防団幹部会で合意のもとに定数を決定したところである。 現在、郡山地区の消防団員の充足率はほとんどの分団が100%を達成し、他の分団も団員確保に努力しているところである。 郡山分遣隊は設置されたが、消防団は地震や風水害等の大規模で広範囲な災害では必要不可欠な組織であるとともに、郡山地区だけでなく市全体の消防力の基準等も考慮して消防団の定数は決めている。	3
交 通 安 全	37	1804	桜島	桜島地域の主要道路である国道・県道において、高齢者等が安全に歩行できるよう、歩道の新設整備及び段差解消や拡幅などの改良整備について関係機関へ要請してほしい。	建設局	国道・県道の整備については、桜島火山活動対策協議会を通じて、国、県に要望を行っている。	5

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
交通安全	38	1805	桜島	フェリーターミナルから袴腰交差点へ向かう途中で、坂を上ったところに横断歩道があるが、坂を上げるために車がスピードを加速させる場所であり、とても危険であるので、横断歩道を少し袴腰交差点側に移動してほしい。	市民局	当該地の横断歩道移動については、国道224号線にかかる部分であるため、道路管理者の窓口である大隈河川国道事務所垂水国道維持出張所に要請していく。	4
	39	1805	桜島	新村付近の道路は、朝の通勤の時間帯に、急いで走行する車とごみステーションにごみを出すために横断する高齢者が交錯して非常に危険である。この時間帯は、他にも危険な場所があると思うので、安全点検を行い、必要な場所への押しボタン式信号機の設置など関係機関への要請も含め、安全対策を講じてほしい。	市民局	県道沿いに設置されているごみステーションを含め、管内主要道路の安全点検を行い、必要に応じて関係機関へ要請や住民への注意など各面から安全対策に努めてまいりたい。	4
	40	1804	喜入	広域農道と市道宮坂～一倉線との交差点について、事故があったこと等を踏まえ、信号機を設置していただきたい。また、広域農道と県道知覧・喜入線との交差点も、高速で通過する車が見受けられるので信号機設置をお願いしたい。	市民局 建設局	広域農道と市道宮坂～一倉線の交差点の安全対策について、警察と信号機設置についての協議を行ったが、「当該交差点には警戒標識設置やドットラインの標示も実施されている。また、交通量が少なく現時点で他に優先して設置できる状況ではない」とのことであった。 今後、警察に対しては繰り返し要望を行ってまいりたい。 なお、事故が発生した交差点にかかる鹿児島耕地事務所が行った視界確保のための切土工事は、平成18年12月に完了したところである。	4

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
交通安全	41	1801	郡山	地域内の道路沿いには無人販売所が多いが、中には壊れたものや全く使用していないものが放置されている状況もある。また駐車スペースがなく、危険な販売所も見受けられるが、これらは安全上や景観上、何らかの規制が必要ではないか。	市民局	県警にお聞きしたところ、無人販売に立ち寄るために車を停めるのはあくまで運転手の責任であり、法的には運転者に対する規制・指導はできるが、道路脇の民地への工作物の設置等については、光が反射して運転に支障が出るなど直接的に道路交通に影響を与えない限り、規制・指導は困難な面があるとのことである。	4
防犯	42	1802	かご	子どもの安全対策について、行政の縦割りでいろんな組織を作り過ぎて地域では重複していることが多すぎると感じる。地域に様々な組織やシステム（例えば「子ども110番」、「スクールガード」、「スクールゾーン委員会」、「安全協議会」、「安全運転管理協議会」など）があるが、やっていることはほとんど同じで、各組織間の横の連携が取りにくい。またボランティアでそのようなことに協力していきたくても、どこに相談すればよいか分からないのが現状である。これらの組織を統括する組織なり窓口が必要ではないか。	市民局	子どもの安全対策については、地域住民と学校、警察などの関係機関、行政がお互いに連携して取り組むことが重要であると考えている。 このようなことから、防犯パトロール隊の育成・支援や、公用車に青色回転灯を装備してのパトロールの実施、安心安全研修会の開催など、子どもを含めた地域の安全対策に取り組んでいるところである。 一方、様々な形で子どもの安全に関する自主的な活動が拡大することは、大変望ましいことと考えているが、これらの活動が相互に連携する中で、地域が一体となって安全確保に取り組まれるよう努めてまいりたい。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
防犯	43	1802	かご	子どもの安全対策について、行政の縦割りでいろんな組織を作り過ぎて地域では重複していることが多すぎると感じる。地域に様々な組織やシステム（例えば「子ども110番」、「スクールガード」、「スクールゾーン委員会」、「安全協議会」、「安全運転管理協議会」など）があるが、やっていることはほとんど同じで、各組織間の横の連携が取りにくい。またボランティアでそのようなことに協力していきたくても、どこに相談すればよいか分からないのが現状である。これらの組織を統括する組織なり窓口が必要ではないか。	教育委員会	子どもの安全対策のために、地域住民と学校、警察、行政が、互いに連携して取り組むことは、非常に大切なことだと認識している。「スクールガード」などのボランティア団体の自主的な活動が、学校や地域の安全のために拡充することは大変望ましいことだと考えている。これらの活動が、関係機関・団体等と連携する中で、地域が一体となった安全対策に拡充するよう、今後、取り組んでまいりたい。	2
	44	1801	吉田	高速道路のガード下に防犯灯が設置してあるが、どの所管になるのか、消えているものがあるので早急に対応していただきたい。	建設局	市道として管理している箇所であるので、現地の確認を行い、早急に対応した。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
防 犯	45	1804	吉田	吉田地域のウォーキングロードを利用している人が多い。暗くなってからウォーキングや下校の児童・生徒もいるので、防犯のためにもウォーキングロードに外灯を設置してほしい。	市民局	鹿児島市では、夜間における犯罪の防止と市民の通行の安全を図り、明るく住みよいまちづくりにつながることから、防犯灯を設置し、維持管理する町内会に対して補助金の交付を行っているところである。また、町内会と町内会とのほがまの箇所については、そのいずれかの町内会が申請し、設置要件を満たす箇所であれば市が設置し、その後申請のあった町内会に譲与し、維持・管理していただく特設防犯灯の制度もあるのでご利用いただきたい。	5
	46	1804	吉田	吉田地域のウォーキングロードを利用している人が多い。暗くなってからウォーキングや下校の児童・生徒もいるので、防犯のためにもウォーキングロードに外灯を設置してほしい。	建設局	道路照明灯を設置するには基準に合致しないため設置できないところである。	5
	47	1805	吉田	吉田地域のウォーキングロードの照明灯の設置については、建設局から基準に合致しないため設置できないとなっているが、どういう基準があるのか。	建設局	道路照明灯の設置要件は、幅員6m以上の市道で通過交通量が多い道路、公共施設周辺の道路とし、通学路については幅員4m以上の市道としている。 さらに、上記市道の交差点、横断歩道、橋りょう、幅員構成、線形等が急激に変化する場所、踏切、バス停等に設置することとしている。	5

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
防 犯	48	1801	松元	犯罪を未然に防ぎ、子供の安全を確保するため防犯カメラの設置が必要である。また、ソフト面として校区公民館など、地域で防犯組織を結成し防犯パトロール隊などで対応する必要がある。	市民局	本市としては、現在のところ防犯カメラの設置は考えていないが、地域での安全確保に係る自主的な活動を支援するため、パトロール用品を支給して、防犯パトロール隊の結成促進や活動を支援しているところである。 また、地域の要望に応じて指導員を派遣し、防犯等の知識を高めるための安心安全研修会を開催している。 今後とも、こうした事業を行うとともに、地域に結成された防犯パトロール隊などと連携して、安心安全なまちづくりを推進してまいりたい。 ※新市まちづくり計画／(3)防犯／②防犯 21ページ	1
	49	1802	郡山	郡山地域自治会連合会の事業として各小学校区毎に、学校、PTA等関係団体、消防団等と連携して危険箇所点検活動を7月2日に実施した。この結果を検討の上、これらの情報を関係機関や各戸に配布して地域全体で情報を共有することにより、各家庭での話し合いやお互いに声掛けをはじめ、子どもたちの安全な登下校のための通学路の検討を進めるなど安全対策を講ずる計画である。今後、自治会としての役割や取り組みをどのように進めていくか、各組織との連携や活動の継続性をどのように図っていくかが課題になると考えるので、行政の関係部署においても情報提供や指導等をお願いしたい。なお、今回実施した結果については、まとめ次第、行政側にも情報提供を行うので、関係部署において、それぞれ危険箇所についての対策についてもぜひご検討いただきたい。	市民局	地域における安全確保には、地域住民と学校、警察などの関係機関、行政がお互いに連携して取り組むことが重要であると考えている。 本市としても、防犯パトロール隊の育成・支援や、安心安全研修会の開催など、県警や学校等と連携を図りながら地域の安全対策に取り組んでいるところである。 今後さらに、地域や警察などの関係機関と連携を図りながら、地域の安全確保に努めてまいりたいと考えている。 また、地域からいただいた危険箇所等の情報については、関係部署と連携して対応を図ってまいりたい。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
防犯	50	1802	郡山	郡山地域自治会連合会の事業として各小学校区毎に、学校、PTA等関係団体、消防団等と連携して危険箇所の点検活動を7月2日に実施した。この結果を検討の上、これらの情報を関係機関や各戸に配布して地域全体で情報を共有することにより、各家庭での話し合いやお互いに声掛けをはじめ、子どもたちの安全な登下校のための通学路の検討を進めるなど安全対策を講ずる計画である。今後、自治会としての役割や取り組みをどのように進めていくか、各組織との連携や活動の継続性をどのように図っていくかが課題になると考えるので、行政の関係部署においても情報提供や指導等をお願いしたい。なお、今回実施した結果については、まとめ次第、行政側にも情報提供を行うので、関係部署において、それぞれ危険箇所についての対策についてもぜひご検討いただきたい。	教育委員会	通学路については、校区の交通事情や道路環境などに基づき、各学校が通学路を指定している。最近の子どもが犯罪の被害を受けている事件は、人通りの少ない、一人歩きのとこで発生している。 通学路の実態等を調査した結果をもとに、通学路の見直しや整備も含めて、具体的な対応を検討してまいりたいと考えている。また、通学路の安全対策として、集団や複数での登下校、決められた通学路の利用等を指導したり、警察の協力を得て、「子ども110番の家」への駆け込み模擬訓練等を行っている。より安全な環境にするためには、学校の対策だけでは十分ではないという状況もあるので、地域安全という視点で、関係機関・団体等との連携をさらに深めながら児童生徒の安全確保に努めることが重要であると考えている。	1
	51	1802	郡山	子どもの安全対策について、行政の縦割りでいろんな組織を作り過ぎて地域では重複していることが多すぎると感じる。地域に様々な組織やシステム（例えば「子ども110番」、「スクールガード」、「スクールゾーン委員会」、「安全協議会」、「安全運転管理協議会」など）があるが、やっていることはほとんど同じで、各組織間の横の連携が取りにくい。またボランティアでそのようなことに協力していきたくても、どこに相談すればよいか分からないのが現状である。これらの組織を統括する組織なり窓口が必要ではないか。	市民局	子どもの安全対策については、地域住民と学校、警察などの関係機関、行政がお互いに連携して取り組むことが重要であると考えている。本市としても、防犯パトロール隊の育成・支援や、公用車に青色回転灯を装備してのパトロールの実施、安心安全研修会の開催など、県警や学校等と連携を図りながら子どもを含めた地域の安全対策に取り組んでいるところである。 一方、様々な形で子どもの安全に関する自主的な活動が拡大することは、大変望ましいことと考えているが、これらの活動が相互に連携する中で、地域が一体となって安全確保に取り組まれるよう努めていきたいと考えている。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
防	52	1802	郡山	子どもの安全対策について、行政の縦割りでいろんな組織を作り過ぎて地域では重複していることが多すぎると感じる。地域に様々な組織やシステム（例えば「子ども110番」、「スクールガード」、「スクールゾーン委員会」、「安全協議会」、「安全運転管理協議会」など）があるが、やっていることはほとんど同じで、各組織間の横の連携が取りにくい。またボランティアでそのようなことに協力していきたくても、どこに相談すればよいか分からないのが現状である。これらの組織を統括する組織なり窓口が必要ではないか。	教育委員会	子どもの安全対策のために、地域住民と学校、警察、行政が、互いに連携して取り組むことは、非常に大切なことだと認識している。 「スクールガード」などのボランティア団体の自主的な活動が、学校や地域の安全のために拡充することは大変望ましいことだと考えている。これらの活動が、関係機関・団体等と連携する中で、地域が一体となった安全対策に拡充するよう今後、取り組んでまいりたいと考えている。	2
犯	53	1804	郡山	子どもの安全対策という面では、これまで主に登下校中の見守りということで大人の側の体制を固めてきたが、子どもたち自身に家から学校までの道路の危険性というものを認識させるために、例えば休日に親子で歩いて、子どもの目線で見て回り、「こういう植え込みのところは引きずり込まれたら危ない」とか、「そういう場合にはこっちに逃げた方がいい」とかを親子で語り合ったり、地域のあいご会や自治会で行事の中に取り込んで、いざという時にどういった対応をすればいいかということ子ども自身で考えるような訓練も大事だと思う。また通学路には、防空壕だけでなく、様々な危険箇所があり、大人が見過ごしているもの或いは子どもが気づかない箇所もあるので、それぞれの目線で確認して、危険を認識させるような取組みが必要ではないか。	市民局	子どもの登下校中の見守りなど、地域での安全確保に係る自主的な活動を支援するため、パトロール用品を支給して、防犯パトロール隊の結成促進や活動を支援している。 また、小学校や児童クラブなど地域の要望に応じて専門の指導員を派遣し、防犯等の知識を高めるための安心安全研修会を開催している。 今後とも、こうした事業を行うとともに、地域に結成された防犯パトロール隊などと連携して、安心安全なまちづくりを推進してまいりたい。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
防 犯	54	1804	郡山	子どもの安全対策という面では、これまで主に登下校中の見守りということで大人の側の体制を固めてきたが、子どもたち自身に家から学校までの道路の危険性というものを認識させるために、例えば休日に親子で歩いて、子どもの目線で見て回り、「こういう植え込みのところは引きずり込まれたら危ない」とか、「そういう場合にはこっちに逃げた方がいい」とかを親子で語り合ったり、地域のあいご会や自治会で行事の中に取り込んで、いざという時にどういう対応をすればいいかということ子ども自身で考えるような訓練も大事だと思う。また通学路には、防空壕だけでなく、様々な危険箇所があり、大人が見過ごしているもの或いは子どもが気づかない箇所もあるので、それぞれの目線で確認して、危険を認識させるような取組みが必要ではないか。	教育委員会	学校では関係団体と連携を深め、毎年校区環境点検マップ等の見直しと活用を進めている。特に、子どもや保護者、地域住民から情報を収集し、子どもの目線に立ったマップづくりや子どもの発達段階に応じた具体的な指導を進めているところである。今後とも、子どもの危険予知能力や危険回避能力を高められるよう危険予知トレーニング（KYT）等の実施に努めてまいりたい。 また、通学路の安全については、校区環境点検マップ等を参考にし、子どもが保護者と一緒に通学路を歩き、自ら安全マップ作成していくような活動を推奨していきたい。	1
	55	1804	郡山	不審者、防犯灯、道路の危険箇所など通学路の課題、問題点について無記名アンケートを全市域の小・中学生からとって見たらどうか。	教育委員会	学校、PTA、町内会等において子どもたちが自ら気づき、適切に対処する能力を高めるために、アンケートや実地踏査等は現在も校区によっては実施されている。今後も、それぞれの校区で実態に応じてアンケートの活用やフィールドワークの実施等がなされるよう対応してまいりたい。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
防犯	56	1804	郡山	地域の小学校の児童に防犯ブザーを持たせているのか。安全対策としては非常に効果的と考えるが、行政として持たせていこうというような考えはないか。	教育委員会	合併前に教育委員会や単位PTAで配布した学校もあるが、ほとんどの学校においては個人購入で対応している。現在のところ、市として全体への配布は考えていない。	3
	57	1804	郡山	イギリスで景観対策として街に青色の蛍光灯をつけたら、副産物として犯罪が減ったということで、広島でこれを取り入れたという話を聞いた。郡山にということではないが、天文館辺りで導入してみてもどうか。	市民局	青色には、人の心を落ち着かせ心理的に人を冷静にさせる効果があると言われており、日本でも青色の防犯灯、街路灯を設置し、犯罪件数が減少するなど効果をあげているところがございます。しかし、その科学的根拠等は未だ不明でありますので、今後、研究してまいりたいと考えております。	2
	58	1804	郡山	イギリスで景観対策として街に青色の蛍光灯をつけたら、副産物として犯罪が減ったということで、広島でこれを取り入れたという話を聞いた。郡山にということではないが、天文館辺りで導入してみてもどうか。	建設局	道路照明灯は、道路の照明のためのものであるもので、照度の低い青色蛍光灯を設置することはできないのでご理解いただきたい。	3

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
消費生活	59	1803	喜入	喜入地域内でひとり暮らしの方が悪質な訪問販売にだまされた事例がある。悪質な訪問販売への注意を促す広報を防災行政無線等により継続的に行ってほしい。	市民局	各地域における消費者トラブルの未然防止のために、消費生活相談員が出向いて行う「消費生活出張講座」や温泉施設等で「消費生活パネル展」を開催し、消費者啓発に努めているところである。 また、特に緊急な啓発が必要と思われる場合は、町内会を通じた回覧や防災無線による啓発なども行っている。今後とも、地域の実情を考慮しながら対応してまいりたいと考えている。 なお、各校区においても、それぞれ必要に応じて防災行政無線を活用した広報活動を行っていただきたい。	1
	60	1802	郡山	「不用品譲ります。譲ってください。」といったような掲示ボードを校区公民館など人の集まる公共的な場所に設置できないか。	市民局	消費生活センターでは、「テレフォンバザー」（電話による不用品の情報提供）を行っている。不用品を「譲ります。」「求めます。」といった情報を登録し、お互いで不用品の譲渡をしていただき、資源の再利用を促すものである。 支所や地域公民館等の掲示板等には、この事業の案内を掲出するので、ご活用いただきたい。なお、最新の不用品情報については、市のホームページに掲出することとしている。	1
	61	1801	松元	消費生活センターの相談窓口が、必要を迫られる17時以降や、土・日曜日は対応がされていないので、窓口の時間を考慮して行く必要がある。	市民局	消費生活相談については、現在、午前9時から午後5時までとなっているため、それ以外の時間帯は、相談電話の留守番機能において、土日及び緊急の相談窓口の電話番号をお知らせするとともに、クーリング・オフ期間やホームページを案内し、対応しているところである。 ※新市まちづくり計画／（4）消費生活／①消費生活 22ページ	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
消費生活	62	1801	松元	悪徳商法等に対するわかりやすい情報提供や情報交換が必要で、対応の仕方についても地域と一体となり広報する必要がある。	市民局	合併後、旧五町地域の温泉保養施設等において、パネル展を開催しているほか、出張講座により啓発を行っている。今後、さらに各地域における消費者啓発を充実させるため、地域に根ざした啓発活動を展開してまいりたい。 ----- ※新市まちづくり計画／(4)消費生活／①消費生活 22ページ	2
地域福祉	63	1803	かご	旧5町地域に地域福祉館的なものの建設を検討していただけないか。	健康福祉局	現時点において、旧5町地域には、地域公民館、校区コミュニティセンターなど、地域の集会などを行うことができる地域福祉館と類似した施設が整備されているところがある。福祉館の建設については、地理的状況、人口の集積状況、類似する既存施設の設置状況や利用状況等も勘案しながら今後検討していくこととし、現時点では、これら既存施設の活用を図っていただきたい。	2
福祉	64	1802	吉田	牟礼岡岡地は以前に比べ高齢者が増えている。現在、民生委員が2人しかいないので、増員してほしい。	健康福祉局	民生委員法第24条により、各地域の民生委員数については、民生委員協議会が定めるものとされている。そのため、牟礼岡岡地の民生委員に関しては、該当する吉田地区の民生委員協議会内において、協議・調整することになる。	3

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
地域福祉	65	1803	吉田	吉田地区の民生委員は他の旧4町に比べ委員の担当区域が広い。民生委員協議会内で調整することは困難であるので定数の増員を図っていただきたい。	健康福祉局	民生委員の定数については、国の定数基準を踏まえ、決めている。定数基準は世帯数を基準にしており、地域内の世帯数を基に現行の定数を定めているところである。今後は、平成19年度の民生委員の全国一斉改選に伴い、国が示す基準により、定数を定めることとする。	3
	66	1803	吉田	地域福祉館は、中学校区に一館ということが基本になっているが、吉田地域には建設されていない。趣味やサークル、子ども達や高齢者のふれあいの場など地域活動の場として必要な施設である。是非とも建設していただきたい。	健康福祉局	現時点において、旧5町地域には、地域公民館、校区コミュニティセンターなど、地域の集会などを行うことができる地域福祉館と類似した施設が整備されているところがある。福祉館の建設については、地理的状況、人口の集積状況、類似する既存施設の設置状況や利用状況等も勘案しながら今後検討していくこととし、現時点では、これら既存施設の活用を図っていただきたい。	2
	67	1802	郡山	高齢者福祉センターについては、旧鹿児島市と郡山では利用率に大きな差があると思われるので、その運用については地域の実情に応じた対応を考慮してもいいのではないか。新たな施設を造ってくれと言っているのではなく、既存の施設の有効活用という面を考慮していただきたいということである。前回の意見に対する回答によると、規則で決まっているとのことだが、必要があれば条例や規則は改正すればよいことである。また地域福祉館は中学校区に一館という基本的な考え方があるわけだが、人口の推移を見てということになると、おそらく郡山には地域福祉館はできないのではないかと思う。そうであればなおさら既存の施設を有効に活用するための知恵を絞っていただきたい。	健康福祉局	高齢者福祉センター郡山は旧町時代は各種事業実施の場として貸し館的な利用をされていたため、高齢者以外の利用についても広く認めていた。合併後は高齢者専用施設として位置付け、18年度からは旧鹿児島市の高齢者福祉センターと同様に国の要綱に定める高齢者福祉センターの事業である、教養講座や相談業務等も行い利用の促進を図っている。このことから、今後とも高齢者の福祉の増進を図るという設置目的に沿った運営を行っていきたいと考えているのでご理解いただきたい。	3

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
地域福祉	68	1803	郡山	地域福祉館は、気軽に無料で利用でき、冷暖房費完備、湯飲みも準備してある、調理室もある、そんな便利な施設である。鹿児島市は地域福祉館を拠点として、今後、地域福祉計画などを推進していこうとしており、旧5町地域にも年次的に福祉館を整備していくべきである。地域福祉館については、設置基準をどう考えて、合併時にどのような話し合いがなされたのか。また、現在の計画の中では、地域福祉館のない旧5町地域については、類似施設の活用を図るという方針のようであるが、ここで言う類似施設とは具体的にどのような施設を指しているのか。	健康福祉局	地域福祉館は、地域公民館など他のコミュニティ施設や公共施設との関連、人口の集積状況、地形などの地理的状況等を踏まえ、概ね1中学校区に1館という基本方針に基づき建設している。 旧5町地域には、地域公民館、校区コミュニティセンターなど、地域の集会などを行うことができる地域福祉館と類似した施設が整備されているところがある。 福祉館の建設については、地理的状況、人口の集積状況、類似する既存施設の設置状況や利用状況等も勘案しながら今後検討していくこととし、現時点では、これら既存施設の活用を図っていただきたい。	2
	69	1804	桜島	地域福祉施策の中で、民生委員や児童委員の活動に対する支援が掲げられているが、各地域公民館長（町内会長）のほか、各種団体が一緒に協力して取り組める体制を整備してほしい。	健康福祉局	市内には、地域で福祉を推進する組織として校区社会福祉協議会があり、様々な福祉の課題の解決に向けて話し合い、活動されている。校区社会福祉協議会は、町内会やあいご会、婦人会、地区民生委員児童委員協議会、ボランティアグループ、学校、福祉施設、老人クラブなどで構成されている。校区社会福祉協議会が中心となって、地域の様々な団体や個人と連携して行う小地域ネットワークの活動（見守り活動や子育てサロン、世代間の交流会など）を、本市は地域福祉ネットワーク構築により支援することとし、平成18年度から6地域福祉館においてモデル事業を開始した。 地域福祉ネットワーク構築による支援内容は、市社会福祉協議会に委託して配置した地域福祉支援員が、小地域ネットワーク活動に対して助言や情報提供、人材発掘の手伝い、団体間の橋渡しなどを行うほか、地域のボランティア活動の情報収集・提供や福祉情報提供・相談を行うことである。 今後、モデル事業における問題点の分析や検証を十分に行ったうえで、全市的に地域福祉館（地域福祉館のない地域では市社会福祉協議会支部や類似施設の活用を図る）において取り組みを進めることとしている。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
高齢者福祉	70	1802	喜入	火災報知器の設置が義務化されるが設置費用が1万円程度かかる。火災の被害に遭うのは高齢者が多いので高齢者に対して助成できないか。	健康福祉局	現在、一人暮らしの虚弱な高齢者で火災報知機が必要な方に対しては、給付事業を行っているので、引き続きこの事業の範囲内で対応してまいりたい。	3
	71	1802	喜入	地域ふれあい交流事業の申請書で名簿に氏名・住所・年齢を書くようになっているが年齢・住所まで必要なのか。個人情報保護のこともあり正確に記載することが難しいので、高齢者・児童などと区分することで対応できないか検討してほしい。	健康福祉局	補助金の支出にあたっては、制度の主旨に沿った適正なものであるかどうかを審査するうえで必要最低限の情報を提供していただいているところであるのでご理解いただきたい。	3
	72	1802	吉田	お達者クラブの弁当代が200円から400円に値上がりすると聞いている。急激な値上げはお年寄りには負担が大きい。	健康福祉局	介護保険制度の改正に伴い現在介護保険のデイサービス等の利用者は食材費と調理費の実費を負担しているが、愛のふれあい会食の弁当もデイサービス等の利用者と同じものを提供しながら負担は200円となっている。このようなことから介護保険制度にあわせて実費相当の400円を負担していただくこととした。	3
	73	1802	吉田	高齢者福祉バスがあるが、希望者が多く利用できない。台数は増やせないものか。	健康福祉局	高齢者福祉バスは合併前は1台であったが、現在は旧郡山町及び旧喜入町の2台のバスと旧鹿児島市分と合わせて3台を利用していただいている。利用は抽選により決定しているが、利用申込のない日については随時申し込みにより利用が可能であるので、利用状況について問い合わせいただきたい。	3

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
高齢者福祉	74	1803	吉田	訪問給食は、利用できる要件が旧町時代に比べて厳しいので条件の緩和はできないか。(旧町時代は要望書に民生委員の同意があれば利用できた。)	健康福祉局	本市の心をつなぐ訪問給食事業は、1人暮らし高齢者等の安否確認と食生活の手助けを目的に実施しており、各面から調査を行い配食を決定しているところであり、現時点では要件の緩和については考えていないのでご理解いただきたい。 ※合併協定項目 (27) 高齢者福祉事業/30心をつなぐ訪問給食事業 高齢者に対する配食サービス事業については、合併する年度の翌年度に鹿児島市の制度に統合するものとする。 鹿児島市の心をつなぐ訪問給食事業については、合併時までに配食回数を1日2食までとすることなど実施方法について、所要の見直しを行うものとする。合併する年度は現行どおりとする。	3
	75	1803	吉田	福祉関係の窓口で補助や制度など担当の人に説明してもらいが、言葉が難しかったり中味がわかりづらいので、説明は丁寧に気長にお願いしたい。	健康福祉局	ご指摘の件をふまえ、今後はパンフレット等を活用し、略語や専門用語を多用せず、相手の理解を得ながら、わかりやすく説明できるよう努めてまいりたい。	2
	76	1803	吉田	福祉関係の受付のところに、手書きでもいいので「こういう事については、市民のひろば、何月号に載っています」とか、「これについては誰々にお聞きください」というような標示をしてほしい。	健康福祉局	事業内容が多岐にわたっているため、全てを受付に表示することは困難である。しかしながら、時期的なものについては、可能なかぎり対応していきたい。	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
高齢者福祉	77	1803	吉田	昨年まで市から補助をもらって校区公民館で敬老会を実施していたが、今年から補助がなくなり運営が大変厳しくなった。敬老の日には地区内の保育園、幼稚園、小・中学校の児童・生徒にも参加をしてもらい、校区を挙げて高齢者の方々に楽しんでいただいている。校区にも利用できるような地域ふれあい事業を検討していただきたい。	健康福祉局	敬老会にたいする助成は行っていないが、児童生徒と高齢者のふれあい事業に対しては、「地域ふれあい交流助成事業」で対応できるので、高齢者福祉課もしくは各支所の福祉担当課に相談していただきたい。 《参考》地域ふれあい交流助成事業概要 高齢者の生きがいの助長、小学校児童及び中学校生徒の高齢社会への理解を促すため、地域における65歳以上高齢者と小学校児童及び中学校生徒への交流を深める事業（スポーツ活動、創作活動等）を実施する団体（町内会、老人クラブ、あいご会等）に対して事業に要する費用の助成を行う。助成額は、当初交付決定を受けてから3年間は1事業5万円以内、4年目以降は3万円以内（同一事業3回まで）	1
	78	1803	吉田	デイサービスは旧町時代、週に1回参加できたが、合併後は、2週に1回しか参加できない。利用者からは毎週行くことが生きがいにもなっているので、以前のように週1回にしてほしい。	健康福祉局	本市の生きがい対応型デイサービス事業は、平成12年の介護保険制度開始時の激変緩和措置として実施し、12年度以降の新規は対象としていないが、旧5町については合併後17年3月末までの利用者を対象としているところであるのでご理解いただきたい。なお、生きがい対応型デイサービス事業以外にも、お達者クラブと連携したふれあい会食をはじめ、高齢者福祉バスの運行、敬老パスの交付やすこやか入浴事業など生きがいづくりや健康づくりのための各種事業を実施しているので、活用していただきたい。 ----- ※合併協定項目 （27）高齢者福祉事業/28生きがい対応型デイサービス事業 合併する年度の翌年度に鹿児島市の制度に統合するが、利用できる者は、合併する年度の末日までにサービスを受けていた者とする。 合併する年度は現行どおりとする。	3

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
高齢者福祉	79	1803	吉田	吉田福祉センターにある温泉施設は壊れて2年以上経過している。沸かし湯でなく、温泉を修理して高齢者が使えるようにしていただきたい。	健康福祉局	1日の平均利用者は約20名であり、温泉施設の改修工事及び新たな温泉の掘削には多額の費用を伴うことから、費用対効果を考慮した場合、現時点では、これまでどおりボイラーによる給湯で対応したいと考えている。	3
	80	1803	吉田	生きがい対応型デイサービスは、お達者クラブに制度が切り替わることから新規の申し込みができない。これからも今までの制度を継続していただきたい。	健康福祉局	本市の生きがい対応型デイサービス事業は平成12年の介護保険制度開始時の激変緩和措置として実施し、12年度以降の新規は対象としていないが、旧5町については合併後17年3月までの利用者を対象としているところであるのでご理解いただきたい。 ----- ※合併協定項目 (27) 高齢者福祉事業/28 生きがい対応型デイサービス事業 合併する年度の翌年度に鹿児島市の制度に統合するが、利用できる者は、合併する年度の末日までにサービスを受けていた者とする。 合併する年度は現行どおりとする。	3
	81	1803	吉田	家庭での子育てや介護などの技術を学び、家族や地域を支えあう社会保障の担い手を育てるため、意欲のある高齢者が指導者として働ける場をシルバー人材センターの中に設けてほしい。	経済局	現在、(社)鹿児島市シルバー人材センターでは、子育てや介護に関する講習会をシルバー人材センターの会員向けに実施し、能力開発や技術向上に努めているとともに、事業所等を訪問し、就業開拓を行っているところである。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
高齢者福祉	82	1804	吉田	吉田福祉センターの入浴施設は、温泉汲み上げ機が故障し、ボイラーで湯を沸かしている。温泉の修理費とボイラー燃料費との差がなければ温泉施設の修理をしていただきたい。	健康福祉局	吉田福祉センターの入浴施設は、温度が低いためボイラーによる沸かし湯と同じ様に、ボイラーによって適温まで上昇させる必要があり、燃料費を要する。また、温泉設備の修理には多額の費用を伴うことから、これまでどおりボイラーによる給湯で対応したいと考えているので、ご理解いただきたい。	3
	83	1804	吉田	吉田福祉センターの温泉施設利用者が1日20人しかないとのことだが、利用者を50人くらいに増やす努力はできないか。	健康福祉局	吉田福祉センターの入浴施設は、デイサービス事業での利用を目的として設置したものであること、また、この事業の利用者は、平成17年3月末までに利用していた者に限定されていることから、一般の方の利用は困難であると考えている。	3

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
高齢者福祉	84	1802	郡山	福祉アドバイザー制度（＝独居老人の見守り活動）についての要望に対し、市は「ともしびグループで対応可」との見解を示していたが、ともしびグループは年々減少しているようである。旧郡山町にあった制度は、自治会単位で活動がなされ、非常にうまく機能していたように思う。合併以降も地域内の一部自治会が継続して取り組んでいる同制度を鹿児島市全域に広めるとともに、新しい保健福祉計画を作る際にも是非、参考にさせていただきたい。	健康福祉局	高齢者福祉センターは、高齢者相互のふれあいと交流を図り、生きがいと健康づくりを支援し、そのことによって高齢者の福祉を増進することを目的とした施設で、国の要綱に基づき設置している。 このようなことから本市では、高齢者専用の施設として位置付け、利用者を高齢者に限定しているので、ご理解いただきたい。 ※新市まちづくり計画 Vまちづくり計画／安心健康都市／（7）高齢者福祉、介護保険23～24ページ	3
	85	1804	郡山	高齢者等の見守り活動は、現代の社会情勢からみて奉仕活動だけでは、難しい面があるのではないかと思われるので、一定の対価もあるような形でのNPO的な手法も必要なのではないか。そういう方向に誘導できないものか。	健康福祉局	高齢者等の見守り活動はボランティアをグループ化したともしびグループが行っているが、旧5町地域では喜入地区を除いて加入が進んでいないので、加入の促進を図りながら現行制度の中で取り組んでまいりたい。	3
	86	1804	桜島	高齢者の健康増進や生きがいづくりを支援し、社会参画を進めるためには、高齢者の行動範囲が広がることが大事だと思うが、桜島地域は勾配の多い土地の形状であり、高齢者の外出を支援するために、ある程度の勾配でも走行可能な電動車いすの購入に対する助成制度を検討してほしい。	健康福祉局	電動車いすは介護保険制度のなかで貸与制度があり、要介護認定を受けるなど一定の要件の下で利用することができるが、電動車いすの購入を助成する制度については、行っていないところなので、ご理解いただきたい。	3

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
高齢者福祉	87	1804	松元	福祉バスについては、事前の利用手続きを簡素化するなどして、広く地域住民が活用できるような制度にしていただきたい。	健康福祉局	高齢者福祉バスの利用申込については、18年4月からこれまでの抽選会による方法から、はがきによる申し込みに変更するなど手続きを一部簡素化したところである。 なお、高齢者福祉バスは高齢者の教養の向上や健康増進の事業のため、老人クラブなど高齢者の団体に利用していただいているところであり、この目的以外の利用については現在のところ考えていないのでご理解いただきたい。 ※合併協定項目 (27) 高齢者福祉事業/1高齢者福祉バス運行事業 当分の間現行どおりとする。 喜入町の老人福祉バスの定時運行については、合併後早い時期に調整する。	3
	88	1801	かご	郡山の高齢者福祉センターについて、合併前はある程度柔軟な利用ができていたが、現在は、高齢者でなければ利用できない等の制限のため、利用者が少ない。実情に合わせた既存施設の有効活用を検討してほしい。	健康福祉局	全ての高齢者福祉センターは、鹿児島市高齢者福祉センター条例施行規則により、高齢者と児童のふれあいを図る等高齢者福祉に資すると認められるような例外を除いて、18年4月から使用者の範囲を65歳以上（老人クラブ会員は概ね60歳以上）の高齢者としているので、理解いただきたい。	3
	89	1802	かご	吉野に新しくできる高齢者福祉センターについて、利用者を高齢者に限定せず柔軟な利用ができるように検討してほしい。条例改正も踏まえた弾力的な対応ができないか。	健康福祉局	高齢者福祉センターは、高齢者相互のふれあいと交流を図り、生きがいと健康づくりを支援し、そのことによって高齢者の福祉を増進することを目的とした施設で、国の要綱に基づき設置している。 このようなことから本市では、高齢者専用の施設として位置付け、利用者を高齢者に限定しているので、ご理解いただきたい。 ※新市まちづくり計画 Vまちづくり計画/安心健康都市/(7) 高齢者福祉、介護保険23～24ページ	3

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
高齢者福祉	90	1802	かご	旧郡山町で行っていた福祉アドバイザー制度のような良い制度は、市が取り入れてもいいのではないかと。	健康福祉局	福祉アドバイザーの行っていた一人暮らし高齢者等に対する声かけ等についてはともしびグループで対応できると考えているが、自治会等での独自の取り組みについては是非継続しておこなっていただきたい。 今後、保健福祉計画の策定等の参考とさせていただきたい。 ※合併協定項目 (27) 高齢者福祉事業／22心をつなぐともしびグループ活動推進事業 合併する年度の翌年度に鹿児島市の制度に統合する。 合併する年度は現行どおりとする。	1
	91	1804	かご	桜島地域や山間部など、かなりの勾配を伴う地域に居住する高齢者に配慮して、虚弱高齢者が社会参加しやすい環境にし、日常生活の自立を支援する観点から、購入費が高額な電動車椅子に対する補助制度について検討してほしい。	健康福祉局	電動車いすの購入を助成する制度については、行っていないところですので、ご理解いただきたい。 なお、電動車いすは介護保険制度のなかで貸与制度があり、要介護認定を受けるなど一定の要件の下で利用することができるので、ご利用いただきたい。	3
	92	1803	吉田	在宅介護支援センターが包括支援センターになると聞いたが、今まで高齢者がいろいろ相談に乗ってもらい助かっていたので、相談窓口は現在そのまま残していただきたい。	健康福祉局	平成19年2月に「地域包括支援センター」が吉田支所内に設置され、従来の在宅介護支援センターが行ってきた相談業務を引き継ぐ予定である。 保健師、社会福祉士等の専門職が、高齢者のための保健・福祉・医療の援助、支援を包括的に行なうので、より充実した対応が可能になるものと考えている。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
少子化対策	93	1804	吉田	宮校区に児童クラブを設置していただきたい。	健康福祉局	本市では、小学校低学年の放課後対策として児童クラブを設置しておりますが、利用児童数が10人以上見込まれる校区が対象となっている。 宮小学校区については、今後、利用児童数が10人以上見込まれることとなった段階で検討してまいりたい。	2
	94	1804	桜島	昨年11月から、桜島保育園内に、広く桜島地域全体の子育て家庭を対象に、育児不安等に対する相談や指導を行う「子育て支援センター」が設置されたが、まだ十分に認識されていない。「子育て支援センター」は行政の施策の一環として活動しているので、防災行政無線での周知放送を検討してほしい。	市民局	「子育て支援センター」は、市の委託事業であるので、主管課から放送依頼があれば、住民への周知のために防災行政無線での放送は可能である。 ----- ※合併協定項目 (36) 防災・防犯関係事業／(1) 防災行政無線 既存の防災行政無線については、合併時に引継ぎ、運用するものとする。ただし、設置目的等を踏まえ、更新時に見直しを行うこととする。(既存集落の新築家屋等への設置については、更新時まで現行どおりとする。)	1
	95	1804	桜島	昨年11月から、桜島保育園内に、広く桜島地域全体の子育て家庭を対象に、育児不安等に対する相談や指導を行う「子育て支援センター」が設置されたが、まだ十分に認識されていない。「子育て支援センター」は行政の施策の一環として活動しているので、防災行政無線での周知放送を検討してほしい。	健康福祉局	現在、地域子育て支援センター事業の広報等については、「かごしま子育てガイド」や「市民のひろば」へ情報を掲載しており、また、鹿児島市のホームページ上に、「ほのほの子育て相談」として支援センター(保育所)名、所在地、電話番号を掲載している。今後、子育て支援センター事業についてのホームページの充実を検討してまいりたいと考えている。また、桜島地域の防災行政無線の利用も検討してまいりたい。	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
国民年金	96	1803	吉田	若い人を中心に国民年金の加入者が減少していると聞く。農業者年金は国民年金加入が条件になっている。国民年金離れがこれ以上進むと制度の存続が危惧される。行政の方で、国民年金加入の促進を図っていただきたい。	市民局	国民年金の加入促進の事務は、地方分権一括法の制定により、市町村窓口での第1号被保険者の届出の受理等を除き、平成12年度から国にその事務が移管されたところである。国においては20歳到達者には、加入届を送付し、未加入者には届出勧奨をし、それに応じない者に対しては、職権適用を実施することにより加入促進を図っている。本市においては、未加入者に関する情報を提供し、加入促進が円滑に進められるよう協力している。	4
健康づくり	97	1804	喜入	(227番に前置きの意見があります) マリンピア喜入、生見海水浴場、喜入の森は、地域内の活性化の核となり得る施設であるが、生見海水浴場は施設が老朽化しており、水洗トイレや海上いかだなど施設整備と人を呼ぶためのイベント開催が必要である。マリンピア喜入については、本年度施設の整備もされるようであるが、運用面について、地域内で農業体験を行った者や海水浴場の利用者に対して入浴料を割引する方法もあると思う。	健康福祉局	マリンピア喜入の入浴料割引については、施設の利用促進を図るための一つの方策として、今後、関係課と連携をとりながら研究してまいりたい。	5
エス ポ ー ツ ・ ヨ ク ン リ	98	1802	吉田	吉田運動場の周りや植栽部分は雑草が繁っている。まちづくりスポーツ大会もあるので早急に整備してほしい。	教育委員会	8月上旬に、草刈りを実施したところである。今後においても随時実施してまいりたい。	5
	99	1802	吉田	吉田運動場の駐車場に、犬小屋が置かれそこで野良猫にエサをやる人達がいる。猫は10数匹いると思われるが、夜、下の団地におりてきて困る。市の運動施設の敷地内でもあるので撤去して、市民が気持ちよく利用できるようにしてもらいたい。	教育委員会	早急に犬小屋を撤去するとともに、餌やり禁止の看板を設置するなど、野良猫減少対策についての周知に努める。	5

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
スポーツ・レクリエーション	100	1803	吉田	吉田文化体育センターには正規職員の配置がなく、嘱託員で対応している。桜島、喜入、松元の体育館には正規職員がいると聞く。正規職員がいれば、そこを中心に体育指導員や関係機関との連携がとれ地域のスポーツ行事など充実した活動ができると思うので、正規職員を配置していただきたい。	教育委員会	<p>職員の配置については、合併以前から嘱託職員を配置しており、合併時の合併協定項目の調整方針として「現行どおりとする」としていることから、現在においても嘱託職員を配置しているところである。</p> <p>また、地域運動会及び地域おこし大会については、実行委員会と市民スポーツ課が連携を図りながら、今後とも充実したイベントの実施に努めてまいりたい。</p> <p>-----</p> <p>※合併協定項目 （47）社会教育事業／6 体育施設 ①次の管理運営については、現行どおりとする。 〔屋内体育施設〕吉田町文化体育センター、桜島町総合体育館、松元町平野岡健康づくり公園（体育館・温泉施設・茶山ドームまつもと）、喜入町総合体育館 〔屋外体育施設〕吉田町運動公園、郡山町総合運動公園、郡山町早馬球技場、郡山町花尾運動場、桜島町溶岩グラウンド、松元町平野岡健康づくり公園（多目的グラウンド・補助グラウンド・テニス場、ファミリースポーツ施設・茶山房）、松元町せせらぎ公園、喜入町陸上競技場、喜入町テニス競技場、喜入町相撲場、喜入町多目的グラウンド 〔武道館〕松元町武道館、松元町弓道場、喜入町武道館</p> <p>-----</p> <p>※新市まちづくり計画 1 安心健康都市／（13）スポーツ・レクリエーション／28 ページ</p>	3
	101	1804	吉田	吉田地域には吉田運動場、吉田文化体育センターがあり、市民に広く活用されていることは非常に喜ばしいことであるが、合併前にくらべて吉田地域の住民が使いにくくなっている。運動場や文化体育センターの空きによって地域の行事を組まなくてはならないので考慮してもらいたい。	教育委員会	現在、鹿児島市の体育施設の専用使用の予約方法は、吉田地域に限らず、1年前からの予約を行っている。市民の方々が誰でも平等に気軽にご利用いただける施設として努めてまいりたいと考えているので、ご理解いただきたい。	3

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
スポーツ・レクリエーション	102	1804	吉田	吉田文化体育センターの舞台に車いすの身体障害者の方が登り降りするときは、補助者が車いすごと持ち上げている。車いすのままでも利用できるよう、バリアフリー化（スロープ）を進めてほしい。	教育委員会	舞台裏からはスロープを設置してあるが、舞台正面からのスロープの設置は高さがあることから、設置は難しいものと考えている。	5
	103	1804	吉田	吉田地域総合文化祭で、吉田文化体育センターを利用させていただいたが、音響設備や照明機器が使用できず苦労した。音響設備や照明機器を使用する場合、使用者側に操作を任せているように聞いた。管理等を徹底するためにも、正規職員を配置していただきたい。	教育委員会	職員の配置については、合併以前から嘱託職員を配置しており、合併時の合併協定項目の調整方針として「現行どおりとする」としていることから、現在においても嘱託職員を配置しているところである。 また、使用に際しては、使用日の7日前までに打合わせを行うこととなっているので、事前に確認等を行いながら実施していただきたいと考えている。 ----- ※合併協定項目 (47) 社会教育事業／6 体育施設 ①次の管理運営については、現行どおりとする。 〔屋内体育施設〕吉田町文化体育センター、桜島町総合体育館、松元町平野岡健康づくり公園（体育館・温泉施設・茶山ドームまつもと）、喜入町総合体育館 〔屋外体育施設〕吉田町運動公園、郡山町総合運動公園、郡山町早馬球技場、郡山町花尾運動場、桜島町溶岩グラウンド、松元町平野岡健康づくり公園（多目的グラウンド・補助グラウンド・テニス場、ファミリースポーツ施設・茶山房）、松元町せせらぎ公園、喜入町陸上競技場、喜入町テニス競技場、喜入町相撲場、喜入町多目的グラウンド 〔武道館〕松元町武道館、松元町弓道場、喜入町武道館 ----- ※新市まちづくり計画 1 安心健康都市／(13) スポーツ・レクリエーション／28 ページ	3

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
スポーツ・レクリエーション	104	1805	吉田	吉田文化体育センターの舞台スロープ設置は難しいとのことだが、移動式の車いす一台が乗る位のリフトみたいなものは考えられないか。そのような調査をしていただきたい。	教育委員会	前回答えたとおり、スロープについては、舞台裏からは設置してあるが、舞台正面からの設置は高さがあることから、難しいものと考えている。 また、移動式のリフトの件については、今後、利用状況を踏まえ、研究してまいりたいと考えている。	5
	105	1802	郡山	地域体育祭は、合併後の地域住民の親睦を深めてもらうことが目的であるが、地域で年齢構成の違いがあること、各自治会役員が選手集めに苦労したり、住民、特に若者が嫌々出場するという面もあることから、これらの実態をふまえ、高齢者も気軽に参加できるスポーツ、種目を考えたり、もっと気楽な自由参加、レクリエーション色の強い内容に変えるなど、創意工夫していくべきである。	教育委員会	実行委員会の中で、地域の実情等を踏まえたうえで、地域運動会の内容（種目等）の検討を行っていく。	2
	106	1802	郡山	ニュースポーツの大会や体験会等を開催していただけないか。またそれがスパランド裸楽良や総合運動場の利用増につながるような取り組みにもできないものか。	教育委員会	郡山スポーツクラブ（地域スポーツクラブ）が、平成18年度に設立し、平成19年度から本格的に活動を行う為、郡山スポーツクラブ運営委員会の中で、スポーツ・レクリエーション大会等の企画・運営を行っていく。	2
	107	1803	郡山	屋内運動場については、整備するという事は市長も明言されているが、その時期、内容等については全く未定である。郡山総合運動場の機能を十分に発揮させ、多様なニーズに対応するためには、是非、早期の整備をお願いしたい。	教育委員会	地域住民の利用者見込み等を踏まえ、施設の規模・機能等を整理し、検討してまいりたい。 ----- ※新市まちづくり計画 1安心健康都市／（13）スポーツ・レクリエーション／28ページ	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
スポーツ・レクリエーション	108	1803	郡山	計画されている郡山の屋内運動場が体育館なのかドーム形式なのか分からないが、各種団体で運動会等の行事が開催できるような屋根付きのドームを是非お願いしたい。	教育委員会	地域住民の利用者見込み等を踏まえ、施設の規模・機能等を整理し、検討してまいりたい。 ※新市まちづくり計画 1安心健康都市／(13)スポーツ・レクリエーション／28ページ	2
	109	1804	郡山	地域運動会については、地域で年齢構成が異なる中において競技する内容からレクリエーション色の強い内容に創意工夫していくべきとの意見が出ていたが、今年も相変わらずリレーなどが多く、気楽に参加できるといった印象は受けなかった。もっと気楽に行って、面白かった、楽しかったというような内容にした方がいいと思う。また、様々なスポーツ大会が実施されているが、今後、高齢者が益々増えていく中では、幼児から高齢者まで地域住民が幅広く参加し、ふれあいの場となるような内容に重点を置いた方が住み良いまちになるのではないか。	教育委員会	地域の代表者等で構成する実行委員会を早期に開催するとともに、今後更に実行委員会において地域住民の声を反映させながら、参加しやすい種目内容の検討を行うよう連携を図ってまいりたい。 ※合併協定項目 (47)社会教育事業／4各種スポーツ大会 ①地域に根ざし、町民に定着している運動会については、それぞれ地域運動会として現行どおり実施する。 ②県内外から参加者を募集する次の大会については、新市の大会として実施する。 ・南日本小学生バレーボール大会 ・西日本中学・高校卓球大会 など7大会 ③その他の大会は平成17年度から廃止する。 ※新市まちづくり計画 1安心健康都市／(13)スポーツ・レクリエーション／28ページ	5

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
スポーツ・レクリエーション	110	1804	郡山	なぜ地域体育祭への参加者が少ないかを含めて住民にアンケートを行い、幅広く意見を拾い上げて内容を検討すべきである。	教育委員会	地域の代表者等で構成する実行委員会において、地域住民の意見を吸い上げ、地域住民が参加しやすい大会とするため実行委員会において検討を行うよう連携を図ってまいりたい。 ※合併協定項目 (47)社会教育事業／4各種スポーツ大会 ①地域に根ざし、町民に定着している運動会については、それぞれ地域運動会として現行どおり実施する。 ②県内外から参加者を募集する次の大会については、新市の大会として実施する。 ・南日本小学生バレーボール大会 ・西日本中学・高校卓球大会 など7大会 ③その他の大会は平成17年度から廃止する。 ※新市まちづくり計画 1安心健康都市／(13)スポーツ・レクリエーション／28ページ	5
	111	1804	郡山	「地域スポーツクラブ」については、設立に至るまでに各面から情報やニーズの把握に努め、説明会などを通して地域住民と既存団体に協力を求めていくことが大事だと思う。このスポーツクラブが誰でも気軽に参加できる自主運営の組織として活動されることを期待する。	教育委員会	郡山スポーツクラブについては、パンフレット等で積極的に広報活動を行うとともに、主催イベント(スポーツ教室等)を開催するなど、魅力あるクラブ運営を計画するよう郡山スポーツクラブの事務局と連携を図ってまいりたい。 ※新市まちづくり計画 1安心健康都市／(13)スポーツ・レクリエーション／28ページ	5

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
スポーツ・レクリエーション	112	1804	かご	旧5町で合併後も継続して年1回開催されている地域運動会については、健康づくりだけでなく、親睦と絆を深め地域の活力を維持する面での意義も大きいので、現在市が出している開催負担金については、将来にわたって継続してほしい。	教育委員会	旧5町時代から実施しているイベントであり、地域住民の親睦を深めるとともに、地域の活性化に大いに寄与することから、行政としてもできる範囲で支援してまいりたい。 ----- 合併協定項目 (47)社会教育事業 / 4各種スポーツ大会 地域に根ざし、町民に定着している運動会については、それぞれ地域運動会として現行どおり実施する。県内外から参加者を募集する次の大会については、新市の大会として実施する。 ・南日本小学生バレーボール大会 ・西日本中学校選抜オープン卓球大会 など7大会 その他の大会は平成17年度から廃止する。 ----- 新市まちづくり計画 1安心健康都市 / (13)スポーツ・レクリエーション / 28ページ	2
学校教育	113	1801	喜入	瀬々串小学校体育館について外壁の修復を行ったようであるが、18年度予算に本格的修復は含まれていないのか。	教育委員会	瀬々串小屋内運動場については、17年度において、剥落の恐れのある箇所を一部修繕したところである。今後の予定としては、19年度に屋内運動場全体の外壁調査を行い、調査結果により20年度に改修等を行うこととしている。	1
	114	1801	吉田	防犯対策のための学校外周フェンス等設置工事はどのような計画になっているのか。	教育委員会	校内事故防止等のため、18年度において、市立小学校の「フェンス」及び「手摺」並びに市立中学校の「手摺」について未整備校に整備することとした。市立中学校の「フェンス」については、次年度以降、引き続き整備することとしている。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
学校教育	115	1803	吉田	小・中学校では毎年2回ほど、PTAと学校職員、児童生徒で学校美化奉仕作業を行っているが予算が限られており、剪定した枝木や刈り取った草木の処分ができない。緑の多い学校、少ない学校それぞれあると思うが実態を把握して予算を確保するか、回収をするようにしていただきたい。	教育委員会	<p>予算の配当については、年度当初に各学校、1年間の奉仕作業等計画を照会し、予算の配当をしているところであるが、年度当初では、捨量の見通しが立ちにくいいため、学校によっては、少なかったり、多かったりしている。台風シーズンが過ぎたあとに、予算の執行状況を見ながら、追加の配当を行っているため、予算が不足する場合は、担当課に相談していただきたい。また、限られた予算を有効活用し、今後とも予算が確保できるように努力してまいりたい。</p> <p>※新市まちづくり計画 2個性創造都市／(2)学校教育／29ページ</p>	1
	116	1803	吉田	吉田小学校の新築移転が平成20年度開校に向け工事が進められているが、地域住民は、吉田北中との小中一貫教育を望んでいるので、検討していただきたい。	教育委員会	小中一貫教育校は現行法では、市の判断で設置できない状況である。教育特区の許可を受けると実施できるが、市としては現在考えていないところである。	3
	117	1803	吉田	吉田小学校の跡地は、地区の中心部にあり校区活動の起爆剤にできないかと地域住民は深い関心を寄せている。活用の決定については地域住民の声を聞く機会を設けていただきたい。	教育委員会	吉田小学校の跡地活用については、19年度から20年度にかけて検討することとしており、その際は、何らかの形で住民の方々の意見をお聞きしたいと考えている。	5

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
学校教育	118	1804	吉田	合併時に、学校図書室も整備がなされたと思うが、年間どのくらいの図書費が予算化されているのか。また、今年子どもの読書推進も進められるようになり、かなり学校側も読書に力をいれていると思う。今後も小学校、中学校に図書費の予算が増えることを望む。	教育委員会	本市は従来から、図書費予算を一般の教材費とは別途で予算計上しており、平成5年度以降も交付税の措置額を上回っている。 現在図書費の予算は、充足率の低い学校へ傾斜配分することによって効果的な整備に努めており、目標である充足率は80%を満たしつつあり、今後は、全学校が100%を満たすことを目標としたい。	1
	119	1804	吉田	大原地区は人口が増加してきているが、宮小学校の児童は年々減少してきているので、大原地区の一部を宮校区にするなど、学校区の見直しを検討していただきたい。	教育委員会	旧5町については合併以前の校区設定を続けている。校区は長年の経緯で地域的、地形的、地理的な面を考慮して設定されており、見直しとなるとこれまでの地域的なつながり、自治会組織を分断する恐れもあるため現在のところ考えていない。 宮小への通学については、鹿児島市小規模校入学特別認可校に指定されているので、指定学校の変更申立があれば、校区外通学を認めている。	3
	120	1803	郡山	学校間の交流活動について、人の交流は大事だが、いきなり実施するのはなかなか難しい面もあるので、まず各学校におき様々な活動状況や地域のことなどについて情報の交流を行ってはどうか。それらの情報を活用する中で人的な交流につながっていき、郡山地域に街中の小中学生を呼び込むきっかけになるのではないかと。また合併後の鹿児島市というのは、山や川、海などの自然、歴史・文化など地域の特性が非常にバラエティに富んでいるということも特徴だろうと思う。「こういう活動がしたい。」或いは、「こういう活動は受け入れができる。」といったような情報があれば、学校間の交流を促進することができるのではないか。	教育委員会	現在、市内の38の小・中・高等学校が、市内外の44校の学校と、合同行事の実施、修学旅行での相互訪問や作品交流などの継続した交流活動を行っている。今年度は、テレビ会議システムを使って、農作物の栽培・収穫に係る食農教育の実践による情報交換を主とした交流活動も計画されているところである。また、各学校では、ホームページ等を使用して広く情報を発信しており、この内容はどの学校からでも見ることが可能で、相互交流を目指した発信の在り方を工夫している。今後は、郡山地区の学校はもとより市内各学校で、より一層積極的に情報や人の交流がなされるよう指導・啓発していきたい。 ※新市まちづくり計画 2個性創造都市／(2)学校教育／29ページ	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
学校教育	121	1801	桜島	桜島の恐竜公園下の防空壕跡の中には、知覧の特攻基地に匹敵するほど戦争遺産としての価値が非常に高いものもあると思うので、安全面からただ単に塞いで終わるのではなく、教育等の面からの活用方法を考えてほしい。	建設局	桜島自然恐竜公園下の防空壕跡については、現在安全面から入口を封鎖し、立ち入りを禁止しているので活用は困難であると考えているが、総合的な学習の時間などでの具体的な活用の相談があった場合には、安全性の面も考慮する中で、その都度判断し、対応してまいりたい。	3
	122	1801	桜島	桜島の恐竜公園下の防空壕跡の中には、知覧の特攻基地に匹敵するほど戦争遺産としての価値が非常に高いものもあると思うので、安全面からただ単に塞いで終わるのではなく、教育等の面からの活用方法を考えてほしい。	教育委員会	恐竜公園下の防空壕跡については、戦争について学習することができる身近な史跡の一つであると認識している。各学校では、身近な地域の様子を調べたり、戦争体験者の話を聞いたり、長崎・広島への修学旅行をとおして平和について調べる学習を行ったりしている。今後も、社会科や総合的な学習の時間をはじめとする授業の充実を図るために、各学校が地域にある教材を積極的に活用するよう努めていく。 ※新市まちづくり計画 2個性創造都市／(2)学校教育／29ページ	1
	123	1801	桜島	学校教育の中で郷土教育の充実を図ってほしい。旧桜島町が作成した副読本「わたしたちの桜島町」を使用して、あるいは、新たに作成して、郷土桜島の魅力について、桜島の生徒たちにしっかりと伝えてほしい。	教育委員会	現在使用している副読本「のびゆく鹿児島」は、平成16年度に旧5町を取り入れた内容で編集されており、旧桜島町の副読本「わたしたちの桜島町」と同様に学習を進められるようになっている。旧桜島町作成の副読本も、学校に残る分は資料として必要に応じて活用している。また、桜島地区の各学校では、社会科や総合的な学習の時間等で、それぞれの地域の自然や文化、産業等を生かした教育活動の展開に努めている。 ※新市まちづくり計画 2個性創造都市／(2)学校教育／29ページ	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
学校教育	124	1804	かご	福祉に対する意識や郷土への愛着心を急に身に付ける事は難しいので、小学生の頃から教育内容に盛り込むなどして、鹿児島らしい教育というものを行う必要がある。	教育委員会 健康福祉局	各小・中学校では、社会科や総合的な学習の時間等で、高齢者施設の訪問や障害者との交流、地域の伝統芸能の継承、郷土の史跡・偉人についての体験学習や調査活動などが行われている。また、本市では、小学校3、4年生の社会科で使用するための副読本「のびゆく鹿児島」を作成・配付し、郷土についての学習や郷土を生かした教育活動の充実を図っている。今後も、学校や地域の実情に応じた福祉や郷土に関する教育の充実が図られるよう努めてまいりたい。	1
	125	1804	かご	児童数が減り廃校の可能性もある小規模校が山間僻地などに増えてきているが、小学校は地域コミュニティの中心となるものであるため、小規模校を維持させるための対策を検討してほしい。	教育委員会	児童数が減少する地域及び学校から、市小規模校入学特別認可制度を活用したいとの要望があり、教育委員会が本事業実施校として指定すれば、市街地の学校から通学を希望する児童を受け入れて活性化を図ることができるようにしている。	1
	126	1804	吉田	学校給食費の未払いがあるように聞いているが、食べたものは払うというのが原則である。給食費の未払いは、吉田地域ではどのくらいあるのか教えてほしい。	教育委員会	旧吉田町の平成17年度の学校給食費の未納総額は、平成18年8月31日現在で、約37万円である。さらに、現在4ヶ月が経過しているため納入が進み、減額されていると思われる。	5
	127	1805	吉田	学校給食費の未納対策として生活困窮者の減免措置などは講じているのか。なかには「納められるのに納めない人」もいるのではないかと。未納防止対策として入学時に「学校給食をお願いします」というような承諾書をとるような方法は考えられないか。	教育委員会	給食費の納入が滞っている家庭には、各学校において就学援助制度の案内を積極的に勧めている。また、給食費を納められるのに納めないと判断される保護者には、PTA総会や学級懇談会等で給食のねらいや仕組み、未納が与える影響等を説明するとともに、文書や電話、家庭訪問等で段階的に粘り強く督促を行っている。さらに、未納額が多い保護者には分納誓約書も提出してもらっている。入学に際しての承諾書については、その方法や内容等について今後研究してまいりたいと考えている。	5

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
生涯学習	128	1805	かご	公民館については、団塊世代の活躍の場、人材発掘の場、ネットワークの場として機能強化を行い、様々な人材のコーディネーター役としての公民館のあり方を検討してほしい。	教育委員会	生涯学習ボランティアとして活躍できるような団塊世代を対象にした講座を開設している。また、公民館事業や公民館講座等で講師として活用できるような団塊世代の人材発掘に努めている。今後、団塊世代が活躍できるような場など情報提供に努めていく。	2
	129	1805	喜入	校区公民館を対象とした補助事業で、本年度で終了する「わがまち自慢づくり支援事業」について来年度以降も継続してほしい。	教育委員会	17・18年度に実施した「わがまち自慢づくり支援事業」では、各校区ごとにそれぞれの特色を生かした様々な取組が進められた。教育委員会では、この2年間の取組を通して各校区に根付きつつある「わがまち自慢」を確実に定着させるため、「わがまち自慢づくり推進事業」として来年度も継続してまいりたいと考えている。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
生涯学習	130	1804	吉田	校区のコミュニティセンターは多くの人が使用し、その都度、掃除など行っている。畳の老朽化やトイレの汚れなどが目立つが、点検や敷地の清掃などの定期的な管理はどうなっているのか。また、コミュニティセンターは、あいご会から高齢者まで幅広く利用されているので、冷暖房施設の設置をしていただきたい。	教育委員会	吉田地区の各コミュニティセンターは、校区民の方々を中心に幅広く利用していただいております。使用者がその都度掃除等を行っています。 生涯学習課では、定期的に畳の交換や清掃などを実施しているが、普段の清掃等については、校区公民館運営審議会を中心とした校区住民の方々に「コミュニティセンターは自分達の施設である」との認識に立っていただき、主体的に清掃等を行っていただくことを基本としている。 また、冷暖房施設の設置については、予算措置等が必要となることから、今後検討してまいりたいと考えています。	5
	131	1801	郡山	郡山小学校区に校区公民館が整備されたが、住民はどの施設であるのかよく分っていない面がある。校区内の方なら誰でも無料で利用でき、コピー機も備えている非常ありがたい施設だと思うので、利用についてもっとPRをしてほしい。	教育委員会	校区公民館は、主として児童会活動、クラブ活動、スポーツ少年団活動、教職員の研修会などの学校教育活動、PTAの各種会合、研修などのPTA活動、青少年健全育成の場として利用される施設である。そのため、関係団体利用については、校区公民館運営審議会を中心に広報に努めているところである。今後も同審議会を通じた広報活動に取り組んでまいりたい。 ※新市まちづくり計画 2個性創造都市／(4)生涯学習／32ページ 2個性創造都市／(8)コミュニティ／35ページ	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
生涯学習	132	1803	郡山	旧郡山町では教育委員会で人材リストを作り、地域活動に活用していた。鹿児島市では、そういったものの作成・活用はしていないのか。	教育委員会	平成17年度までは、社会教育関係指導者名簿を作成していたが、個人情報保護等の関係で18年度から作成していないところである。講師情報等については、生涯学習課等関係各課や地域公民館にお問い合わせいただきたい。 ----- ※新市まちづくり計画 2個性創造都市／(4)生涯学習／32ページ	1
	133	1804	桜島	合併後に導入された校区公民館制度では、桜島地域が二つに分かれて社会教育活動等を行うこととなったが、地域住民は桜島地域が二つに分かれて活動することに強い違和感を持っている。住民の理解と協力を得て、活発な校区公民館活動を実現するため、合併前のように桜島地域が1つにまとまって活動できるよう、小学校区ごとにある二つの校区公民館運営審議会を一本化してほしい。	教育委員会	合併前の桜島地域が、地域一丸となって青少年の健全育成や社会教育活動等を推進してこられたことは、大変素晴らしいことだと考えている。本市の校区公民館制度は小学校区を単位としており、合併後、立ち上げていただいた旧5町の校区公民館運営審議会も、各校区の実状に合わせた事業等を展開している。 桜島地域においても、校区公民館活動は、小学校区単位のよさを生かしながら、地域の実状にあった活発な活動を展開していただき、桜島地域全体で取り組むべき事業等については、これまでどおり合同での取組を実施していただきたいと考えている。 ----- ※合併協定項目 (47)社会教育事業／17校区公民館活動推進・校区公民館整備 鹿児島市の制度を適用して、校区公民館を各町に置くこととするが、施設の整備が進んでいない校区については、当面余裕教室等の活用を図るものとする。校区公民館運営審議会は合併する年度から起算して3年度を経過した年度までに順次整備する。	3
	134	1804	かご	近年の生涯学習においては、福祉教育の部分が重視され確立され始めているが、昨今の人間関係の希薄化に鑑み、地域住民との助け合いを重視した福祉教育にもっと力を入れていくべきではないか。	教育委員会	教育委員会では、生涯学習プラザや地域公民館において、手話や障害者とのふれあいなどに関する講座を開設している。また、健康福祉局では、市民の要望に応じた出前講座の開設や福祉ボランティアの育成、福祉資料の配付等を行っている。今後、関係部局と連携をさらに図りながら、福祉教育を推進してまいりたい。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
生涯学習	135	1804	かご	校区公民館などにあいご会や町内会、警察、福祉関係等も全て含めたトータル的に機能する組織を設けて、教育・福祉両面においての利便性を高めてほしい。	教育委員会 市民局	校区公民館運営審議会は、町内会やあいご会、PTA、婦人会等の関係機関・団体への支援と連絡調整を図り、青少年の健全育成やそれに伴う地域課題を解決する事を目的として活動している。そのため、校区によっては警察や福祉機関とも連携を図りながら地域課題の解決を図っている校区もある。今後はそのような校区の活動例を他の校区にも紹介し、現在の校区公民館運営審議会がより有効的に機能できるよう支援してまいりたい。	1
	136	1804	かご	生徒数の減少に伴い活用されていない土地等については、その学校にまつわる何らかの遺産・偉人に関する資料を公開するなどして活用すれば、生涯学習にもつながり、学校は子供だけのものではなく大人も学べる場であるという意識が高まるのではないかと。	教育委員会	児童生徒数の減少に伴う余裕教室については、「鹿児島市立学校余裕教室活用計画指針」により、少人数指導や更衣室などに転用するなど教育活動充実のために活用している。また、PTA活動室や郷土文化・交流活動室などとして、生涯学習施設や社会福祉施設としても活用できるようにしている学校もある。今後も、学校や生涯学習課等の関係機関との連携を図りながら有効活用に向けてまいりたい。	1
文化振興	137	1801	喜入	平成17年度に開催した「つわぶきコンサート」について18年度も予算措置がされているが、このようなコンサートができるような文化センター的な施設を喜入地域に整備していただきたい。	教育委員会	喜入地域に文化センターを設置することについては、鹿児島市全体のバランスをみて、全市的に検討する必要があるが、今後喜入公民館の整備方法と合わせて各面から検討していきたい。 ----- ※合併協定項目 (47) 社会教育事業／15 公民館の設置 喜入町については、喜入町町民会館を地域公民館とし、将来新たな地域公民館の設置を検討する。	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
文化 振 興	138	1804	郡山	市の郷土芸能振興策はどのようなものがあるのか。また郷土芸能や文化活動など市民レベルの交流活動に対する支援制度を作ってもらえないものか。	市民局	町内会等が主体となって行われる文化活動や交流活動に対しては、「みんなで参加 わがまちづくり支援事業補助」を活用していただいている。また18年度からは、「市民とつくる協働のまち事業」で公共的サービスを提供するNPO等の市民活動に対し、経費の一部を助成しているため、活用していただきたい。	1
	139	1804	郡山	市の郷土芸能振興策はどのようなものがあるのか。また郷土芸能や文化活動など市民レベルの交流活動に対する支援制度を作ってもらえないものか。	教育委員会	郷土芸能振興策については、用具の補修や後継者育成活動に対して、助成を行っているほか、毎年11月に開催している「ふるさと芸能祭」などにおいて、郷土芸能を披露する場を提供している。 文化活動については、市民文化祭等を共催し、共催負担金を交付している。また、本市の文化振興の推進上効果があると認められる行事について、後援するなど、市民文化活動の振興に努めている。 ----- ※合併協定項目 (47)社会教育事業／9市(町)民文化活動推進事業 現行どおりとする。ただし、郷土芸能については、鹿児島市のふるさと芸能祭の参加団体として取り込むものとする。 (47)社会教育事業／10文化団体との共催事業の推進事業 合併する年度の翌年度に鹿児島市の制度を適用し、統合する。合併する年度は現行どおりとする。 ----- ※新市まちづくり計画 2個性創造都市／(5)文化振興／33ページ	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
文化振興	140	1801	喜入	喜入地域にある史跡について、日本語・英文併記した案内板を設置することが必要ではないか。	教育委員会	文化課においては、計画的に全市域の文化財説明板等の設置、補修を行っている。旧5町域の説明板等については、今後補修、建替えが必要になった際に、順次旧市の説明板と同様に和文・英文併記の規格に変更する予定である。 ----- ※合併協定項目 (47) 社会教育事業／11 文化財保護管理事業 合併する年度の翌年度に鹿児島市の制度に統合する。 合併する年度は現行どおりとする。 5町の指定文化財は、鹿児島市文化財審議会の審議を経て、鹿児島市の指定文化財として引き継ぐものとする。	1
	141	1803	郡山	花尾神社というのは、鎌倉時代まで遡る歴史を持つ由緒ある神社であり、島津氏繁栄の基礎をなす大切な神社である。地域の大きな財産ということで大事にしていきたいと思うし、荘厳な雰囲気にもあまり手を加えるのもどうかとは思いますが、やはり多くの市民にも知って欲しいし、その工夫もしなければいけないと思う。そういう意味からも鹿児島市の歴史教育の中でも取り上げて生かしていただきたい。また現在、県の観光の見直しが行われているようであり、その中で埋もれた資源を見直そうというものがあったように思うので、隠れ念仏「薩摩日光」とも称される花尾神社の杉木立の景観も何らかの形で組み入れられないものか。併せて「隠れ念仏」も郡山の大きな歴史・観光資源として是非活かしていただきたい。また町時代にあった花尾神社周辺プロジェクト構想の具体化に取り組んでいただきたい。	教育委員会	花尾神社、隠れ念仏は、身近に歴史を学習できる史跡の一つであると考えている。現在、小学校社会科で使用している副読本「のびゆく鹿児島」は、旧5町を取り入れた内容で編集されており、これらの史跡も掲載され、学習できるようになっている。今後においても、社会科や総合的な学習の時間において、各学校が身近にある教材として積極的に活用するよう教頭研修会や教務主任等研修会をとおして指導してまいりたいと考えているところである。 ----- ※新市まちづくり計画 2 個性創造都市／(2) 学校教育／29 ページ	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
文化振興	142	1804	郡山	おはら祭の際に郷土芸能を披露する場を提供していただき、広くPRできたことは非常にありがたいことだと思っている。地域としても自分たちの問題として後継者不足に悩み、性別の枠を外したり、自分たちの地域だけでなくもっと広く後継者を育てていこうということで努力しているので、今後も、市としてもいろいろな形で支援していただければと思う。	教育委員会	<p>今後も、郷土芸能保存団体に対しては、用具の補修や後継者育成活動に対して助成を行ってまいりたい。また、毎年11月に開催している「ふるさと芸能祭」などにおいて、これからも郷土芸能を披露する場を提供してまいりたい。</p> <p>※合併協定項目 (47)社会教育事業／9市(町)民文化活動推進事業 現行どおりとする。ただし、郷土芸能については、鹿児島市のふるさと芸能祭の参加団体として取り込むものとする。</p> <p>※新市まちづくり計画 2個性創造都市／(5)文化振興／33ページ</p>	1
参男 画女 社共 会同	143	1804	吉田	吉田公民館運営審議会の委員は6名のうち女性は2名である。男女共同参画をすすめているので、女性の委員を増やすべきではないか。	教育委員会	鹿児島市審議会等への女性委員登用推進要項第3条で、女性委員の比率を18年度末までに30%以上、23年度までに35%以上となるよう推進することとあり、吉田公民館運営審議会女性委員の比率は33%になっている。今後もこの要項に基づき女性委員を登用していきたいと考えている。	5
コ ミ ユ ニ テ ィ	144	1805	かご	町内会の必要性をまとめたものを転入者に渡すなどの町内会離れ対策を行ってほしい。	市民局	<p>質疑として次のとおり回答済</p> <p>-----</p> <p>加入者呼びかけのチラシを転入者や市営住宅入居者に配布するなど様々な加入促進対策を講じているところである。</p>	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
コミュニティ	145	1805	かご	町内会の基本は住民同士のコミュニケーションなので、未加入者対策全てを行政に要望するべきではないが、町内会離れ対策に奮闘している役員などに対して、世帯把握のために地域へ新規入居者についての情報提供を行うなど、特色ある対策を考え、今以上にバックアップをしてほしい。	市民局	質疑として次のとおり回答済 ----- コミュニティ再生に向けた施策として、19年度から地域力再生検討委員会(仮称)の設置を検討しているところである。	2
	146	1805	かご	地域内の情報を各個人が書き込みながらコミュニティを作ろうというサイトも存在しており、様々な人とつながり、自由に発言でき、かつ多くの情報を得られるインターネットは、コミュニティツールとして有効だと思う。そういった情報及び地域との一体感が得られるというメリットがあれば町内会への加入促進対策としても有効ではないか。	市民局	インターネットは、個人レベルの情報収集という観点では有効なものと考えますが、コミュニティツールとしての活用能力には、個人差が未だ大きい状況であり、今後の研究課題と考えている。	2
	147	1805	かご	災害時などには行政の力だけでは対応できないので、今後は商店街やスーパー、コンビニも含め、防災・防犯対策の要とすべきではないか。	市民局	17年10月に制定した安心安全まちづくり条例に事業者の責務を定め、防災・防犯等に関する事業者の積極的な参加を進めているところである。 防災については、災害時の食糧等物資の優先的な供給等について、本市とデパートやスーパー等11社との間で、協定を締結しており、今後も拡充していきたいと考えている。 また、防犯対策としては、事業者による防犯パトロール隊にもパトロール用品を支給することとしており、19年度は新たに、事業者等の車両による防犯パトロール活動の促進を図ることとしている。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
コミュニティ	148	1805	かご	町内会未加入者が増えているとのことだが、一度加入しない意思表示をした人には一切情報が伝わらなくなるという情報の欠如面にも問題があると思うので、インターネットやかかわら版的なものだけでなく、マスコミ等を含めた様々な媒体を活用してコミュニティを話題にして、広く住民に知らしめることが必要ではないか。	市民局	コミュニティ再生に向けた施策として、19年度から地域力再生検討委員会(仮称)の設置を検討しているところである。	2
	149	1804	吉田	合併前に農業委員会主催の生産者グループによる朝市が牟礼岡団地の町有地で行われていたが、合併後、使用料が発生するというので、朝市は廃止となった。地域住民からの要望が多いので、地域活性化の面でも朝市を復活していただきたい。	農業委員会事務局	朝市について、農業委員会として取り組むことは考えていないところである。	3
	150	1804	吉田	合併前に農業委員会主催の生産者グループによる朝市が牟礼岡団地の町有地で行われていたが、合併後、使用料が発生するというので、朝市は廃止となった。地域住民からの要望が多いので、地域活性化の面でも朝市を復活していただきたい。	総務局	合併前に農林課より当該地では今後、朝市は行わず、利用予定がない土地であると回答があったため、管財課で引き継いだ。庁内では活用予定がないことから、平成18年12月から売り出している。朝市の復活については、農林水産部において開催場所を含め検討する必要があると思われる。	5

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
コミュニティ	151	1804	吉田	合併後、集落（町内会）の公民館や墓地に水道メーターがついたのは納得するが、子ども会がサツマイモなどを作る2、3坪の土地にもメーターがついたので無料にしてもらいたい。	水道局	鹿児島市の水道事業は、独立採算制のもとに運営され、水道事業を運営していくために必要な経費は「受益者負担の原則」により使用者の水道料金で賄っているため、使用された水道の料金は使用者に負担をお願いしている。このため、水道局においては、特定の施設等の水道料金の減免は行っていないので、ご理解いただきたい。 なお、サツマイモなどを作る畑など、長期間水道を使用しない場合は、休止の届出をしていただくとその間の水道料金（基本料金）は徴収しない。	3
	152	1804	吉田	小さな町内会は合併をする必要があるが、町内会の範囲が広がると、行政から町内会長へ来る文書を班長に配付するのが大変になり、役員のなり手がなくなる。過渡的な措置として班長あてに文書を送付することを検討してほしい。	市民局	本市では、広報紙「市民のひろば」を全世帯に配布し、各種の情報を市民の皆様提供している。なお、集団検診など特定の地域に関する情報については、町内会を通じ再度情報提供しているものもある。回覧を要する文書等については、会員への回覧の必要性など団体の代表である町内会長にご判断いただくこととしており、また、回覧を要するような文書については、市としてもできるだけ減らす方向で努力しているところであるので、現行でお願いしたいと考えている。	3
	153	1804	吉田	町内会未加入者が増えているため、地元の住民も家の新築工事をしているときに町内会加入をよびかけるなどの受け入れ態勢をする必要があるが、行政側も「こういう人が転入しました」と町内会長に連絡してほしい。	市民局	住民異動に関する情報管理については、法令等に基づき適正かつ厳格に行っており、情報を提供するの難しいのでご理解いただきたい。	3

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
コミュニティ	154	1805	吉田	町内会未加入者対策の一環としての情報提供には「個人情報保護法」などの制約があることは理解するが、「どこどこに誰々(氏のみ)さんが入居した」それだけでも法に抵触するのか。地域住民が組織をつくって防犯灯の管理や防災、防犯、ごみ処理などの活動を行いながら地域の連帯をはかっている。地域活動活性化のため、町内会加入の勧誘に使用するだけなのでご考慮したい。	市民局	住民異動に関する情報管理については、法令等に基づき適正かつ厳格に行っており、情報を提供するのには難しいのでご理解いただきたい。	3
	155	1802	郡山	自治会活動について、各面からの情報提供や助言を含めた研修会等の機会を設けていただきたい。また、自治会での取り組みや成功・先進事例の紹介など情報提供していただきたい。	市民局	市では、町内会役員等を対象に関係課による各種補助事業の説明等を行う「コミュニティ研修会」、人材育成を目的とした「コミュニティ活動推進講座」のほか、町内会活動の実例や課題・問題点等をお互いに意見交換する「コミュニティ交流会」等を開催し、コミュニティ活動に関する情報提供等を行っているところである。今後とも機会を捉え、情報提供に努めてまいりたいと考えている。 ----- ※新市まちづくり計画 2個性創造都市／(8)コミュニティ／①コミュニティ ／35ページ	1
	156	1802	郡山	地域内で実施される各種イベントや催し物の情報が乏しくなった。何らかの方法で周知を図ることはできないか。	総務局	広く市民に広報すべき各種イベントや催し物については、市民のひろばをはじめ、市政広報テレビやラジオ番組などにより広報を行っている。今後ともタイムリーな市政情報の広報に努めていきたい。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
環境保全	157	1803	吉田	産業廃棄物の処分場で、会社が倒産し、ドラム缶が放置されているところがある。将来、ドラム缶が腐食して中身が流出する前に対策を取っていただきたい。	環境局	<p>廃棄物の適正処理について、継続的に指導しており、当該ドラム缶の適正処理についても今後指導していく。</p> <p>※新市まちづくり計画 3快適環境都市／(1)環境保全、一般廃棄物、産業廃棄物／36ページ</p>	1
	158	1804	吉田	吉田公民館に行くとチラシがたくさんありすぎると思う。市の広報紙で済まされるようなものもある。省資源の観点からも全体で統合できるものはないか。	環境局	<p>本市では、事務事業に伴って生じる環境負荷を低減するため、昨年度まで取り組んでいた率先行動計画に引き続き、今年度から新たにスタートした鹿児島市環境配慮率先行動計画の中で用紙類の削減についての行動項目を掲げ、全庁的に取り組んでいる。</p> <p>旧5町の職場についても、昨年度までは試行で取り組んでいたが、今回の計画から対象とし、省資源化の推進を図っている。</p>	1
	159	1802	郡山	不法投棄に対する市の具体的対応、取組みを示して欲しい。	環境局	<p>不法投棄防止対策としては、廃棄物監視指導員（4名）による監視パトロール、郵便局、鹿児島市森林組合からの情報提供、県警、関係機関との定期的な合同パトロールなどを実施し、不法投棄防止対策に取り組んでいる。</p>	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
環境保全	160	1802	郡山	スパランド裸楽良で環境フェスタ（リサイクルフェア、フリーマーケットなど）のような催しをして、多くの人を呼び込んではどうか。	環境局	環境フェスタは実行委員会において実施時期、場所等を検討することとしているが、環境未来館（仮称）開館以降は、環境未来館（仮称）での開催を予定している。	3
	161	1804	かご	みんなでまちを美しくする条例で定められた路上禁煙地区の範囲を全市的に広げるなどして、更なる禁煙強化を検討してほしい。	環境局	路上禁煙地区は、たばこの吸い殻の投棄防止を重点的に推進する必要がある場所を指定しているもので、禁煙の促進を目的とするものではないが、路上禁煙地区指定拡大に際しては、その必要性を踏まえ、関係通り会等と協議しながら進めることとしている。 ----- 新市まちづくり計画 3 快適環境都市 / (8) 環境衛生 / 41ページ	1
一般廃棄物	162	1805	吉田	今年からごみの分別方法が変わり燃やせるごみが多くなった。将来にわたって資源問題にも関わってくると思う。出るごみを出さないようにすることが大事なことである。そのため、スーパーで買い物をするときは自前の袋を持参して出かけるなど、市民一体となった取り組みが必要ではないか。推進機構など結成して、広報を通じて意識の改革を図りながらごみの減量化を進めることはできないか。	環境局	平成19年4月に施行される容器包装リサイクル法改正により、容器包装廃棄物の排出抑制について明文化され、具体的な取組みも例示されています。さらに、容器包装廃棄物の排出抑制にあたっては、国、自治体、事業者、消費者が連携協力を図りながら取り組むことが求められている。本市でも、スーパーがレジ袋の有料化を開始するなど、各事業者の自主的な取組みが既に始まっている。本市としても、レジ袋など容器包装廃棄物の削減に向けて、19年度からマイバッグ運動を展開するなど、事業者や消費者への広報啓発を通じて、ごみの減量化・資源化をさらに進めていきたいと考えている。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
一般廃棄物	163	1802	郡山	市民生活指標の中に市民1人当たりのごみ排出量の目標が掲げているが、具体的にどのような対策を考えているのか示して欲しい。	環境局	家庭ごみ対策としては ①分別収集の対策 ②生ごみの減量化・資源化の推進 ③粗大ごみの資源化の推進 ④発生抑制の推進 ⑤リユース・リサイクルの推進 事業所ごみ対策としては ①自己処理原則の徹底 ②事業所ごみの減量化・資源化の促進 を施策の柱と考えており、これらを実施することで目標を達成したいと考えている。	1
	164	1803	桜島	通行の支障となる公道にせり出した樹木、漁業（養殖業）に被害を与える流木や海に流れ込む農廃ビニールなどが問題になっているが、住民が樹木の枝払いや流木等を收拾した場合、処分に非常に困るので、ごみ焼却場跡地を利用して、農廃ビニールの仮置き、伐採した樹木や收拾した流木等を受け入れて、チップ処理により堆肥に利用するなど、リサイクル施設として活用してほしい。 また、農廃ビニール等の管理については、自己管理の徹底を呼びかけてほしい。	環境局	ごみ焼却場跡地については、現在休止しているが、国の補助を受けて整備した経緯があり、目的外での使用は困難であると考えている。	3
	165	1803	桜島	観光施設であるなぎさ遊歩道沿いに4m位の非常に大きな流木が大量に打ち上げられており、沖から見ると非常に見苦しい。また、漁協としても船などへの危険性があるので、漁協でクレーン船を出して撤去協力をしたが、その後の処分については鹿児島市の方ですぐ対応してほしい。	環境局	市民団体等がボランティアでまちの美化活動を行い、回収した廃棄物については、市が搬入手数料を減免のうえ、収集し、処分しているところである。 なお、横井埋立処分場は、2m以内の長さの木材であれば、受け入れ可能であるので、美化活動を実施する団体には、その長さに合うように、事前処理をお願いしているところである。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
一般廃棄物	166	1804	松元	松元地域には、町内会が借地料を支払って個人の土地に設置しているごみステーションがある。町内会の加入・未加入に関係なくごみを出せるように、ごみステーションの借上料を市が支払うなり、ごみステーションを市の所有にしたり、市が直接管理するなどできないか。	環境局	ごみは日々の生活から発生するものであり、市民一人一人がルールを守り、地域の清潔保持に努めることが必要なことから、ごみステーションについては、利用する地域の皆さんに管理していただいている。 現在のごみステーションの利用に不都合があれば、地域の皆さんで話し合っていただくことが原則であるが、必要に応じて市の清掃指導員も立ち会って助言等を行っていききたい。	3
産業廃棄物	167	1802	吉田	産業廃棄物処分場は、許可時点における状況と現況が違っているところはないものか。雨天時など汚水が流出する所などないものか。現地調査を行って指導を徹底してもらいたい。	環境局	産業廃棄物処分場については、随時の立入調査を行い、廃棄物処理法に基づいた施設の稼動状況及びマニフェスト交付状況、帳簿等の検査を実施しているところである。また、雨天時に汚水の流失がないように指導しているところであり、今後も施設への立入調査を行い指導を行っていききたい。	1
	168	1804	吉田	産業廃棄物処分場のドラム缶は野積みされた状態であるが、これが指導になるのか。腐食するので雨がからないようにすることなど適切な指導をしていただきたい。	環境局	ドラム缶を放置している関係事業者の代表者に対しては、これまで数回の指導を行っているところであり、同場所は、監視指導員による重点監視区域として監視しているところである。 今後もドラム缶の適正な処理及び保管について、引き続き指導、監視を行ってまいります。 ----- ※新市まちづくり計画 3快適環境都市／（1）環境保全、一般廃棄物、産業廃棄物	1
	169	1803	桜島	通行の支障となる公道にせり出した樹木、漁業（養殖業）に被害を与える流木や海に流れ込む農廃ビニールなどが問題になっているが、住民が樹木の枝払いや流木等を收拾した場合、処分に非常に困るので、ごみ焼却場跡地を利用して、農廃ビニールの仮置き、伐採した樹木や收拾した流木等を受け入れて、チップ処理により堆肥に利用するなど、リサイクル施設として活用してほしい。 また、農廃ビニール等の管理については、自己管理の徹底を呼びかけてほしい。	経済局	農業用廃プラスチック類は、産業廃棄物であり、処理については、法律に基づき、これらを使用し廃棄する農家自らの責任で正しく処理しなければならないことから、農事事務嘱託員を通じ、農業用廃プラスチック類の一斉回収のお知らせと併せて、全農家に対し指導啓発に努めているところである。また、関係機関で構成された鹿児島市園芸作物振興協議会が、地域ごとに農業用廃プラスチック類の一斉回収を行っている。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
産業廃棄物	170	1803	松元	四元地区の処理業者に多くの産業廃棄物は搬入されるのを見るが、周辺の水質に影響はないものか。	環境局	当該最終処分場については、市で年2回水質検査を行っており、基準値内の数値である。 ----- ※新市まちづくり計画 3快適環境都市／(1)環境保全、一般廃棄物、産業廃棄物／36ページ	1
	171	1803	松元	四元地区の処理業者に多くの産業廃棄物は搬入されるのを見るが、周辺の水質に影響はないものか。	環境局	松元地域においては、四元地区をはじめ河川等3地点で産業廃棄物処分場周辺環境調査を年2回実施しており、これまでの結果をしてみると、水質は良好で、産業廃棄物処分場による周辺水質への影響は見られない。 ----- ※新市まちづくり計画 3快適環境都市／(1)環境保全、一般廃棄物、産業廃棄物／36ページ	1
自然環境	172	1804	喜入	(227番に前置きの意見があります) マリンピア喜入、生見海水浴場、喜入の森は、地域内の活性化の核となり得る施設であるが、生見海水浴場は施設が老朽化しており、水洗トイレや海上いかだなど施設整備と人を呼ぶためのイベント開催が必要である。また、喜入の森については、市民農園を設けるとともに宿泊施設も充実してほしい。	建設局	喜入の森には、バンガロー10棟とテントサイト25張の宿泊施設を設置しており、4月1日から10月31日までオープンしている。今年度は、この期間に1,134人の利用があったところであり、今後とも利用者が快適に利用できるよう適切な管理に努めてまいりたい。 また、キャンプ施設の利用を促進するため、「市民のひろば」等への掲載やホームページの充実など情報発信に努めてまいりたい。	3
	173	1802	吉田	牟礼岡の遊歩道が開通したが、登山入口に駐車場が無く、道路脇に車を停めている。非常に危険で、通行にも支障をきたしているので駐車場の整備が必要である。	環境局	市が指定している自然遊歩道については、利用者専用の駐車場は整備していない。牟礼岡自然遊歩道については、現在、利用者が多いことから、行楽シーズンの週末や大型連休など、多くの来訪者が予想される日には、入口付近の土地所有者に対し、駐車場用地として一時的に利用させてもらうことを検討しているところである。	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのも、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
自然環境	174	1802	吉田	牟礼岡の遊歩道が開通し、多くの方が利用している。頂上から鹿児島や始良などを望む絶景は素晴らしいので、公園として整備はできないか。	建設局	都市公園は、都市公園法の基準等に基づき整備をしているが、牟礼岡の遊歩道については、この基準と照らした場合、地形上などの制約があることから、公園として整備することは困難である。	3
	175	1805	吉田	三重岳の遊歩道は皆与志町側からは整備されて利用されているが、吉田側からの遊歩道は吉田町時代に整備されたものの倒木などがあり、現在は登山禁止になっている。吉田側からの遊歩道も少し手を加えて改修すれば利用できると思うので、是非活かしてほしい。	環境局	本市では、小さなお子様からお年寄りまで、だれもが安全に自然とのふれあいを楽しめる市道や農道、登山道等を市の自然遊歩道に指定し、整備している。 吉田側から三重岳への登山道は、階段等の施設の老朽化が進んでいるだけでなく、傾斜がかなりきつく道幅も狭いなど、その地形からも安全に利用できる遊歩道とは言いがたい状態にあるため、自然遊歩道として指定していないところである。	1
	176	1802	郡山	河川への降り口がないという意見はこれまでも述べたが、8・6水害で甲突川は激甚災害の指定を受け、河頭、伊敷の辺りは非常にきれいになり、親水施設も整備されている。それに比べて郡山地域は鹿児島市の水がめ、水源であるのに、藪払いに降りるところもないので、是非、降り口を整備していただきたい。以前、要請した際に「管理者である県に要請していきたい。」旨の回答があったが、その後の市の要請や県の回答の状況も含めてご回答いただきたい。	建設局	河川管理者である県に、河川への昇降路（階段等）の設置について要請したところであるが、県からの回答は、「昇降路（階段等）の設置については新たに用地取得が必要なことから、要望箇所を設置可能であるか、今後とも検討していきたい。」とのことである。	4

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
自然環境	177	1804	郡山	郡山地域にも現在では使われていない里道などがあり、一定の整備をすれば自然遊歩道としてとてもいいコースになると思う。そういう工夫をしながら里山の資源を活かしていけないものか。	環境局	鹿児島市の自然環境を広く市民に紹介し、市民と自然とのふれあいを推進することにより、市民の自然保護意識の高揚を図ることを目的に、18年度から「自然ふれあい推進事業」を実施している。 各地域の里山の自然環境は、身近な自然と気軽にふれあうことができるスポットとして貴重であることから、今後、この事業の中で活用するため、情報収集及び調査検討をしていくこととしている。 ----- ※新市まちづくり計画 3 快適環境都市／(2) 自然環境、公園緑地、都市緑化	1
公園緑地	178	1801	喜入	都市公園リフレッシュ事業に含まれる「喜入の森 案内板設置」について、その表記については日本語のみか。英文も併記されるのか。	建設局	国土交通省所管の「わかりやすい道路案内標識に関する検討会」の提言などを踏まえ、英語併用表記の方向で関係機関と協議を行ない、対応してまいりたい。	1
	179	1803	松元	市営の高塚住宅をガーデンヒルズ松陽台に建て替えて、その跡地を公園として活用できないか。	建設局	高塚住宅は、ガーデンヒルズ松陽台に建て替えを計画しているところであるが、その跡地の活用については、今後検討してまいりたい。	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
公園緑地	180	1803	松元	松元せせらぎ広場の親水護岸にある階段は段差が大きく、子どもやお年寄りには危険なので、手すりを付けていただきたい。	建設局	河川管理者である県に対して、要請したところであるが、県からの回答は、「昇降路（階段等）での手すり等の設置については河川断面を阻害する要因になることから、要望箇所の設置は困難である。」とのことであった。	4
都市緑化	181	1801	かご	市電軌道敷の緑化について、芝生が傷むことが考えられるが、どのような対応をするのか。	建設局	鹿児島中央駅前電停の軌道敷内の芝生管理を通じて、考えられる芝生の損傷については、夏場の乾燥や電車利用者による踏圧などがある。 その中で、夏場の乾燥については、無降雨が2週間程度連続した場合は散水を行うことで、また、踏圧については、芝生表面の整地と砂の散布で対応できるものと考えている。	5
	182	1801	郡山	街路樹を植える際に、自分の好みの樹木を植えさせてもらえれば提供したいという声があるが、そういった対応はできないものか。	建設局	街路樹の選定については、地域の気候や風土に適した樹種で、植栽後の維持管理が容易な種類を選定している。自分の好みの樹木を植えさせてもらえれば提供したいという意見であるが、提供される樹木の大きさや種類の樹木が植栽されるとなると街路樹としての統一性や維持管理の煩雑など、又、樹木の所有権など多くの問題点があり、現実としては、難しいと考えている。	3
	183	1802	桜島	鹿児島島のパース通りはつつじの花がとても綺麗だというイメージがある。桜島の植栽も花が咲くように管理してほしい。	建設局	市道部分の街路樹のツツジ類の維持管理については、今後も適切な管理に努めてまいりたい。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
住	184	1804	桜島	これまで過疎対策として市営住宅の建設を強く要望してきたが、過去の回答で「17年度に旧5町の過疎化の懸念される地域について、現況調査を行う」とのことであったが、その結果と今後の桜島地域の市営住宅の建設の方向性を教えてほしい。	建設局	平成17年度は、旧5町の人口予測、市営住宅・県営住宅の管理戸数、小学校の児童数の推移等について現況調査を行った。 桜島地区の結果については、 ・人口は年々減少傾向にある ・旧5町の市営・県営住宅の全体管理戸数のうち、桜島地区の割合は4分の1程度である ・小学校の児童数は、平成7年からほぼ横ばいの状況であるなどの結果が得られている。 市営住宅の建設の方向性は、これらの結果を基に現在検討中である。 ----- ※新市まちづくり計画 3快適環境都市／(4)住宅、住環境／39ページ	2
	185	1805	桜島	既存集落現況調査事業の具体的な内容を詳しく教えてほしい。また、石川県の羽咋(はくい)市では、市が民間の空き家を利用して農村交流を行っており、桜島でも同じようなことが可能だと思うが、民間の空き家の現況を調べているのか伺いたい。	建設局	既存集落現況調査事業は、旧5町域において「既存集落の活性化のための市営住宅の建設」の可能性について検討するものである。 17年度は、旧5町の既存集落について、市営住宅・県営住宅の管理戸数、小学校の児童数の推移等の現況調査を行い、18年度はその結果を分析し、基本方針の作成を行っている。 また、民間の空き家の現況については、住宅課としては、調査していないところである。 ----- 新市まちづくり計画 3快適環境都市／(4)住宅	5

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
生活道路	188	1803	喜入	(246番に前置きの意見があります) 国道226号のバイパス道路として、農免道路や平川動物公園付近を通過してJRの五位野駅付近に通じるような新しい道路はできないか。 バイパス道路を中心とした道路交通網ができると、災害発生時に国道が不通になった場合の迂回路になるほか、市の中心部から離れている喜入地域との時間的距離が縮まるなど大きな効果が見込まれると考えられる。具体的には、農家が渋滞にまきこまれずに新鮮な作物を早く市場に届けられることができ、また、通勤時間の短縮をもたらすことにつながることから、喜入地域の人口が増加するなど活性化につながるのではないか。	建設局	谷山地域と喜入地域を結ぶ道路網の整備については、新市の速やかな一体化と均衡ある発展や、より安全で円滑な交通の確保を図る観点から、特に強化を図る必要のある幹線市道として、平川動物公園付近から県道谷山知覧線を結ぶ新設路線を、平成17年度に策定した『幹線道路整備計画』に位置付けたところである。 平成18年度においては、現況調査やルート案の選定を含めた概略設計を行っているところである。整備にあたっては、関係機関や関係権利者等の協力が不可欠であることから、今後、計画ルートを踏まえ、関係者のご意見を伺いながら、事業化に向けて取り組んでまいりたい。	1
	189	1803	喜入	(246番に前置きの意見があります) 各校区から農免道路に直通できるような市道の整備が必要である。	建設局	各校区から農免道路に直通できるような市道の整備については、現在農免道路に接続している主な市道を中心に逐次拡幅及び整備を進めてまいりたい。	2
	190	1802	吉田	吉田地域の生活道路の未整備部分に係る予算については、今後も獲得していただきたい。	建設局	道路等の整備については、これまでも地域内の整備状況を考慮して計画的に実施しているところであり、今後も整備推進を図ってまいりたい。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
生活道路	191	1801	郡山	地域内の道路沿いには無人販売所が多いが、中には壊れたものや全く使用していないものが放置されている状況もある。また駐車スペースがなく、危険な販売所も見受けられるが、これらは安全上や景観上、何らかの規制が必要ではないか。	建設局	市道沿線において、道路敷地内にある販売所については撤去をお願いしてまいりたい。	5
	192	1805	桜島	宅地周辺の道路でも側溝に蓋のない箇所が多くあるが、安全面、道路の有効活用や幅員の確保という面から、側溝蓋は必要なので設置を進めてほしい。	建設局	住宅地内はほとんど蓋を設置している。一部幅員の広い道路で設置していない箇所もあることから、交通量等の推移を見ながら順次設置していく。	2
	193	1805	桜島	海岸線沿いにアコウの木が多くあるが、年に2回ほど落葉をする。地域住民でも月1回奉仕作業を実施しているが、道路管理者である県でも落ち葉の処理をしていただけるよう市から要請してほしい。	建設局	路面清掃車による清掃を県に要請していく。	4
	194	1805	桜島	県道の歩道部分は、段差が非常に激しく、舗装もでこぼこが多く、自転車等で走りづらいことから、県道の舗装部分の改良について県に要請してほしい。	建設局	段差改修と不良箇所の舗装補修を県に要請していく。	4

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
生活道路	195	1801	松元	松元は霧の発生が多く、松元I・C入り口付近は視界が悪くなるので、事故防止のための道路照明灯を設置する必要がある。	建設局	県道小山田谷山線は鹿児島県の管轄であるので、今回出された意見を県へお伝えしたい。 ----- ※新市まちづくり計画／(3)交通安全／①交通安全 21ページ	4
	196	1802	松元	春山地域の宅地造成に伴う住宅建設等により流域、流量の変化に対応できる排水機能の高い側溝の整備を図る必要がある。	建設局	市道の側溝の整備については、地元からの要望等も踏まえ計画的に整備を進めており、今後も安全快適な道路環境の整備に努めてまいりたい。	1
	197	1803	松元	松元ダムについては、今後、ダム湖周辺に遊歩道を整備して親水公園とするようなことも聞いているが、ダム湖の水質が汚濁しないように配慮しながら、ダムに通じる周辺道路の整備を行うとともに、観光面の発展にもつながるような活用策を考えていただきたい。	建設局	ダムに通じる市道直木高田線については、平成17年度から県道永吉入佐鹿児島線側から整備中である。一部狭隘な区間もあるので、引き続き整備推進に努めてまいりたい。 ----- ※新市まちづくり計画 3快適環境都市／(5)生活道路／39ページ	1
	198	1803	松元	県道鹿児島市来線と市道松陽台春山線の交差点近くに段差があり危険である。段差解消の整備を行うなど、何らかの対策を講じてほしい。	建設局	ご指摘の意見については、現状を把握し、今後対策を講じてまいりたい。	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
生活道路	199	1803	松元	県道鹿児島東市来線の松元消防分遣隊近くに歩道が設置されていないところがある。用地交渉などで難しい面もあろうかと思うが、高齢者や自転車通学生などに危険が及ばないよう、歩道整備に向けて早期の対応をお願いしたい。	建設局	県道の未改良区間について県に確認したところ、「地元の理解が得られていないことから、今後とも引き続きご理解がいただけるよう努めていく。」とのことであった。	4
	200	1804	松元	交通事故防止や交通の円滑化を図るため、県道谷山小山田線の仁田尾方面から石谷小学校方面に左折する交差点に左折車線を建設してほしい。また、左折進入する接続道路を拡幅してほしい。	建設局	県へ要望書も提出されており、今回の意見をあらためて県へお伝えしたい。	4
水道	201	1801	喜入	以前、浄水場で「旧5町の水道は簡易水道であるから、水道の安全基準が（市とは）異なる」と聞いたことがあるが、現在はどうなのか。また、多額の予算措置がなされているが、その内容はどのようなものか。	水道局	水道施設の安全基準については、国で定められた基準があることから、簡易水道と水道事業で異なることはない。しかし、旧5町の水道施設は旧鹿児島市の水道施設と比べて施設水準に格差があることから、水準格差を解消するための予算措置を行っている。 平成18年度の喜入地域における整備内容としては、消毒設備の予備機の設置、水質監視設備の新設、流量計等の計測設備の新設等を行うこととしている。 ※新市まちづくり計画 3快適環境都市／（6）水道／①水道／40ページ	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
水 道	202	1801	郡山	郡山地域は非常に水のきれいなところなので、水道のカルキは鹿児島市の基準ではなく、入れる量を加減してほしい。	水道局	水道水の消毒は給水栓で残留塩素が0.1mg/l以上保持されるように水道法によって決められているので、適正な注入となるよう管理しているところである。 ※新市まちづくり計画 3 快適環境都市／(6) 水道／①水道／40ページ	5
	203	1802	松元	飲料水については、生活に必要不可欠なものであることから、平田・内田地区の飲料水供給施設の早期公営化を図る必要がある。	環境局	平田地区・内田上地区の飲料水供給施設については、地元と協議を行い、公営化について検討を進めてまいりたい。 ※新市まちづくり計画 3 快適環境都市／(6) 水道／①水道／40ページ	1
汚水対策	204	1802	松元	水質汚濁防止を図るため、浄化槽の普及推進と適切な維持管理を推進する必要がある。	環境局	合併処理浄化槽の設置を促進するために、浄化槽を設置するものに補助金を交付するとともに、保守点検業者や設置者に対する指導を実施しているところである。 ※新市まちづくり計画 3 快適環境都市／(7) 汚水対策／②浄化槽・し尿／41ページ	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
環境衛生	205	1802	吉田	吉田運動場の駐車場に、犬小屋が置かれそこで野良猫にエサをやる人達がいる。猫は10数匹いると思われるが、夜、下の団地におりてきて困る。市の運動施設の敷地内でもあるので撤去して、市民が気持ちよく利用できるようにしてもらいたい。	健康福祉局	犬、猫などの家庭用動物の飼養については、動物の愛護及び管理に関する法律により、飼養者等は、周辺環境に応じた適正な飼養及び保管を行い、人に迷惑を及ぼすことのないよう努めることとされている。 野良猫や捨て猫の原因としては、飼い主の飼養責任の放棄などが考えられるので、保健所では、猫の飼養者等へ対して、 ・市民のひろば等の広報紙への啓発文の掲載 ・町内会等への啓発チラシの回覧 ・飼養者等への直接指導 等、機会を捉えて屋内飼養、繁殖制限等による適正な頭数の飼養に努めるなど、野良猫や捨て猫が増えないよう飼い方等のマナー・モラルの広報、啓発を行っている。また、野良猫については法的規制はないが、野良猫に給餌のみを行い、糞等の後始末を行わず近隣に迷惑をかけている方々へ対しては、周辺住民の日常生活に支障のないよう指導・啓発を行うとともに、地域住民の方々へ啓発チラシの回覧等を行い、ご協力をお願いしている。今後も、飼い主の方々や市民の皆様への動物愛護、飼養上のマナーの向上について、広報、啓発に努めていきたい。	1
	206	1802	吉田	狂犬病の予防注射は、法律に基づいて毎年実施されるが、市では年1回しか実施されない。旧町時代は脱漏の実施も行っていたが、市でも実施できないか。	健康福祉局	鹿児島市が実施する狂犬病予防注射（集合注射）は、狂犬病予防法で定められた年1回の定期予防注射期間である4月1日～6月30日の期間中に実施している。期間中は市内の公民館や公園等に会場を設け、どの会場でも予防注射を受けられるようにしており、また市内の市獣医師会会員の動物病院でもこの期間中の注射料金は同額で予防注射が受けられるようになっている。なお、集合注射期間中に予防注射を受けられなかった場合には、年間を通して狂犬病予防注射を実施している市獣医師会会員の動物病院での接種をお願いしている。	3

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
環境衛生	207	1803	吉田	現在共働きの人が多く、昼間、狂犬病予防注射を受けることができない人も多いが、予防接種の義務、予防接種の必要性など十分に啓発してほしい。	健康福祉局	市が実施する狂犬病予防の注射は、狂犬病予防法に定められた4月1日～6月30日の期間中に、市内の公民館や公園等に会場を設け、どの会場でも予防注射を受けられるようにし、日曜日も実施している。また、この期間中は、市内の市獣医師会会員の動物病院でも注射料金については同額で予防注射が受けられるようになっている。 なお、狂犬病の発生等を防止するため、市内の市獣医師会会員の動物病院では年間を通して狂犬病予防注射を実施しているので、ご都合やご事情で予防注射を受けられない場合には、ご利用いただきたいと考えている。 犬の所有者へ対する予防接種の義務、必要性の周知、啓発については、 ・犬の所有者へ狂犬病予防注射実施の通知 ・啓発用リーフレットの配布 ・市民のひろば等の広報紙への掲載 ・市ホームページへの掲載 ・広報車による広報等を実施しているが、今後ともより一層の啓発に努めてまいりたい。	1
	208	1804	吉田	狂犬病予防法には罰則があるのか。未登録を含め、予防注射を受けていない頭数がかかなりあると思うので、実態調査をして漏れのないようにしていただきたい。	健康福祉局	狂犬病予防法で、犬の所有者は、犬の登録と毎年一回の狂犬病予防注射を受けることが定められており、行わなかった者は法に基づく罰則が定められている。 保健所では、犬の登録や狂犬病予防注射について、飼い主への周知、啓発として、 ・市民のひろば等の広報紙への掲載 ・市ホームページへの掲載 ・定期予防注射（集合注射）の案内通知等を行うとともに、 ・市内の公園や公民館等で行う集合注射会場（4月～6月） ・市獣医師会会員の動物病院（通年）等で、登録や狂犬病予防注射を実施している。 また、苦情や相談等の際、犬の登録や狂犬病予防注射の未実施が判明した場合には、飼い主等へ直接指導を行うとともに、葉書による催告を行っている。 今後も、あらゆる機会を捉えて、犬の登録と狂犬病予防注射の実施の周知、啓発に努めてまいりたい。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
環境衛生	209	1804	吉田	牟礼岡団地に空家が増え雑草が茂っている。子供たちが入って溜まり場になったり、火遊びをしたりしないように、行政から持ち主に管理について指導を行ってほしい。	環境局	空地の雑草除去等については、衛生害虫の発生やゴミの不法投棄、火災や犯罪の発生原因となることから、「空き地の雑草等の除去に関する要綱」に基づき、土地の所有者・管理者に対して、適正管理について指導・勧告を行っている。相談につきましては、(旧5町)各支所総務市民課・環境衛生課にご相談いただきたい。	1
	210	1804	吉田	牟礼岡団地に空家が増え雑草が茂っている。子供たちが入って溜まり場になったり、火遊びをしたりしないように、行政から持ち主に管理について指導を行ってほしい。	建設局	老朽化が進み管理がなされていない空家については、建物所有者に適切な管理を行うよう文書を送付している。具体的な建物の場所を示していただければ、現場調査を行い対応したい。	1
	211	1804	吉田	牟礼岡団地に空家が増え雑草が茂っている。子供たちが入って溜まり場になったり、火遊びをしたりしないように、行政から持ち主に管理について指導を行ってほしい。	消防局	消防局においては、火災予防上の観点から毎年11月から12月にかけて、空地や空家の防火管理状況について実態調査を行い、火災予防上必要な箇所については、関係部局とも連携し、所有者等に対し敷地内の枯れ草の刈り取りや空家の施錠措置などについて指導を行っている。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
環境衛生	212	1805	吉田	狂犬病の予防接種受診率は全国で75%といわれている。鹿児島市の実態はどうなっているか。この病気は致死率100%であり、発生してからは遅いのもう一步踏み込んだ対策をしていただきたい。	健康福祉局	鹿児島市内の犬の狂犬病予防注射の実施率は、平成16年度は約75%、平成17年度は約72%となっている。 保健所では、犬の飼い主に対し、 ・定期予防注射(集合注射)実施の案内通知及び催告通知 ・啓発用リーフレットの配布 ・市民のひろば等の広報紙、ホームページを利用した周知、啓発 ・予防注射等未実施の飼い主判明時の直接指導等を行い、狂犬病予防注射の実施を求めている。 また、集合注射会場を利用できない飼い主の方々に対しては、動物病院での狂犬病予防注射の実施の案内を行っている。 なお、昨年11月の海外旅行者による狂犬病発生に際し、 ・市民のひろば等の広報紙 ・市ホームページ 等へ緊急情報を掲載するとともに、犬の登録や狂犬病予防注射の周知、啓発を行ったところである。 登録や狂犬病予防注射の未実施については、飼い主への直接指導や周知、広報をさらに強化し、狂犬病予防注射等の実施率の向上に努めていく。	1
	213	1805	吉田	牟礼岡団地の空家の雑草除去をしていただいたが、草刈りをした後、草の持ち出しをせず庭に積んだまま、さらに庭木も切ってその枝も積上げてある。子供が火遊びをして火事が起きないように、今後は草刈をしたら必ず整理までするような指導をしていただきたい。	環境局	『空き地管理指導について』 空き地に関する相談については、現地調査を行うとともに、法務局調査等において当該土地の所有者・管理者を特定し、その土地の適正管理について指導・勧告を行っている。 また、草刈後の管理不良で、衛生害虫の発生や、火災等が発生するおそれがあるときは、関係部局と連携を図りながら、指導を行っている。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
環境衛生	214	1802	松元	道路路肩や公園など犬のふんの放置状態が多く、飼い主のマナーについて、何らかの新しい対策等で啓発する必要がある。	健康福祉局	ふんの放置等の防止については、従来より、 ・狂犬病予防注射時に犬のしつけ、飼い方用リーフレットの配布 ・「市民のひろば」等の広報紙、ホームページへ啓発文の掲載 ・広報車による広報 ・犬のしつけ、飼い方教室の開催 ・町内会等への啓発チラシの配布 ・ふん放置禁止の看板の配布 ・苦情が寄せられたときの飼い主への直接指導等を行い、犬の飼養者のマナーやモラルの向上を図っている。 今後もあらゆる機会を捉えて、飼い犬のふんの適正処理等の指導、啓発を行ない、飼養上のマナーやモラルの向上を図ってまいりたい。	1
	215	1802	松元	道路路肩や公園など犬のふんの放置状態が多く、飼い主のマナーについて、何らかの新しい対策等で啓発する必要がある。	環境局	飼い犬のふんの放置等の防止については、現在、まち美化推進指導員により市内全域における巡回パトロールを週4日(土・日曜日を含む)実施し、指導にあっている。 また、昨年8月よりポイ捨てや飼い犬のふんの放置多発地区について、市内の全町内会を対象に一斉調査を実施し、調査結果を基に指導員を現場に派遣し、調査指導を行っている。 なお、条例の趣旨に基づき、「自分たちのまちは自分たちの手で美しくしたい」と自発的に考えておられる市民の皆さんを地域指導員に任命し、行政と連携しながら地域で条例違反者などに対する指導業務を行う「まち美化地域指導員」制度の創設を今年度中に予定している。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
土地 利 用	216	1804	吉田	吉田地域のまちづくりについて、九州自動車道の薩摩吉田インターと始良インターを生かしたまちづくりを考えてほしい。	企画部	吉田地域は、九州縦貫自動車道の薩摩吉田及び始良の両インターに近接するなど、都心部と鹿児島空港や県北部とを結ぶ幹線道路を有している。また、県の教育・研修施設や吉田多目的屋内運動場、吉田文化体育センターなどの文化・体育施設に加え、豊かな自然や温泉などの地域資源も充実している。このようなことから、交通の要衝としての立地の良さや多様な地域資源を生かし、スポーツ・レクリエーションの振興を図るとともに、都市部住民と農村地域との交流の促進を図り、にぎわい溢れるまちづくりに努めてまいりたい。	2
	217	1804	吉田	吉田校区では、農振地域に指定されていることから、住宅の建築が制限され、過疎化が進んでいる。また、将来、農振地域の指定が除外されることを期待していたが、逆に農振地域が拡大すると伺った。地域の活性化のためには、農振地域の指定を見直してほしい。	経済局	農業振興地域は、農業の振興、農村の整備のため指定されております。さらに農業振興地域の中に土地改良事業等を行った田畑や、広がりのある農地を農用地区域として定め、住宅建築など他の用途への利用を制限しております。農用地からの除外については、除外条件に照らしあわせ、除外可能であれば個別に対応してまいりたいと考えております。	1
	218	1803	松元	県茶業指導農場跡地の「まつもとフレッシュ館お茶畑」や上谷口地区の「松元特産品直売所」のような地元特産物の販売施設をさらに充実させるとともに、石谷小学校区と東昌小学校区にも同様の施設をつくらせて、地域の活性化につなげてほしい。	経済局	既存の販売施設の管理・運営は、地元の農業者団体により自主的になされているところである。同様の施設の設置については、地元の農業者団体が自ら設置・管理・運営を行う意向である場合には、国・県の補助事業を活用する方法等により検討してまいりたいと考えている。	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
土地利用	219	1803	松元	県茶業指導農場跡地にコミュニティセンターのようなものができると聞いたが、地域住民のふれあいの場となるとともに、子どもの遊び場などもある広域公園のような活用策も考えてほしい。	企画部	県茶業指導農場跡地については、昨年度策定した改訂第四次総合計画及び実施計画において、平成20年度を目途に活用策の検討を行うこととなっている。 検討にあたっては、平野岡運動公園や「まつもとフレッシュ館お茶畑」の利用状況も踏まえ、有効な活用策を検討したいと考えている。 今回のご意見も地域からの貴重な提案の一つとして検討してまいりたい。 ----- ※新市まちづくり計画 4交流拠点都市／（1）土地利用／43ページ	2
	220	1804	松元	四元工業団地については、積極的にPRを行い、周辺地域で生産された農産物を加工する企業を誘致するなど、活用策を進めていただきたい。	経済局	合併協議会の調整方針で、四元工業団地については、「当初計画にこだわらず、長期的・総合的な視野に立って、新たな活用策を検討する。」とされており、現状は市有林としている。 本市は、食料品関連の製造業の誘致にも取り組んでいこうとしているところであるが、四元工業団地は未造成であり、造成等に多額の費用を要することから、現状では積極的なPRは行い難く、その活用策については多面的に検討していきたい。 ----- ※合併協定項目 （45）商工・観光関係事業／5 企業誘致の推進（工業団地） 「喜入町の一倉工業団地及び松元町の四元工業団地については、当初計画にこだわらず、長期的・総合的な視野に立って、新たな活用策を検討する。」	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
土地利用	221	1804	松元	県茶業指導農場跡地については、大型観光バスを乗り入れられるようして、観光客が食事や休憩をとりながら地域の特産物を購入できるような施設を整備できないか。	企画部	平成17年度策定した改訂第四次総合計画及び実施計画において、20年度を目途に当該地の活用策の検討を行うこととしており、現時点における具体的な活用策は決まっていないところである。 現在設置してある「まつもとフレッシュ館お茶畑」の利用状況も踏まえ、有効な施設等、活用策を検討したいと考えており、今回のご意見も地域からの貴重な提案の一つとして、参考にさせていただきたい。 ----- ※新市まちづくり計画 4 交流拠点都市 / (1) 土地利用 / 43ページ	2
市街地整備	222	1803	かご	鹿児島駅から城山や磯方面までは、短区間なのに踏切数が多く、渋滞の発生や市街化構築の支障になっているので、高架にする等の改良を行って交通の円滑化を図り、都市開発についても配慮をしてほしい。	建設局	鹿児島駅周辺における鉄道の高架化については、現在、県において検討を進めている。これと連携し、本市においても交通混雑の解消と地域の一体的まちづくりを実現するため、区画整理事業等の検討を行っているところである。 また、磯地区の交通渋滞の緩和については、国道10号鹿児島北バイパスの整備促進を図るため、県市長会等を通して、国に対して要望活動を行っている。 ----- ※新市まちづくり計画 Vまちづくり計画 4 機能的で多彩な交流が広がるまち〔交流拠点都市〕 (2) 市街地整備 (44ページ) (5) 交通体系 (48ページ)	1
	223	1803	吉田	親の介護をしながら車椅子で散歩や買い物に出かけるが、側溝に蓋がないために溝に落ちたり、グレーチングにタイヤがはまったり、段差のある所など大変である。障害者や車椅子が楽に通れるような道路の整備をしてほしい。	建設局	歩道における段差等については、「市道バリアフリー計画」に基づき、年次計画に沿って、段差解消等を推進してまいりたい。また、グレーチングの目幅の広いもの及び、側溝の蓋の隙間が大きなものについても定期的に点検し、随時交換してまいりたい。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
市街地整備	224	1804	吉田	近年、大原地区ではアパートや住宅が増加しており、生活道路の拡幅や下水道の整備などが必要に迫られているので、区画整理を実施していただきたい。	建設局	大原地区の市道については、17年度から、側溝整備事業により、整備に取り組んでいるところである。生活道路の拡幅について、地元の皆様の協力が不可欠であることから、ご理解が得られれば、今後、検討してまいりたいと考えている。なお、現在のところ、市施行での土地区画整理事業は予定していないところである。	3
	225	1803	郡山	郡山中央地区土地区画整理事業は、合併前は20年度完成という計画で進めてきたが、合併後、この完成時期についての見直しがなされたのか。	建設局	施行期間については、平成20年度までとしていたが、17年度末の進捗率が事業費ベースで46.2%であることから、施行期間内の概成が困難となったため、施行期間を26年度までとすることについて、現在、国・県と協議中である。 ----- ※新市まちづくり計画 4 交通拠点都市／（2）市街地整備／44ページ	5
	226	1803	郡山	区画整理によって通学路が広がるということは聞いているが、現状は非常に危険な箇所が見受けられる。特に郡山ショップの前辺りは、両方から大型のトレーラーが来たり、JRバスも曲がる箇所である。交差点を減速せずに走っていく車も多く、いつ事故が起こっても不思議ではない。この県道を優先的に事業を進めるとともに、子どもたちが通れる歩道を仮にでも造っていただきたい。	建設局	指摘の道路は県道伊集院蒲生溝辺線の一部であるが、都市計画道路「松尾城線」として区画整理事業で整備し、両側にそれぞれ4mの歩道を整備する計画である。本年度も、一部区間で歩道整備を行う予定である。また、家屋が移転した宅地等については、仮歩道を設置する予定である。 ----- ※新市まちづくり計画 4 交通拠点都市／（2）市街地整備／44ページ	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
農村地域整備	227	1804	喜入	<p>喜入地域の農業・観光振興を図るためには、農村部と都市部住民との交流、農業体験等を進めることによって農村地域の活性化を図ることと、実施にあたっては、生見海水浴場や喜入の森等を整備して連携を図り面的な広がりをもたせることで地域が元気になれる方策が必要である。具体的には、都市部住民が土日一倉の休耕地を耕作して喜入の森のバンガローに泊まって翌日は生見海水浴場で海を楽しみ、その後マリニア喜入の温泉を利用するといった地域全体にかかる構想の中で市民を呼び込むことが必要である。また、グリーン・ツーリズムの導入により地域に都市部住民を呼ぶにあたって大切なことは、喜入地域の特性を生かしたグリーン・ツーリズムを創り出すことと、地域で担い手となる人や組織の支援・育成を通じた受け入れ体制の確立である。</p> <p>(97, 172, 228, 229, 242, 312番の意見等の前置きです)</p> <p>以上を踏まえ、次の提言を行いたい。 都市部と農村地域の交流（グリーン・ツーリズム）の推進にあたっては、市が今後取り組む様々な施策について、積極的に集落（町内会）・市民に情報提供を行い、地域住民の理解を深めることが大切である。</p>	経済局	<p>情報発信としては、「グリーン・ツーリズムマップ」の発行やホームページの開設に取り組んでいるところである。今後は、市民のひろばの活用についても検討してまいりたい。</p>	1
	228	1804	喜入	<p>(227番に前置きの意見があります)</p> <p>マリニア喜入、生見海水浴場、喜入の森は、地域内の活性化の核となり得る施設であるが、生見海水浴場は施設が老朽化しており、水洗トイレや海上いかなだなど施設整備と人を呼ぶためのイベント開催が必要である。また、喜入の森については、市民農園を設けるとともに宿泊施設も充実してほしい。</p>	経済局	<p>市民農園は、都市部住民等の農作業による健康づくりや高齢者の生きがいづくり、家族がともに土にふれあう喜びなどに、大きな役割を果たしている。喜入の森への市民農園の整備については、喜入の森周辺の遊休農地を有効利用できないものか、農地所有者の意向や市民ニーズを踏まえ、今後検討してまいりたいと考えている。</p>	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
農村地域整備	229	1804	喜入	(227番に前置きの意見があります) 農業体験の指導者を含めグリーン・ツーリズムの担い手となる人や組織について、行政が支援・育成していくことも必要である。特に、人と人の連携を図ることのできるコーディネーターを育て、さらにその人が中心になって地域住民に勉強会を開くことも必要である。	経済局	地域リーダーについては、研修会や先進地研修を開催しているところである。 今後は、グリーン・ツーリズムを指導できる人材の育成など、支援の方法について検討してまいりたい。	1
	230	1805	吉田	旧鹿児島市内の人が吉田地域内に来て「自然が美しい」とか「空気がきれい」とか言いながら散策をして田んぼの土手で弁当を食べている光景をよく目にする。農村地域の自然の姿をそのまま残して、人が足を運ぶこのことがグリーンツーリズムになると思う。地域内にある牧神や白銀坂などの歴史的なものの周遊を含め、積極的にPRする必要がある。人がひとりでもくれば活性化になると思うので是非、グリーンツーリズム活動を推進してほしい。	経済局	地域の特性を生かしたグリーン・ツーリズムを推進するため、埋もれたグリーン・ツーリズム資源調査を行うとともに、グリーン・ツーリズムマップの発行やホームページを使って情報の発信に努めてまいりたい。 ----- 新市まちづくり計画 4交流拠点都市 / (3)農村地域整備 / 45ページ 5産業活力都市 / (2)観光コンベンション / 51ページ	1
	231	1802	郡山	八重の棚田の農業体験が先般実施され、新聞等でも報道された。八重の棚田は明治初期に作られた石積みの非常に綺麗な郡山の地域資源であり、ゆくゆくは棚田オーナー制に持っていかばどうかという提言があるが、昔は棚田が今の3倍くらいあったということで、現在、その田んぼが遊休・荒廃している。これをオーナー制に復帰させるためにはかなり大きな初期投資が必要になる。基本的には地域の方々が主体的に取り組まれるとは思いますが、行政からも何らかの助成をお願いしたい。	経済局	本年度は10月に全国棚田サミットが宮崎県日南市で行われ、オーナー制度をはじめ、棚田に関する研修会や情報交換会が開催される予定であることから、八重地区棚田保全委員会の方々が参加できるように助成を行うこととしている。また、オーナー制度の導入については、地域の方々の意見を踏まえ、助成等について検討してまいりたい。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
農村地域整備	232	1802	郡山	川田のゲートボール場用地、里岳の積水用地については、民間の土地だから民間で対応するというのではなく、行政の方でもある程度積極的に関わって、地域活性化のために活用して欲しい。	経済局	積水樹脂㈱が所有している里岳工業団地は、本市内にある工場立地候補地として貴重な財産であると認識している。所有者である積水樹脂㈱の意向を伺いながら、本市の地域活性化につながる活用策を検討してまいりたいと考えている。	4
	233	1804	郡山	郡山地域では、市民が誰でも参加できるイベントが数多く開催されているが、おそらく郡山地域の住民でも何処でどういう催しが行われているか分からない人が多いと思うし、ましてや広く市民がこれらの情報を得る手段はほとんどないと思う。こういった情報を集めて、市の広報紙等を含めて様々な形で情報を発信していただきたい。	市民局	市としての広報や情報発信の手段としては、「市民のひろば」やホームページ等があるが、特定の地域に関する情報発信は市主催のイベント等に限られているのが現状である。今後、どのような形で地域情報の発信ができるか検討してまいりたい。	2
	234	1803	桜島	今後、遊休地や廃園を利用した、観光農園やオーナー制度などのグリーンツーリズムが展開されると思うが、実際に農業や漁業を営んでいる方は日常の業務で手一杯の面もあり、行政がリードしていく必要があると思うので、専任の人員の配置などグリーンツーリズムを推進する体制を整えて取り組んでほしい。	経済局	研修会等を通して推進リーダーの育成や専門的知識を持った人材の活用を図るとともに、地域の特色を生かした交流を推進するため、地域内で実践している方々が互いに連携する組織づくりを支援し、推進体制づくりに努めてまいりたい。	1
	235	1805	桜島	既存集落現況調査事業の具体的な内容を詳しく教えてほしい。また、石川県の羽咋(はくい)市では、市が民間の空き家を利用して農村交流を行っており、桜島でも同じようなことが可能だと思うが、民間の空き家の現況を調べているのか伺いたい。	経済局	特に空家調査は行っていないが、農家自身が農家民宿を開業するための研修会を行う中で、民家の空家を利用した農村交流について、事例を照会しているところである。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
農村地域整備	236	1805	桜島	桜島では、イノシシやキジが相当捕獲されるが、地元の特産品という形でグリーンツーリズムでの活用を検討してほしい。また、グリーンツーリズムの研修会において、宿泊する場所と食事する場所を分離する「食泊分離」という方法が実施しやすいという話があったが、桜島でも、宿泊は農家で受け入れ、例えば、食事は火の島めぐみ館、加工は旬彩館等という形で連携すれば、農家宿泊体験も十分可能ではないかと思う。その中で桜島のイノシシは、カニを食べていないから美味しいということであり、火の島とイノシシをかけて「ヒノシシ」とネーミングするなどすれば、桜島の貴重なブランドになりえると思うので、ぜひグリーンツーリズムでの活用を検討してほしい。	経済局	地域の特性を生かしたグリーン・ツーリズムを推進するため、地域内で実践している活動団体が自主的に連携する組織づくりを支援することとしているが、その中で、地域の特色を生かした商品づくり等も協議されるものと期待している。 ----- 新市まちづくり計画 4交流拠点都市 / (3)農村地域整備 / 45ページ 5産業活力都市 / (2)観光コンベンション / 51ページ	1
	237	1802	松元	高齢者の活躍のできる場として、4小学校区に都市と農村との交流拠点の場を作ってほしい。	経済局	都市と農村との交流を進める有効な手段として市民農園の設置があるが、今後、所有者の意向や設置場所、運営方法、利用者ニーズなどを踏まえ、検討してまいりたい。	1
	238	1803	松元	松元ダムについては、今後、ダム湖周辺に遊歩道を整備して親水公園とするようなことも聞いているが、ダム湖の水質が汚濁しないように配慮しながら、ダムに通じる周辺道路の整備を行うとともに、観光面の発展にもつながるような活用策を考えていただきたい。	経済局	ダム湖周辺については、平成17年度から県営地域用水環境整備事業により、遊歩道を兼ねた管理道路の設置に取り組んでいるとともに、自然を残した親水・景観施設の一つとして、ダム湖に流入する水の水質を浄化するための棚田復元を計画している。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
農村地域整備	239	1804	松元	松元地域の北部地区は基盤整備等の事業が実施されてからかなりの期間が経過している。今後、この地区の未改良農道等の整備を行うなど、農山村活性化を積極的に進めてほしい。	経済局	石谷地区の農村活性化については、これまで基盤整備事業や農村総合整備事業等により、生産基盤・環境基盤の整備を実施してきたところである。また、現在、中山間地域総合整備事業により農地造成や集落道路等の整備を計画中である。今後、新たな事業導入については、地元の皆さんの意見を伺いながらハード面・ソフト面から地域の活性化の支援に努めてまいりたい。 ※新市まちづくり計画 4. 機能的で多彩な交流が広がるまち/（3）農村地域整備/45ページ	1
	240	1804	松元	地域の魅力を広く市民に知ってもらうためにも、松元地域の南部地区に市民農園を増設できないか。	経済局	市民農園は、都市部住民等の農作業による健康づくりや高齢者の生きがいづくり、家族がともに土にふれあう喜びなどに、大きな役割を果たしている。松元地域の南部地区への市民農園の整備については、周辺の遊休農地を有効利用できないものか、農地所有者の意向や市民ニーズを踏まえ、今後検討してまいりたい。	2
フウ オ ロ ー ン タ ー	241	1801	喜入	生見海水浴場の整備について、県との協議は必要な事項であると思うが、ぜひ市としてもプロジェクトみたいなものをつくって取り組んでいただきたい。	教育委員会	生見海水浴場については、多くの市民の方々の憩いの場、健康づくりの場として利用していただくために、水質検査やトイレ・脱衣所等の環境整備に取り組んでまいりたい。平成18年度は、生見海水浴場の整備について検討するため、水質・潮流等の環境調査等を行うこととしている。プロジェクトについては、調査結果を踏まえた上で、その必要性について検討して参りたい。 ※新市まちづくり計画 4 交流拠点都市/（4）ウォーターフロント/46ページ	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのも、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
ウォーターフロント	242	1804	喜入	(227番に前置きの意見があります) マリニピア喜入、生見海水浴場、喜入の森は、地域内の活性化の核となり得る施設であるが、生見海水浴場は施設が老朽化しており、水洗トイレや海上いかだなど施設整備と人を呼ぶためのイベント開催が必要である。	教育委員会	生見海水浴場の整備について検討するため、環境調査等を行っている。 ----- ※新市まちづくり計画 4交流拠点都市／(4)ウォーターフロント／46ページ	2
	243	1802	桜島	桜島に宿泊してもらおう一つ的手段として、ケイレ湾(鳥島展望所南側の入江)のところにヨットハーバーを整備したらいいと思う。旧鹿児島市街地に住む人から、船を所有したいが係留場所の確保が課題であるとの話を聞くので需要はあると思うし、クルージングや釣りなどの船を使ってのレジャーや、桜島へ来る際に、フェリーで車を渡してくることなどの経済効果も期待できると思う。	建設局	ケイレ湾の周辺は、自然公園法の第1種特別地域であり、原則として施設の整備は出来ないことなどから、ヨットハーバーの整備の予定はないところである。	3
交通体系	244	1803	かご	桜島地域においては通勤通学をはじめ、何事も地域内で完結するものはなく、桜島フェリーが生命線となっているが、乗り換えの不便さ、夜間の便数の少なさなどから常に不安と不便を感じながら生活しており、人口流出にも拍車をかけているので、地域住民の究極の願いである桜島架橋について、国・県の対応を見ながら実現に向けて前向きに検討してほしい。	企画部	桜島架橋は、極めて壮大なプロジェクトであることから、これを実現するには費用面や環境上の問題あるいは景観上の問題など、多くの困難な課題を解決しながら進めていかなければならないものと考えており、国家的なプロジェクトとして、全県的に、長期的に研究していくべき課題であると考えているところである。	4
	245	1802	喜入	JR指宿枕崎線で中央駅発五位野駅止まりの列車があるが、喜入地域住民の利便性を考慮していただき、また、市の総合計画の中で「JRを中心とした公共交通機関の輸送力の強化」を掲げていることも踏まえ、五位野駅止まりの列車について喜入駅まで伸ばすようJRに対し要望できないか。	企画部	承ったご意見については、JR九州へ要望してまいりたい。	4

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
交通体系	246	1803	喜入	喜入地域は、都心部へのアクセス道路が幹線道路である国道226号等に限定されていることから、慢性的な交通渋滞が発生しており、その解消が求められている。また、国道226号は平川交差点付近まで拡幅工事を行っているが、そこが完成しても喜入の旧市まで広くならないと渋滞緩和として十分ではなく、喜入地域から谷山地域につながるようなバイパス道路を通すことも必要であると思われる。 (188, 189, 247番の意見等の前置きです) 以上を踏まえ、国道226号の平川町から喜入旧市交差点の区間の拡幅について引き続き要望したい。	建設局	国道226号の平川道路起点から喜入旧市交差点間の4車線拡幅改良の早期事業化については、県市長会や国道226号整備促進協議会を通じ、国に対して要望を行っているところである。 ※新市まちづくり計画 4 交流拠点都市／(5) 交通体系／48ページ	1
	247	1803	喜入	(246番に前置きの意見があります) 県道飯山喜入線の整備が必要である。	建設局	県道飯山喜入線は、国道226号から広域農道及び隣接の穎娃町を結ぶ重要な路線であり、現在まで歩道設置を含めた拡幅改良が進められているところであるが、未改良部分についての整備を要望してまいりたい。	4
	248	1804	松元	県道谷山小山田線の通行車両は年々増加している。交通渋滞がひどくなる前に、松元地域から谷山地域へ通じる次なるルートを策定していただきたい。	建設局	県に確認したところ、「松元地域から谷山地域への道路については、現在、県道小山田谷山線の山田工区の整備を行っており、今後も引き続き取り組んでいく」とのことである。	4
	249	1803	かご	コミュニティバスに関連して、公共交通等に関する地域住民アンケートを取ることだが、高齢者への配慮も含めたきめ細かなアンケートを取ってほしい。また、旧町を走っているコミュニティバスは、旧町の域内のみを対象とした路線でしかないので、旧町と旧鹿児島市の市街地、旧町と旧町というような、幅広い視点からの路線の検討をしてほしい。	企画部	コミュニティバスの運行につきましては、今後行うこととしておりますアンケート調査の結果を踏まえた運行サービスの見直しを検討しているところである。アンケート調査実施に際しては、利用目的や利用頻度、利用区間など地域住民のニーズについて、詳細に調査してまいりたい。	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
交通体系	250	1803	かご	コミュニティバスについては、ただ走らせるだけでは活性化は図れないので、生涯学習講座などのコミュニケーションを生むような事業との連携や、支所同士の連携を密にする施策を打ち出して横の連携軸を作り、公共交通網を横にアクセスするニーズも一緒に作るべきである。	企画部	第4次総合計画において重点的かつ戦略的に取り組む「元気創造プラン」の中に「60万市民みんなのまち一体化プラン」を加え、各地域間を結ぶ交通網の整備充実を図るとともに、市民レベルでの地域間交流活動の促進や地域の魅力共有の推進などの取組を推進することとしている。	2
	251	1803	かご	コミュニティバスを定時的に運行しても多くの利用者が見込めない所なら、どこかに人と車を常駐させ、必要になった人がある程度集まればそこに連絡して送迎してもらうような、必要な時に動かせる体制があるといい。路線にしろ時刻にしろ、もう少しニーズに合わせた臨機応変なバス等の運用システムを作ってほしい。	企画部	コミュニティバスの運行につきましては、今後行うこととしておりますアンケート調査の結果を踏まえた運行サービスの見直しを検討しているところでございます。ご意見については、参考にさせていただきたい。	2
	252	1802	吉田	県道のバス停にはベンチが多いが、県道から中に入った地域や巡回バスの地域などはベンチが無く、お年寄りが立って待っている。ベンチを設置してもらえないか。	企画部	ベンチの設置にあたっては、道路管理者の許可を必要とし、①歩道、車道の区分がなされている道路であること、②設置場所は、後方に2メートルのスペースを確保できる歩道であること、③固定式のベンチであること等の基準を満たさなければならない。 巡回バス（コミュニティバス）の運行ルートは、幹線とは違い、歩道と車道との区別のない狭い道路であるところがほとんどであり、上記の基準を満たしておらず、ベンチの設置は困難である。	3
	253	1803	郡山	バス路線の廃止問題が持ち上がっているが、郡山、吉田地域では、域内循環バスが運行されており、これらを有機的に接続させる、或いは地域を越えた運行等を検討することも必要ではないか。	企画部	コミュニティバスの運行については、合併協議の中で、合併前の運行サービスをそのまま引き継ぐことになったものである。なお、既存のコミュニティバスについては、今年度中に利用実態調査を行い、その結果を踏まえた運行サービスの見直しを予定しているところである。ご意見については、参考にさせていただきたい。	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
交通体系	254	1803	郡山	伊敷団地や伊敷ニュータウンから甲陵高校までの市営バス路線新設の検討はできないか。また私鉄バスの路線廃止に伴う市営バスの路線新設は極めて困難とのことだが、検討の余地はないのか。	交通局	現在、市営バス事業は経営的にも厳しい状況であり、さまざまな経費削減を行うとともに、現行路線についても統合、減便などの見直しを行いながら経営の改善に努めているところである。 従って、甲陵高校への路線新設については、回送ロスの発生や収支に見合う利用者を見込める可能性が非常に少ないことから、実施については極めて困難である。	3
	255	1804	郡山	登下校時の元気バスの運行要望に対して検討することであったが、その後の検討状況はどのようになっているか。	企画部	コミュニティバスの運行については、1月中に行う予定であるアンケート調査の結果等を踏まえ、ご要望の件についても検討してまいりたい。	2
	256	1805	郡山	コミュニティバスのアンケート調査が実施されており、対象は無作為に抽出したとのことだが、まったく利用しない人に尋ねてもあまり意味がないと思われ、有効性に疑問を感じている。またこの調査結果が、どのように反映されるのか示してほしい。	企画部	コミュニティバスのアンケート調査については、現在利用されていない方も対象に、その理由をお聞きすることで、運行サービスの見直しによっては、新たな利用が望める可能性があるという点で、有効なものと考えている。 また、今回のアンケート調査結果等を踏まえ、利用者のニーズに応じたルート等の運行サービスの見直しを検討してまいりたい。	2
	257	1802	桜島	桜島フェリーのゲートのところには「ありがとうございました。安全運転で、またどうぞ。」と書いてあるが、観光地としては、「ようこそ桜島へ」というような表現も必要ではないか。	船舶部	桜島港料金徴収所に設置している看板は、桜島フェリー利用者に対する感謝の意を込めたものである。お質しの件については、料金徴収所の立地及び機能などを踏まえたうえで、観光地桜島のPRや観光客への適切な案内という観点から文言を整理し、新たな看板設置も含めて検討します。	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
交通体系	258	1802	桜島	現在桜島を観光するには車が必要だが、観光客にとって車の航送料は負担が大きいので、車の航送料の値下げ、あるいは、手軽にバスを利用して観光ができるようにすると同時に、鹿児島港の県営駐車場等を長時間無料で使えるようにするなどして、車を利用する観光客の負担軽減や利便性の向上を図る必要がある。	船舶部	車の運賃の値下げについては、世界的な原油高による船舶燃料の高騰など船舶部の置かれている状況から困難であると考えている。 なお、観光客を含めた桜島フェリー利用者の運賃の負担軽減及び利便性を図るため、旅客・車両の運賃が割引（5%引）となるチケットをコンビニエンスストアで販売しているところである。	3
	259	1805	桜島	桜島のバス路線で、武登山口、藤野公民館前、西道など、海側にバスの停留所がない箇所がある。バス停の表示もなく、車がかなりのスピードで走行する場所であるにもかかわらず、バスを安全に待つスペースすらない状況である。利用者の多くは高齢者であり、小学生や幼稚園児が乗降する場所もあり、非常に危険な状態であるので、道路条件も悪くなかなか難しいと思うが、何とか改善できないか検討してほしい。	建設局	武公民館から藤野公民館まで、西道公民館から桜峰小学校までの県道拡幅について、早期着手を県に引き続き要請していく。	4
	260	1805	桜島	桜島のバス路線で、武登山口、藤野公民館前、西道など、海側にバスの停留所がない箇所がある。バス停の表示もなく、車がかなりのスピードで走行する場所であるにもかかわらず、バスを安全に待つスペースすらない状況である。利用者の多くは高齢者であり、小学生や幼稚園児が乗降する場所もあり、非常に危険な状態であるので、道路条件も悪くなかなか難しいと思うが、何とか改善できないか検討してほしい。	交通局	現在の道路状況では難しいが、交通局として工夫できるものがあるかどうか各面から検討したい。	3

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
交通体系	261	1803	松元	高齢者は、病院や銀行などに通うためにバスを利用せざるをえない。松元地域には、朝晩、鹿児島交通の永吉入佐鹿児島線が通っているが、内田上地区からは最寄りのバス停まで1.5kmぐらい離れており、不便である。コミュニティバスのルートに、松元中学校から内田公民館の前を通過して内田上地区を通り春山地区に向かうコースを設定していただきたい。	企画部	コミュニティバスの運行については、今年度中に利用実態調査を行い、その結果を踏まえた運行サービスの見直しを予定しているところである。ご意見については、参考にさせていただきたい。	2
	262	1803	松元	県内で赤字バス路線を廃止する動きがある。松元地域から市の中心部や隣接市町につながり、高齢者や高校生などが利用している既存の鹿児島交通のバス路線は、ぜひ存続してほしい。	企画部	岩崎グループのバス路線廃止については、その計画が表明された本年4月、本市としても運行を継続していただくよう同グループに要請を行ったところであるが、計画どおり廃止されることにより、松元地域を運行する路線バスについては2便が廃止されることになった。廃止に伴い、一部、路線バスが運行されなくなる区間も生じることがあるが、存続する他の路線バスや現在運行しているコミュニティバスをご利用いただきたいと考えている。	4
	263	1804	松元	コミュニティバスについては、市街地まで接続したり、毎日運行するなど、利用者の立場に立った柔軟な対応をしていただきたい。	企画部	コミュニティバスの運行については、本年度行うアンケート調査の結果を踏まえた運行サービス等の見直しを検討することとしている。ご意見については、参考にさせていただきたい。	2
	264	1804	かご	中央駅以外の駅へエレベーターを設置するなどして、車椅子の方などが利用しやすいような施策を工夫して行ってほしい。	企画部	ご意見につきましては、駅を管理している九州旅客鉄道株式会社にお伝えして参りたい。	4

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
交通体系	265	1802	桜島	自家用車以外での観光が非常にしづらいのが桜島の観光の特徴で、車がないと行きたいところになかなか行けない。桜島を一周する手段として時計回りと反時計回りに循環するバスを運行して、好きな所で降りて観光できるようなシステムを整えてほしい。同時に、観光客が立ち寄りやすいと思うような場所をたくさん作っていく必要がある。	交通局	旧東桜島町は鹿児島交通株が運行しており、市営バスの運行は難しい。また、仮に運行できたとしても採算性において難しい。 路線バスではなく、観光目的での運行が望ましいと考える。	3
	266	1805	桜島	桜島フェリーのICカード導入は、利用者の利便性が向上し、とても素晴らしいことだと思うが、交通局の一日乗車券もフェリーと共通で使用できるようになれば、更に便利になり、鹿児島から桜島に来る観光客の増加も期待できると思うので、ぜひ導入を検討してほしい。	交通局	19年4月の桜島フェリーのICカード導入を機に、市電・市バスと桜島フェリーの共通一日乗車券についても導入できるように料金設定や収益の配分方法、さらに料金改定の時期を見極めながら、積極的に船舶部と協議を進めていきたいと考えている。 新市まちづくり計画(P47) - 4 - (5) - 関係	2
	267	1805	桜島	桜島フェリーのICカード導入は、利用者の利便性が向上し、とても素晴らしいことだと思うが、交通局の一日乗車券もフェリーと共通で使用できるようになれば、更に便利になり、鹿児島から桜島に来る観光客の増加も期待できると思うので、ぜひ導入を検討してほしい。	船舶部	交通局において、カゴシマシティービューー日乗車券購入の際に、一日パスポートを配付している。 この一日パスポートは、割引料金での観光施設の利用が可能であり、桜島フェリーについても2割引で乗船できることから、今後とも当該制度の利用促進について交通局と連携を図ってまいりたい。	5
	268	1805	桜島	桜島地域内を運行するバスは時速40キロ制限のところを時速30キロや25キロで走行し非常に交通の支障になっているので、ダイヤ改正や、時間調整は停留所で行うなどの改善をお願いしたい。	交通局	起終点の発車時刻は変更せず、途中の通過時刻の調整等で改善したい。	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
交通体系	269	1805	桜島	桜島フェリーのICカード導入や、有料駐車場の使用方法など、新たな各種制度の内容については、特に桜島地域の住民に関連のある事項であり、十分な周知を図ってほしい。	船舶部	桜島フェリーでも、4月1日からICカード乗車券「ラビカ」が利用できるようになることから、利用開始にあたっては、桜島地域の利用者を含め広く市民へのPRが必要であり、窓口での案内、船内及び両港ターミナルへのポスターの掲示のほか、市民のひろばへの掲載やラジオスポットCM等により周知を図ってまいりたい。 また、桜島港駐車場の使用方法については、フェリー及びフェリーターミナル内での掲示や立看板、また駐車車両へのチラシ配布により周知を図ったところである。 今後においても、新たな制度の導入する際は、混乱が生じないように周知を図ってまいりたい。	5
地域情報化	270	1805	かご	地域内の情報を各個人が書き込みながらコミュニティを作ろうというサイトも存在しており、様々な人とつながり、自由に発言でき、かつ多くの情報を得られるインターネットは、コミュニティツールとして有効だと思う。そういった情報及び地域との一体感が得られるというメリットがあれば町内会への加入促進対策としても有効ではないか。	企画部	インターネットを用いたコミュニティツールは、地域コミュニティの活性化や地域社会への住民参画のための一つの手法であると考えている。	2
観光・コンベンション	271	1802	かご	身近すぎてその良さに気付いていない多賀山公園、花尾神社やスパランド裸・楽・良などを見つめ直してピックアップし、観光ツアーのルートを作れないか。	経済局	今後、かごしま観光プログラム作成事業において、地域資源を発掘するとともに、既存の観光資源とあわせて、まち歩きを楽しめる新たな観光プログラム（モデルコース）を作成することとしているので、その中で検討してまいりたい。	2
	272	1802	かご	鹿児島島の玄関口である鹿児島中央駅に、もう少し鹿児島らしさを感じられるシンボリックなものを整備してほしい。	経済局	関係機関と協議してまいりたい。	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
観光・コンベンション	273	1802	かご	鹿児島島の玄関口である鹿児島中央駅に、もう少し鹿児島らしさを感じられるシンボリックなものを整備してほしい。	建設局	鹿児島中央駅東口駅前広場は、17名の薩摩英国留学生たちの「若き薩摩の群像」を核として、鹿児島から世界へ広がる海をイメージしてデザインされている。また、広場内の植栽は、市木である「クスノキ」をシンボルツリーとして、四季を彩る草花とともに、鹿児島島の季節感を演出している。西口駅前広場には、海に囲まれ、桜島が噴煙を上げる鹿児島島の自然をイメージし、力強いエネルギーの炎と、安らぎを与える水をテーマにデザインされ、鹿児島島の伝統工芸である薩摩切子をモチーフとした「切子燈」を設置している。このように、新幹線一部開業に向け、南の交流拠点都市・鹿児島にふさわしい、陸の玄関として整備してきたところである。	3
	274	1802	かご	観光客が鹿児島島に到着した後に選べるオプションツアーのようなメニューが乏しいので、グリーン・ツーリズム的なものを含め、民間とバッティングしない形の鹿児島島の特徴をうまく盛り込んだツアーをコーディネートして、場所や情報の提供をするべきではないか。	経済局	本年度、地域のグリーン・ツーリズムの資源や施設を紹介するグリーン・ツーリズムマップやホームページを作成し、広く紹介することとしている。また本年度、かごしま観光プログラム作成事業において、地域資源を発掘するとともに、既存の観光資源とあわせて、まち歩きを楽しめる新たな観光プログラムを作成し、情報発信していくこととしている。	2
	275	1802	かご	市外の方から見た鹿児島観光のメインは歴史と自然ではないか。合併により自然財産も増えたのだから、自然を全体的に捉えた形で観光につなげてほしい。城山についてももっとあたたかみのある感じで整備して、桜島の眺望との一体的な観光化を図ってほしい。	経済局	歴史ロード“維新ふるさとの道”整備事業では、多くの偉人の誕生地である加治屋町に隣接する甲突川左岸緑地及びその周辺を、観光客が歴史を感じながら散歩できるような空間として整備を行っていく。また、城山については、昼だけでなく夜景スポットとしてシティビューの夜景コースで紹介するとともに、街灯の整備を実施しているところである。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
観光・コンベンション	276	1803	かご	観光宣伝隊というのがあり、以前博多どんたくの列の中に、鹿児島市からおはら隊が10人そこそこの人数で参加しているのを見たが、せっかくならもっと人を増やして目に付く形でのどんたくへの参加ができるといいのではないか。	経済局	(財)鹿児島観光コンベンション協会にて、各都市間のまつり交流としてお互いに宣伝隊派遣事業を行っており、そのあり方については毎年検討していくこととしている。	5
	277	1803	郡山	花尾神社というのは、鎌倉時代まで遡る歴史を持つ由緒ある神社であり、島津氏繁栄の基礎をなす大切な神社である。地域の大きな財産ということで大事にしていきたいと思うし、荘厳な雰囲気にもあまり手を加えるのもどうかと思うが、やはり多くの市民にも知って欲しいし、その工夫もしなければいけないと思う。そういう意味からも鹿児島市の歴史教育の中でも取り上げて生かしていただきたい。また現在、県の観光の見直しが行われているようであり、その中で埋もれた資源を見直そうというものがあつたように思うので、隠れ念仏「薩摩日光」とも称される花尾神社の杉木立の景観も何らかの形で組み入れられないものか。併せて「隠れ念仏」も郡山の大きな歴史・観光資源として是非活かしていただきたい。また町時代にあつた花尾神社周辺プロジェクト構想の具体化に取り組んでいただきたい。	経済局	今後、かごしま観光プログラム作成事業において、地域資源を発掘するとともに、既存の観光資源とあわせて、まち歩きを楽しめる新たな観光プログラム（モデルコース）を作成することとしているので、その中でも検討してまいりたい。	2
	278	1801	桜島	最近、全国から多くの観光客が長瀬剛コンサート跡地（赤水採石場跡地）を訪れているが、場所を尋ねてくる人が多いので、分かりやすい案内看板を設置するなどの対策が必要である。	経済局	桜島オールナイトコンサート記念モニュメントについては、観光マップや桜島周遊ガイドマップでの表示、市道224号線沿いのモニュメント近くに設置した歩車併用サインによる案内を行っているところである。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
観光・コンベンション	279	1802	桜島	湯之平展望所は、夜景をはじめ展望台からの眺望がすばらしく、桜島観光のポイントと思うが、観光シーズンには駐車場が不足し、また、高齢者や体の不自由な方等が、展望台の所まで上がれなかったとの話を聞くので、駐車場からも市街地が展望できるように、眺望を遮る樹木の伐採や、車椅子でも利用可能な展望台やトイレを設置するなど、バリアフリー対策を含めた駐車場の拡大整備を進め、高齢者等をはじめ多くの観光客が利用しやすい施設づくりを推進する必要がある。	経済局	湯之平展望所のリニューアルについては、ご指摘の点もふまえながら、桜島観光振興プランの中で検討してまいりたい。	2
	280	1802	桜島	湯之平展望所へ行く手軽な交通手段がないので、観光客の多い時期や、夏場に夜景を見るための直行バスを運行してはどうか。	交通局	路線の新設および見直しについては、乗客需要や経済性に配慮をして実施をしているが、湯之平展望所への路線については、採算性が低いと考えられるため、交通局での実施は難しい。	3
	281	1802	桜島	溶岩なぎさ遊歩道の中には、トイレや展望所、広場などのすばらしい施設があるが、遊歩道入り口の看板の情報提供が不十分である。シャワー施設の整備などさらに施設の充実を図り、溶岩なぎさ遊歩道一帯を海を介して遊べる地域として活用ができないか。また、溶岩なぎさ遊歩道は距離が長いので、海づり公園の管理事務所にレンタサイクルを導入して観光客の利用促進を図るべきである。	経済局	溶岩なぎさ遊歩道等を含めたウォーキングロードの設定など、周遊歩道の活用については、桜島観光振興プランの中で検討してまいりたい。 また、桜島におけるレンタサイクルについては、現在民間で取り組んでおられるので、その状況を見守ってまいりたい。	2
	282	1802	桜島	滞在型観光の推進のための観光施設の充実の一環として、マグマ温泉を利用した足湯施設をつくれば集客が期待できると思う。	経済局	桜島観光振興プランの中で検討してまいりたい。	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
観光・コンベンション	283	1802	桜島	今ある自然や既存の施設を活かすことも大切なことだが、女性の立場としては、滋賀県の長浜や湯布院、軽井沢のように女性の好きなお店が連なっている所をいろいろなものを見て歩くというのも旅の楽しみである。フェリーターミナル周辺に若い人が興味を示すようなお店の集合施設のようなものを作れば桜島に足を運んでくれる人が増えると思う。	経済局	ご提案の施設については、採算性なども考慮して、民間主体で検討していただきたいと考える。 なお、フェリーターミナル周辺整備については、桜島観光振興プランの中で検討してまいりたい。	4
	284	1802	桜島	地域資源を活用するために一番重要なのは人材だと考える。案内する人、ボランティアを集めるコーディネーター、企画をする人など、人の活用や育成を鹿児島市も推進してほしい。NPO法人桜島ミュージアムとしても、人材の育成に力を入れていきたい。	経済局	桜島観光振興プランの中で検討してまいりたい。	2
	285	1802	桜島	自家用車以外での観光が非常にしづらいのが桜島の観光の特徴で、車がないと行きたいところになかなか行けない。桜島を一周する手段として時計回りと反時計回りに循環するバスを運行して、好きな所で降りて観光できるようなシステムを整えてほしい。同時に、観光客が立ち寄りやすいと思うような場所をたくさん作っていく必要がある。	経済局	観光拠点を結ぶ周遊バスについては、桜島観光振興プランの中で検討してまいりたい。	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのも、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
観光・コンベンション	286	1802	桜島	現在桜島を観光するには車が必要だが、観光客にとって車の航送料は負担が大きいので、車の航送料の値下げ、あるいは、手軽にバスを利用して観光ができるようにすると同時に、鹿児島港の県営駐車場等を長時間無料で使えるようにするなどして、車を利用する観光客の負担軽減や利便性の向上を図る必要がある。	経済局	観光拠点を結ぶ周遊バスについては、桜島観光振興プランの中で検討してまいりたい。	2
	287	1802	桜島	観光客から、桜島を一周して観光すると何時間かかるのか、桜島は島なのか、一周何キロあるのかななどをよく聞かれる。観光案内板の増設や記載内容の充実、観光ガイドマップについても、記載内容の充実と常に新しい情報を載せる工夫をする必要がある。	経済局	現在、案内板や観光ガイドマップによる情報提供を行っているところであるが、ご指摘の点も踏まえ桜島観光振興プランの中で検討してまいりたい。	2
	288	1802	桜島	各部局が連携して袴腰周辺を観光地として活性化してほしい。1つの例としては、恐竜公園下の海軍基地の跡は文学作品桜島の舞台となったところでもあるので、文学遺産としての価値もあるし、戦争遺産としての価値もある。また、その隣の庚申塔のところは教育委員会で非常にきれいに管理されている。海軍基地の跡についても、教育委員会、公園緑化課、県とも連携して、文化財の指定や、東屋、説明板の設置、草刈を行うなどして観光に活用してほしい。	経済局	ご指摘のような地域資源についても掘り起こしを行い、観光資源として活用することについても、桜島観光振興プランの中で検討してまいりたい。	2
	289	1802	桜島	鹿児島島のパス通りはつつじの花がとても綺麗だというイメージがある。桜島の植栽も花が咲くように管理してほしい。	経済局	市道224号線（スーパーマグマロード）沿いの桜の里公園において、桜の維持管理を行っているところである。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
観光・コンベンション	290	1802	桜島	最近、桜島大根の栽培や小みかんがたくさん実っている状況を見学したいという観光客が多い、グリーンツーリズムにも関係するが、農家の方の作業の支障とならないようにしながら、観光客のニーズに応える工夫ができないか。	経済局	グリーン・ツーリズムは受け入れ側の地域住民と地域を訪れる方々との交流を通して地域の活性化を図ろうとするものです。そこで、地域を訪れる方々のニーズはもとより、受け入れ側の地域住民の実情に合った交流が、息の長い、真の地域ファンを育てる交流へつながっていくと思われますので、今後地域住民の方々と一緒になって、交流のあり方を考えてまいりたい。	2
	291	1802	桜島	桜島恐竜公園等を活用した観光イベントの開催に取り組んでほしい。	経済局	桜島での魅力あるイベント等の開催については、桜島観光振興プランの中で検討してまいりたい。	2
	292	1802	桜島	桜島自然恐竜公園からユースホステルなど袴腰一帯の施設を歩いて回れるように、以前あった桜島自然恐竜公園から裏の方に降りるコースを復活させる必要がある。	建設局	ご指摘の通路は、旧桜島町時代の昭和48年から49年にかけて、県が遊歩道として整備した通路であるが、平成5年8月の集中豪雨によるがけ崩れにより、通路がふさがり、通行不能になったため、閉鎖され、現在は草木が生い茂り、かつての面影は残っていないところである。通路の復活については、現場ががけ地であり、安全性が確保されないことなどから、考えていないところである。	3
	293	1802	桜島	赤水採石場跡地は、モニュメントを上手く活用するのも良いが、なぜ、ここでコンサートを行ったかという、桜島のダイナミックさやパワーを感じる場所であるという部分を上手く活用してほしい。	企画部	赤水採石場跡地の整備については、現在、基本構想・基本計画の策定に向け検討を行っている。その中においては、溶岩の荒々しい景観や、間近に見える桜島山頂部への雄大な眺望を持つ広大なフィールドといった、桜島の中においても他の場所にはない当該跡地の特性を生かし、桜島を体感する場としての活用を図っていくことを、基本的方向の一つとして検討を進めているところである。	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
観光・コンベンション	294	1802	桜島	大隅半島の観光地の整備・振興を県に働きかける必要がある。	経済局	ご要望があったことについては、県観光連盟等に伝えてまいりたい。	4
	295	1802	桜島	南岳の昭和火口付近が新たに口を開いたが、安全性とかの課題もあると思うが、施設整備をするなりして観光に活用できないか。	経済局	ご指摘の件については、安全性などの課題もあるので厳しいものとする。	3
	296	1803	桜島	溶岩なぎさ公園に建立された梅崎春生の文学碑について、設置場所をはじめとして、よく知られていないので、観光マップ等への掲載を行うなど、新たな観光スポットとして活用してほしい。	経済局	今後、マップ作成や案内板の修正を行うのに併せて、梅崎春生「桜島」文学碑の掲載について検討してまいりたい。	2
	297	1805	桜島	フェリーで桜島を訪れる観光客が、桜島に到着後スムーズに観光情報を取得できる観光案内体制を充実してほしい。	経済局	桜島観光のエントランスである桜島港において案内・サービス機能を充実させることは重要なことであり、平成18年度に策定の桜島観光振興プランにおいては、車を利用する観光客に対しても案内や情報提供ができるよう、桜島港周辺に新たな観光案内所の整備を行うこととしている。	1
	298	1805	桜島	桜島観光振興プラン策定会議でも、主要観光スポットを結ぶ周遊バスに関する意見が出されているようだが、観光スポット間を移動する手軽な交通手段を整備することにより、観光客の利便性が向上し、受け入れ態勢の充実が図られることで、観光客の大幅な増加が期待できることから、交通局、観光部局が一体となって周遊バスの運行を検討してほしい。	経済局	観光拠点を結ぶ周遊バスについては、桜島観光振興プランの中でアクションプランの一つとして掲げ、検討することとしている。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
観光・コンベンション	299	1805	桜島	桜島観光振興プラン策定会議でも、主要観光スポットを結び周遊バスに関する意見が出されているようだが、観光スポット間を移動する手軽な交通手段を整備することにより、観光客の利便性が向上し、受け入れ態勢の充実が図られることで、観光客の大幅な増加が期待できることから、交通局、観光部局が一体となって周遊バスの運行を検討してほしい。	交通局	現行の周遊バスの実施主体は観光課であり、その運行については交通局が受託運行している。 観光課で運行を検討される場合は協力をしたい。	2
	300	1805	桜島	観光桜島の表玄関にある旧さくらじま荘跡が、このままなら活用されないままの状態が続くことは好ましくない。観光振興の面からも、旧さくらじま荘跡地の活用を検討してほしい。	経済局	旧国民宿舎さくらじま荘については、平成19年度に解体することとしている。解体後は、全庁的な観点から跡地の活用検討を行う必要があると考えている。	2
	301	1803	松元	松元ダムについては、今後、ダム湖周辺に遊歩道を整備して親水公園とするようなことも聞いているが、ダム湖の水質が汚濁しないように配慮しながら、ダムに通じる周辺道路の整備を行うとともに、観光面の発展にもつながるような活用策を考えていただきたい。	経済局	観光面の発展については、今後、かごしま観光プログラム作成事業において、地域資源を発掘するとともに、既存の観光資源とあわせて、まち歩きを楽しめる新たな観光プログラム（モデルコース）を作成することとしている。その中で松元ダムが利用できるものかどうか検討してまいりたい。	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのも、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
観光・コンベンション	302	1805	松元	観光農業公園については、松元地域には他の地域にはない農業用の松元ダムもあるので、誘致できないものか期待しているところである。平成19年度中に候補地を確定すると聞いているが、現在、どのような状況なのか教えていただきたい。	経済局	食と農への理解の促進、農業・農村地域の活性化や観光の振興を図るため、「鹿児島市観光農業公園(仮称)」を整備するための基本計画を18年度中に策定し、19年度に建設予定地の選定を行う予定である。	5
	303	1805	松元	地域外から訪れた人たちにも分かりやすいように、地域の要所に観光案内板等を設置していただきたい。	経済局	合併以降、松元地域には松元支所、JR薩摩松元駅、松元平野岡体育館に観光案内板を設置したので、地域外から訪れた方にも利用していただきたいと考えている。	1
地域産業	304	1804	郡山	商工会に対する市の補助は、会員数に応じて補助額が増減するしくみになっているが、会員数のみでなく、商工会が行う地域活性化の取り組みも助成額に反映されるしくみに変えていけないものか検討していただきたい。	経済局	商工会に対する補助金は、商工会が行う事業に対して補助しているものであり、その額については、会員数のみでなく、事業規模等を考慮して算出している。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
地域産業	305	1805	かご	各地域でブランド化されていた製品のインパクトが薄くなり、ブランド力が衰えてしまうことが懸念される。効果的な戦略を打ち出して市外・県外・国外にまで通用する新生鹿児島市としての地域ブランドを作って鹿児島島をアピールすべきではないか。	経済局	<p>特産品の振興にあたっては、県内外へ広く情報を発信し、販路拡大を図ることが重要であると考えている。</p> <p>本市としては、特産品ガイドブックの作成・配布や県外における物産観光展の開催などによる特産品のPRを行うとともに、地元のリソースを活かした新商品の開発を図るため、県などと共同で「かごしまの新特産品コンクール」を開催するなどの取り組みを行っている。</p> <p>なお、19年度は、県などと共同で「第24回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」や「薩摩焼パリ伝統美展(仮称)」を開催し、本市の伝統的工芸品や特産品を国内外に情報発信してまいりたい。</p> <p>また吉田・郡山地域のこがり、松元地域のお茶、桜島地域の小みかん、喜入地域のオクラ・スイートコーンなど、市内各地域には優れた特産農産物等がある。これら特産農産物を多くの市民に紹介するため、「旬のキャンペーン」や「食の交流会」を実施したほか、物産展を通じて、県外へもPRを行っているところである。</p> <p>今後も地域性を大事にしながら、このような活動を通じて鹿児島市の特産農産物等をアピールしてまいりたい。</p> <p>-----</p> <p>新市まちづくり計画 5産業活力都市 / (3)地域産業 / 53ページ、(4)農林水産業 / 54ページ</p>	1
	306	1803	かご	高齢者の就業機会増進について考える際、シルバー人材センターへの助成やセンター登録者増のための施策だけに偏らず、高齢者とフリーターが限りある仕事量を奪い合っている現状を重く見て、就業機会を増やす起業創出に力を入れるべき。 若手だけでなく高齢者の中にも起業意思を持つ方はいるので、高齢者向けの起業家育成事業の創設や、ニュービジネスの創出や創造的SOHO事業者育成支援事業というところでの高齢者の間口を作る・広げるなどしてほしい。	経済局	現在、起業家やSOHO事業者の育成、ニュービジネス創出支援の事業を行っており、これらの事業は高齢者層も含めすべての年代の方を対象としているので、活用いただけるよう周知に努めたい。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
農 林 水 産 業	307	1802	かご	地方で農業をしたいと考えている退職者に向けて、休耕地の活用をPRしてほしい。	経済局	農林水産部内に新規就農相談所を設置し、常時相談に応じているところである。 また、就農にあたっては農業委員会と連携を図り、休耕地を含めた農地の斡旋に努めてまいりたい。	1
	308	1802	かご	耕作放棄地が増加しているため、営農をシステム化して、高齢者だけの農家や後継者がいない農家を支援できないか。	経済局	地域ぐるみで農業の維持発展を図る集落営農システムが有効な手段であることから、現在本市では、話し合い活動による情報収集やリーダーの育成に努めるとともに、県単事業の水田農業生産条件整備事業による受託組合への農業機械の導入などによる集落営農の推進を図っている。	1
	309	1802	かご	地産地消の推進のため、商品に生産者の表示を行う働きかけをスーパーなどに指導できないか。	経済局	生鮮食料品については、JAS法で「名称」及び「原産地」表示は義務付けられているが、生産者表示は義務付けられていない。現在、青果市場に入荷している市内産軟弱野菜や県内産野菜のうち、通いコンテナを利用しているものについては、カードによる生産者名等の表示が行われ、スーパー等で活用されている。今後、関係団体等とも連携をとりながら、通いコンテナの利用推進を関係業界へ働きかけてまいりたい。	5
	310	1802	かご	グリーン・ツーリズムの受け入れる側の地域で、都市部の住民を受け入れるためのノウハウを伝授するなどの支援を行い、受け入れる環境・体制を整備してほしい。	経済局	本年度から地域の特性を生かしたグリーン・ツーリズムを推進するために、地域推進リーダーを育成するための研修会等を開催していくこととしている。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
農 林 水 産 業	311	1803	喜入	喜入地域の農業振興のために設置された「アグリタウン喜入（軟弱野菜団地）」における水の使用については、旧喜入町時代は無料であったが、合併後は5000あたり30円と有料となった。このことについて、同団地の農家から経済的な負担が大きいという声を聞いている。また、地元の農産物を販売している物産館があるが、同団地の農家が衰退し野菜の供給が途絶えた場合、地元物産館の経営にも影響を及ぼすこととなる。以上のことから、喜入地域の農業振興のため、同団地の水の使用について無料にできないか。	経済局	旧喜入町の農業用水給水施設については、平成16年8月25日の第18回鹿児島地区合併協議会での調整方針に基づき、管理は市の直営で行い、使用料は、同様の施設のある旧桜島町を基本にして平成17年度から有料化したものである。使用料を無料にすることは、市の農業用水給水施設の農業用水を使用しているその他の生産者や独自で農業用水を確保し使用している生産者との整合性が損なわれることから困難である。 なお、「アグリタウン喜入」の経営状況については、関係機関が一体となって指導を行い、現在経営改善が図られつつあるところである。 ----- ※合併協定項目 (42) 使用料及び手数料の取扱／6 農業用水給水施設使用料 ① 桜島町の5ヶ所の使用料は現行どおりとする。 ② 喜入町の流下式の2ヶ所（瀬々串大平小谷及び中名久保木場農業用水給水施設）の使用料は現行どおり無料とする。 ③ 喜入町のボーリングを行い整備した2ヶ所（前之浜屋敷之原及び前之浜東有田原農業用水給水施設）の使用料は、桜島町を基本にして平成16年度中に設定する。	3
	312	1804	喜入	(227番に前置きの意見があります) 来年から団塊の世代が退職を迎えることとなるが、地方で農業をしたい方々もいると思われるので、行政が団塊の世代に向けて休耕地の活用をPRする施策を検討してもいいのではないかと。	経済局	新たに就農を希望される方へは、新規就農相談や就農準備講座等の研修を実施している。 また、団塊の世代に向けた遊休農地の活用のPRについては、今後、調査検討してまいりたい。	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
農 林 水 産 業	313	1804	喜入	喜入地域では合併後に農地の解約件数が増加している。遊休農地の活用を図るためにも補助制度の拡充を行ってほしい。また、農地を借りるのに個人で交渉しても難しいので行政が仲介に入るなど支援がほしい。	経済局	遊休農地の解消については、農地流動化対策事業により取り組んでいる。 農地の貸借については、農業委員会で斡旋、仲介を行っており、農業委員会と十分連携してまいりたい。	1
	314	1804	喜入	安心・安全な農産物の生産を促進するため、有機栽培などについて農協や市が重点的に農家を指導していただきたい。	経済局	安心・安全な農産物生産を促進するため、紫外線カットフィルムや防虫ネット等の防除資材の導入を推進する環境保全型農業推進事業に取り組み、減農薬栽培を推進しているところである。 また、現地指導については、市や普及センター、農協など関係機関と連携を図りながら取り組んでいるところである。 ※新市まちづくり計画 5にぎわいと活力あふれるまち／（4）農林水産業／54ページ	1
	315	1804	喜入	農業関係の補助事業のあり方について、降灰対策事業など補助事業の対象者は個人ではなくグループとなっているが、喜入地域内ではグループを組むことが困難であることから見直しをしていただきたい。	経済局	国・県の補助事業の導入に際しては、それぞれの補助金交付規則、要綱等に基づき実施しているところであり、市単独の補助事業においても、市補助金等交付規則、交付要綱に則り実施している。補助事業については、その周辺地域も含めて、地域の農家の経営安定と活性化を図るものであり、グループでの事業導入を推進しているところである。	3
	316	1801	郡山	地域内の道路沿いには無人販売所が多いが、中には壊れたものや全く使用していないものが放置されている状況もある。また駐車スペースがなく、危険な販売所も見受けられるが、これらは安全上や景観上、何らかの規制が必要ではないか。	経済局	本市では、農産物の出荷については、市場出荷を中心に指導しているところであるが、少量生産の農家や規格外の品目が、農家個人が設置した無人販売所でも販売されている。安全面や景観を損ねる無人販売所等については補修等について指導してまいりたい。	5

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
農 林 水 産 業	317	1802	郡山	国が集落営農の政策を打ち出しているが、面積規模等の認可要件に当てはまらないものに対する市独自の施策をお願いできないか。	経済局	話し合い活動による情報収集やリーダーの育成に努めると共に、県単事業の水田生産条件整備事業による受託組合への農業機械の導入など、集落営農の推進を図っている。	1
	318	1802	郡山	遊休農地の活用を図るために、「農地の持ち主と農業体験希望者との交流会」、「先進地の視察・研修」、「地域と行政が協力してモデル的な取組み」、「観光農園の事例紹介や情報提供」などを検討・実施していただきたい。	経済局	遊休農地の対策については、農業委員会と農政総務課が所管しているが、農業委員会は農業経営基盤強化促進法による利用権設定により農地の貸借斡旋を、農政総務課では認定農業者への農地の貸付に対する助成等を行うことにより、農地の流動化の促進に努め、遊休農地の解消を図っている。	1
	319	1803	桜島	古いハウスの建替えに対して補助を行うことは難しいと思うが、農家が全額自己負担で建替えを行うことは困難である。これまでも県と協議をさせていただいているようだが、農家の経営の安定や後継者対策のためにも、ぜひ、古くなったハウス施設の建替えに対して補助を実現してほしい。	経済局	国庫補助事業で整備したハウスの新たな補助事業による建て替えについては、二重補助にあたる事から、これまで補助対象とはしていないが、今後、鹿児島市単独の事業として対応できないか検討してまいりたい。	2
	320	1803	桜島	平成元年以前のハウス施設については、腐食など老朽化が進み危険な状況にあることから、鹿児島市のビニール張替えに対する補助事業の中で、桜島の降灰、火山ガスの影響等の特殊事情を考慮して、桜島地域については、金具類等の資材についても補助対象としてほしい。	経済局	ハウスの金具などの老朽化に伴い、被覆ビニールなどの張替え作業に支障が生じていることから、今後、鹿児島市単独の事業として対応できないか検討してまいりたい。	2
	321	1803	桜島	小みかん栽培については、現在廃園が多く、今後も高齢化の進行や後継者不足から衰退が予想されることから、最近白浜の農家が取り組みを始めたマンゴーなど、付加価値の高い作物の栽培普及を図ることも必要ではないか。	経済局	耐灰性作物の導入については、これまで農家経営の安定化のため導入を推進してきたところである。マンゴーなどの付加価値の高い品目の導入については、耐灰性であることや生産性などを総合的に判断することが必要であることから、関係機関とも連携を図りながら対応してまいりたい。	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
農 林 水 産 業	322	1803	桜島	桜島は降灰などの厳しい環境にあるので、防災営農の補助事業は今後も継続して推進してほしい。	経済局	桜島地域の、降灰や火山性ガスの影響など厳しい生産環境での生産安定を図るため、今後も県等への要望も含めて事業を継続して実施してまいりたい。 ※合併協定項目 (44) 農林水産業関係事業 ／19 降灰地域土壌等矯正事業 20 降灰地域野菜安定事業 21 降灰地域花き安定対策事業 22 降灰地域果樹安定対策事業 23 畑地かんがい施設整備事業 24 降灰地域茶安定対策事業 ①合併する年度の翌年度に新たな制度を制定し再編する。 ②合併する年度は現行どおりとする。 (補助率については、地域性を考慮して調整するものとする。)	1
	323	1803	桜島	イノシシ被害対策として、各地域に2個程度の捕獲カゴを設置しているとのことだが、武地域では、墓地周辺では毎日のようにイノシシが出現しており非常に危険であるので、捕獲カゴの増設をぜひお願いしたい。	経済局	有害鳥獣による農作物被害対策については、イノシシ用電機柵の設置や猟友会の協力による有害鳥獣捕獲により被害の軽減に努めている。 なお、武地域の捕獲箱の増設については、現地調査を行い適切に対処してまいりたい。	1
	324	1803	桜島	赤水漁港の整備については、赤水漁協があった昭和38年ごろから長期的な取組みにより整備が進められているが、現在、漁港としての利用需要が多いのは長谷港なので、出荷施設などを含めた漁港機能を満たす施設を長谷港に整備してほしい。	経済局	赤水漁港建設は、平成3年から平成12年まで外郭施設を完了し、平成13年から土地利用計画に基づき平成17年に係留施設が完了したところであり、今後は、環境緑地整備、関連道路整備、荷捌施設等の上場建設計画を予定している。 ご質問の、長谷港については国土交通省所管の一般港湾であることから漁港施設の建設は困難であると考えます。 したがって今後、特に赤水漁港の関連道路建設に向けて、漁港機能が満たされるよう努めてまいりたい。 ※新市まちづくり計画 5にぎわいと活力あふれるまち／(4) 農林水産業③水産業 ／55ページ	3

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
農 林 水 産 業	325	1803	桜島	赤水漁港の整備については、赤水漁協があった昭和38年ごろから長期的な取組みにより整備が進められているが、現在、漁港としての利用需要が多いのは長谷港なので、出荷施設などを含めた漁港機能を満たす施設を長谷港に整備してほしい。	建設局	長谷港は一般港湾であり、現在、小型漁船及び一般船舶の安全対策として防波堤を整備している。しかしながら、漁港ではないため、漁港機能を満たす施設の整備はできないところである。	3
	326	1803	桜島	養殖業者は、事業実施にあたり多額の資金を必要とし、合併前に桜島町が毎年出資していた漁業信用基金協会からの借り入れを利用しているが、合併後鹿児島市が追加出資を行っていないことから、借り入れ限度額が制限される。漁業振興の面から鹿児島市も漁業信用基金協会へ毎年出資してほしい。	経済局	県は出資金について、同協会の保証債務残高の比率が、平成9年度末の見込みで約4.8倍で、同協会の業務方法書に規定の最高限度額15倍の枠内にあり、保障能力には当面余裕があることから、保障業務の円滑な遂行を阻む状態にないと判断し、平成9年度から出資を見送ったとのことであり、万一、保障業務に支障をきたす事態が予想される場合は、必要な措置を講じる考えであるとのことであります。本市も県の対応を踏まえ平成10年度から同様に投資を見送っているところである。 ※新市まちづくり計画 5にぎわいと活力あふれるまち／(4)農林水産業③水産業／55ページ	1
市 政 情 報 の 公 開 ・ 提 供	327	1803	郡山	民生委員に対しても鹿児島市からは住民の情報を提供していただけないが、守秘義務も課されている行政の協力機関である。他自治体では、必要な情報が提供されている例もあるようなので、是非提供をお願いしたい。	健康福祉局	個人情報、生命や身体の保護など明らかに本人の利益になる場合のみ第三者への提供が認められている。現在、鹿児島市では高齢者や障害者等の災害時における支援体制を確立し、地域の中で安全に暮らすことが出来るよう、災害時要援護者支援プランの策定に取り組んでいる。災害時に支援を必要とする災害時要援護者の調査にあたって、民生委員に調査、協力を求めることを予定しており、その中で災害時要援護者の必要な情報は提供されるものと考えている。	3
	328	1803	郡山	住民基本台帳を業者等が閲覧して、いろいろな物を送りつけてくる例があるが、そういうものは今でも簡単に閲覧できるようになっているのか。	市民局	国の法律改正により、住民基本台帳法に規定する住民基本台帳の一部の写しの閲覧については、平成18年11月1日から「国又は地方公共団体の機関からの請求」、「公益性が高いと認められる活動を行う法人等からの申出」の場合のみ受け付けることになったことから、今後は業者等が営利等を目的に閲覧することはできなくなる。	5

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
市民 参 画	329	1802	郡山	合併して1年半を過ぎ、支所になって非常に不便を感じるというような意見も以前から出ていたが、合併のメリット、デメリットがある程度出てきたと考える。そこで行政の方で、どういった不便性があるのか、またどういった点が良かったのか、そういった住民の意見を吸い上げる一つの方法としてアンケート調査をしてはどうか。	企画部	平成19年度、全市域を対象にした市民意識調査を行う予定であり、調査内容等については今後検討することになる。今回の意見についても、調査内容等を検討する際、検討してまいりたい。	2
	330	1803	郡山	合併前は、例えば自治会と行政が密接な関係にあるなど、住民と行政との協働というものもある程度目に見えていたように思う。一方、鹿児島市のいろんな資料には「市民との協働」という言葉が随所に出てくるが、具体的なものが見えない。鹿児島市の言う市民との協働とはどのようなものか具体的に示してほしい。	市民局	本市では、「市民が主役の鹿児島市の実現」を市政運営の基本理念とし、市民と共に考え、共に行動することを大切に協働のまちづくりを積極的に推進している。市民との協働については、例えば、市に対して市民が建設的な意見や提案を行ったり、市民と市が共催でイベントを開催することや、町内会やNPO、ボランティアなどの市民活動団体が行う市民活動を支援していくことなど、市民と市が、それぞれの役割と責任を果たしながら、互いに協力し事業を実施していくことを想定している。	5
	331	1803	郡山	「市長とふれあいトーク」は、市長が直接地域に出向いて住民と膝を突き合わせて対話するという一方で、一体化に大きな役割を果たしているものと考えている。このような実績を踏まえ、次のステップとして市の幹部である各局長が出向く「出前語り合い会」を開催してはどうか。当然テーマは各局長の所管分野が主となるので、より具体的なやり取りが期待できる。その状況を踏まえながら市長との対話集会を実施すれば、より複合的で効果的なものになると思う。「町時代には、地域の会合に三役が気軽に顔を出していたのに、合併後は…」といった疎外感も払拭されるのではないか。	市民局	これまで開催した市長とふれあいトークでは、主に市内を巡回する形で開催し、市民から各地域が抱えている課題などについて率直なご意見・ご提言を伺ってきたところである。特に旧5町地域の方からは、合併によりこれまでの制度が鹿児島市の制度に統合されたことに関する意見が出され、新市の速やかな一体化と均衡ある発展の重要性を再認識したところである。また、市の幹部などの職員が地域の方々と、それぞれのテーマごとに語り合う取組みとしては、現在「市政出前トーク事業」があるので活用していただきたい。	5

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
市民 参 画	332	1804	郡山	「市民との協働」の考え方を示していただいたが、その中で「町内会などが行なう市民活動の支援」についての具体的事例を示して欲しい。	市民局	町内会等の活動に対する支援として、「集会所建築等補助」、「みんなで参加わがまちづくり支援事業補助」（運動会や敬老会等のコミュニティ活動に対する補助）、「広報活動推進事業補助」、「防犯灯補助」などの助成制度やコミュニティ研修会・コミュニティ交流会の開催、市民奉仕活動賠償傷害保険（ボランティア保険）への加入などがある。また町内会を運営する上での様々な悩みや相談を受け付け、助言や情報提供などを行なう中で、住みよい地域づくりに協力して取り組んでいるところである。	5
	333	1804	かご	今は合併後のスムーズな一体化のためにまちづくり会議があるが、今後は新生鹿児島市全体を視野に入れ、自分たちのまちのあり方を皆で考えあう機会として、旧鹿児島市内にも支所単位、地域公民館レベル単位等での組織の設置を検討してほしい。	市民局	地域まちづくり会議に代わる新しい組織として、全ての市域を対象に、それぞれの地域の住民が主体となって運営する「地域まちづくりワークショップ」を各地区ごとに設置し、市民の思いや知恵、力などを出し合って、より住みよい地域づくりを行うこととしている。なお、地区割り等事業の詳細については、今後先進事例等の調査を実施するなどして、改めて検討することとしている。	2
行 財 政 運 営	334	1805	郡山	まとめの中に「公共施設の利活用」という項目があるが、既存の市の方針や基準で施設整備や利用基準が決められるが、それが本当に地域の実情やニーズにあったものなのか疑問を感じる面がある。そういった施設の利用や整備に関する地域住民ニーズというものをもっと汲み取って施策に活かしていくべきではないか。	企画部	各種公共施設については、各担当部局において、全市的な観点に加え、地域バランスにも意を用いる中で、設置目的や利用予測等も踏まえた設置を行っているが、今後、さらに厳しくなることが予測される地方財政や、少子高齢化の進展など社会経済情勢の変化等を踏まえ、行政内のさらなる横断的連携を図る中で、複合化や既存施設の有効活用などについても検討する必要があると考える。	5
	335	1805	郡山	まとめの中に「公共施設の利活用」という項目があるが、既存の市の方針や基準で施設整備や利用基準が決められるが、それが本当に地域の実情やニーズにあったものなのか疑問を感じる面がある。そういった施設の利用や整備に関する地域住民ニーズというものをもっと汲み取って施策に活かしていくべきではないか。	市民局	それぞれの地域に住む市民の方々から、市政に関するご意見やご提言をお聴きし、市政に反映させるため、「わたしの提言」や「市政モニター」、「市長とふれあいトーク」、「パブリックコメント手続」などを実施している。ぜひ、ご活用いただき、地域の実情を含め、ご意見などをお聞かせいただきたい。	1

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
行 財 政 運 営	336	1801	郡山	既存施設の有効利用については、鹿児島市行政改革大綱の「市民の立場に立った行政運営を推進します。」「スリムで機動的な行政運営を推進します。」「市民生活や社会に優しい行政運営を推進します。」「市民の目線でものを考える態度やコスト意識等について慣例にとらわれず、社会や時代の要請に応えることのできる意識の改革を進めます。」といった方針を踏まえ、地域の実情に合わせた柔軟な利用ができるような検討をお願いしたい。特に「高齢者福祉センター郡山」については、前回会議での意見に対して鹿児島市では高齢者の利用（高齢者との交流活動を含む）に限定している旨の回答があったが、既存の施設の有効活用という面からは、空いている場合には他の団体の使用も認めてほしい。	健康福祉局	全ての高齢者福祉センターは、鹿児島市高齢者福祉センター条例施行規則により、高齢者と児童のふれあいを図る等高齢者福祉に資すると認められるような例外を除いて、18年4月から使用者の範囲を65歳以上（老人クラブ会員は概ね60歳以上）の高齢者としているので、理解いただきたい。また、地域福祉館は、地域公民館など他のコミュニティ施設や公共施設の設置状況や利用状況、人口の集積状況、地形などの地理的条件等を踏まえ、概ね1中学校区に1館という基本方針に基づき、建設している。郡山地域については、今後、郡山地区の人口の張り付き状況等に変化が生じた場合は、諸条件を勘案しながら、福祉館の整備の必要性を総合的に検討していきたい。	3
	337	1802	郡山	防災無線の運用については、せっかくある施設なので、柔軟性を持って、地域に関する問題、地域おこしに関する情報、或いは「市民のひろば」に掲載された内容等の伝達も含めて活用していただきたい。子どもの安全対策という面でも地域内に不審者がいますよといったような情報の提供もしていただければ、地域住民の協力も得られると思う。	市民局	防災行政無線については、今年度、庁内検討委員会を設置し、新市域における全体整備計画を策定することとしている。その中で設置箇所や地域への情報提供などの運用方法についても検討していくこととしている。 ----- ※合併協定項目 （36）防災・防犯関係事業／1 防災行政無線 既存の防災行政無線については、合併時に引き継ぎ、運用するものとする。ただし、設置目的等を踏まえ、更新時に見直しを行うこととする。（既存集落の新築家屋等への設置については、更新時まで現行どおりとする。）	2

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
行政運営	338	1802	郡山	「合併して行政が四角四面になった」、「横の連絡がない」、「頼みごとをしても結論が出るまでに非常に時間がかかる」といった声を聞く。また、「条例規則で決まっているから」ということが多いが、実情にあわない場合もある。そういった意見に対しては、市民の立場に立って、改正ができないものか、或いは特例で何かできないものか、そういったことを少しでも考えていただきたい。ただ条例で決まっているからできないというふうに頭ごなしに回答されるのではなく、行政側としてもある程度検討していただきたい。これが旧町時代と非常に温度差があるということが一番感じている。	事務局	ご意見については、関係部局へ伝達する。	5
	339	1802	郡山	これまでのまちづくり会議の検討状況一覧表を見ると、「合併協議でこう決まっているから要望に沿いがたい。」という趣旨の回答がある。合併して1年半が過ぎ、合併協議については、いろいろな角度から検証して見直すべきところもあるのではないかと思うが、鹿児島市として合併協議で調整、確認がなされたものの位置づけと言うか、必要があればすぐにでも見直すものもあるのか、とりあえず一定の期間やってみていずれは見直すのか、合併協議は一種の契約だから未来永劫見直しをしないのか、その辺の基本的な考え方を示していただきたい。	企画部	合併協議で調整、確認がなされた項目については、基本的には調整方針に沿った対応がされていくものと考えているが、社会経済情勢の変化や市民意見等も踏まえ、見直しの必要が生じた項目については、担当部局において、各面から検討の上、見直し等の取扱いとなることも考えられる。	5
	340	1802	郡山	鹿児島市の行政改革大綱の趣旨を踏まえて、合併協議や条例規則で決まっていることについても、実態に即して見直すという姿勢が必要ではないか。	事務局	ご意見については、関係部局へ伝達する。	5

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのも、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
行財政運営	341	1802	郡山	現在、スパランド裸楽良については、健康交流促進財団が指定管理者となっているが、同財団は地域の雇用創出という観点からも作られたものである。もし今の財団が指定管理者にならなかった場合、この財団及び現在の職員はどうなるのかということに危惧する。指定管理者制度の考え方とそういう地元雇用を目的に作った団体との関係を市ではどういうふう考えているのか示していただきたい。	健康福祉局	スパランド裸・楽・良の指定管理者は、施設の性質等を勘案すると基本的には公募が適当と思われたが、受託を失ったときの財団の経営や組織体制を考慮して、経過的措置として3年間の指定となっており、次回の選定時に再度公募の可否を検討することとしている。 財団は、次回の選定時まで、団体の特徴や実績を活かし、市民のニーズに柔軟に対応したサービスの提供に努めるとともに民間企業等との競争に耐えうる運営体制と経営基盤の強化を図る必要がある。 本市としては、財団の経営監督責任を有することを十分自覚するとともに経営状況を把握し、経営基盤を強化するために適切な指導助言を行っていきたい。	1
	342	1803	郡山	公共施設の利用率や有効活用を考える時、旧市、旧町といった枠や所管を越えて、全市的に公共施設の役割、配置、対象エリア等を整理すべきではないか。新たに施設を造っていただくことはありがたいし、必要なものは造ってほしいが、行政の縦割りの中で類似施設を造るのではなく、既存の施設を地域にあった利用の仕方、融通の効く使い方を考えていただきたい。	企画部	各種公共施設については、各担当部局において、全市的な観点に加え、地域バランスにも意を用いる中で、設置目的や利用予測等も踏まえた設置を行っているが、今後、さらに厳しくなることが予測される地方財政や、少子高齢化の進展など社会経済情勢の変化等を踏まえ、行政内のさらなる横断的連携を図る中で、複合化や既存施設の有効活用などについても検討する必要があると考える。	5

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1既に施策等に盛り込み済みのもの、2今後施策への反映を検討するもの、3要望等にそい難いもの、4市の所管に属さないもの、5その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
行 財 政 運 営	343	1803	郡山	長野県の知事室のように目に見えるということは、いいことだと思う。そういった意味から郡山地区保健センターの事務室が利用されていないようであるが、ここに窓口を置くなど、もっと有効に活用できないものか。	健康 福祉局	郡山地区保健センター事務室には、平成19年2月に「地域包括支援センター」を設置することとして、現在準備を進めている。 地域包括支援センターとは、市内15か所に設置され、保健師、社会福祉士等の専門職が高齢者のための総合相談支援、介護予防プラン作成など保健・福祉・医療の援助、支援を包括的に行なう地域の中核機関となる施設である。	1
そ の 他	344	1805	喜入	喜入地域のJR瀬々串駅、中名駅、前之浜駅、生見駅の公衆トイレが撤去されていた。地域では不便を感じているので、市が簡易トイレを設置するなど対応策はないか。	企画部 環境局	平成17年9月にJR九州鹿児島支社から本市へ、無人駅トイレの譲渡についての検討依頼が出され、本市としては18年1月にJR九州へ「トイレがJR九州の管理する敷地内にあることやトイレ利用者の多くが駅利用者であると思われることなどから、引き続きJR九州で維持管理していただきたい」旨の要望書を提出した。 JR九州からは、本市からの要望を受け、検討したが、駅利用者の減少や全列車内にトイレが設置されていることなどから撤去することとなった旨の説明があり、18年10月に瀬々串駅、生見駅、19年1月に中名駅、前之浜駅の駅トイレが撤去されたところである。 また、公衆トイレの設置については、原則として、トイレ設置場所の管理者に設置していただくことにしている。 撤去されたトイレは、JRが事業活動の一環として、列車利用客のために設置されたものであるため、市で簡易トイレを設置することは、できないと考えている。	4

平成18年度第1回～第5回地域まちづくり会議及びかごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

施策の体系	番号	回数	会議名	意見等の概要	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
その他	345	1802	郡山	ニュースポーツの大会や体験会等を開催していただけないか。またそれがスパランド裸楽良や総合運動場の利用増につながるような取り組みにもできないものか。	健康福祉局	スパランド裸・楽・良と郡山総合運動場の指定管理者である財団法人郡山健康交流促進財団がゲートボール大会やグラウンドゴルフ大会等を毎年開催し、両施設を活用した事業を実施している。また、カルチャー講座の無料体験や小学生を対象にした宿泊体験学習なども実施しているが、引き続き市民のニーズに応えられるよう事業内容等について検討し、利用者の増加につながる取り組みを実施させたい。	1
	346	1802	郡山	スパランド裸楽良で環境フェスタ（リサイクルフェア、フリーマーケットなど）のような催しをして、多くの人を呼び込んでどうか。	健康福祉局	関係部局と連携を図りたい。	2
	347	1803	郡山	新聞報道によると合併に伴う旧5町住民の意見を聞いていきたいということで住民アンケート調査を実施する予定があるようであり、非常に喜ばしいことであるが、各地域にはそれぞれに特色や地域的な事情がある。そういったことも踏まえて、一律の基準で判断するのではなく、あらゆる角度から、それぞれの背景等も踏まえたアンケート調査を実施していただきたい。	企画部	来年度実施予定の市民意識調査は、平成14年度～平成23年度を計画期間とする第四次総合計画の中間年である19年度に旧5町域のみでなく全市域を対象に、総合的・長期的な視点から本市のまちづくりの方向性を把握するためのアンケート調査を考えている。市民意識調査の内容等については、ご意見も参考に各面から検討していきたいと考えている。	3
	348	1803	松元	多額の予算を計上して「環境未来館（仮称）」などの施設を整備するようだが、そのような事業は旧鹿児島市域に一極集中しており、旧町域との格差が広がっていくように思える。一極集中のまちづくりは従来の手法であり、今後は地方を活性化することによって鹿児島市全体が活性化するという発想で、地域配分を考えた事業を行っていただきたい。	企画部	環境未来館（仮称）については、参加・体験型環境学習の拠点施設と市民が気軽にリユース・リサイクル活動に参加できる拠点施設を一体的に整備するものであり、市民にとって利便性の高い実業高校跡地に建設するものである。新市の速やかな一体化と均衡ある発展を図るとともに、それぞれの地域の特性を生かしながら一回り大きく新しい魅力を持った鹿児島市を創造するため、昨年度第四次鹿児島市総合計画の改訂等を行ったところである。今後とも、同計画に基づく諸施策を迅速かつ着実に推進する中で、各地域の振興を図り、新生鹿児島市の活性化につなげてまいりたいと考えている。	1